

防整技第10668号
30.6.29

大臣官房会計課長
地方協力局施設管理課長
防衛大学校総務部管理施設課長
防衛医科大学校事務局経理部施設課長
防衛研究所企画部総務課長
統合幕僚監部総務部総務課長
陸上幕僚監部監理部会計課長
海上幕僚監部総務部経理課長
航空幕僚監部総務部会計課長
情報本部計画部事業計画課長
各地方防衛局調達部長
帯広防衛支局長
東海防衛支局長
熊本防衛支局長
名護防衛事務所長
防衛装備庁長官官房会計官

殿

整備計画局施設技術管理官
(公印省略)

公共建築工事積算基準等の運用について（通知）

標記について、別冊のとおり定めたので、平成30年6月29日以降に入札公告を行う工事から、これにより実施されたく通知する。

なお、公共建築工事積算基準等の運用について（防整技第2604号。29.3.3）は、平成30年6月29日限りで廃止する。

添付資料：別冊

写送付先：整備計画局施設計画課長、整備計画局施設整備官、整備計画局提供施設計画官、地方協力局地方協力企画課長、地方協力局提供施設課長、陸上幕僚監部防衛部施設課長、海上幕僚監部防衛部施設課長、航空幕僚監部防衛部施設課長

公共建築工事積算基準等の運用

整備計画局施設技術管理官

公共建築工事積算基準等の運用

目 次

第1編 総則	1
第2編 工事費	2
第3編 共通費	3
第1章 共通事項	3
第2章 共通仮設費	8
第3章 現場管理費	12
第4章 一般管理費等	14
第4編 単価、価格等	16
第1章 共通事項	16
第2章 建築工事	27
第1節 新設工事	27
第1項 仮設	27
第2項 土工	31
第3項 地業	33
第4項 鉄筋	34
第5項 コンクリート	35
第6項 型枠	36
第7項 鉄骨	37
第8項 既製コンクリート	39
第9項 防水	40
第10項 タイル	42
第11項 屋根及びとい	43
第12項 金属	44
第13項 左官	45
第14項 建具	46
第15項 塗装	48
第16項 内外装	55
第2節 改修工事	61
第1項 仮設(改修)	61
第2項 撤去	62
第3項 防水改修	63
第4項 外壁改修	64

第5項	建具改修	65
第6項	内装改修	66
第7項	塗装改修	67
第8項	耐震改修	68
第3章	電気設備工事	69
第1節	新設工事	69
第1項	共通工事	69
第2項	電力設備工事	73
第3項	通信・情報設備工事	74
第2節	改修工事	75
第1項	共通工事	75
第2項	撤去工事	77
第3項	機器搬出	78
第4項	はつり工事	79
第4章	機械設備工事	80
第1節	新設工事	80
第1項	共通工事	80
第2項	空気調和設備工事	85
第3項	自動制御設備工事	86
第4項	給排水衛生設備工事	87
第2節	改修工事	88
第1項	共通工事（改修）	88
第2項	空気調和設備工事（改修）	90
第3項	給排水衛生設備工事（改修）	91
第4項	撤去工事	92
第5章	昇降機設備工事	93
第1節	新設工事	93
第1項	共通工事	93
第2節	改修工事	94
第1項	共通工事	94
第2項	撤去工事	95

附表 補正市場単価算出方法

第1編 総則

公共建築工事積算基準等の運用（以下「本運用」という。）は、統一基準における「公共建築工事積算基準」、「公共建築工事共通費積算基準」（以下「共通費基準」という。）、
「公共建築工事標準単価積算基準」（以下「単価基準」という。）等を円滑かつ適切に運用するために必要な事項をとりまとめたもので、防衛省が実施する土木工事を除く建設工事「工事の実施細目について（防整技第7167号。28.3.31）」第2第1号に規定する建設工事をいう。）の適正な工事費の積算に資することを目的とする。

第2編 工事費

1 落札率について

当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額を当初工事費内訳書記載の工事価格で除した比率（以下「落札率」という。）の端数処理については、小数点以下第5位を四捨五入して4位止めとする。

なお、現場発生による、湧水を公共下水道に流す場合等の費用は落札率を乗じない。

2 後工事について

本来一体とすべき同一建築物又は同一敷地内の工事を分割して発注し、新規に発注する工事（以下「後工事」という。）の工事費は、工事価格に契約済みのすべての工事（以下「前工事」という。）のうち、当初に契約した工事の落札率を乗じ、さらに消費税等相当額を加えて得た額とする。

3 工事の一時中止に伴う増加費用

(1) 工事の一時中止に伴う増加費用の算定は以下による。

イ 工事の一時中止に伴う増加費用は、「建設工事の一時中止における事務処理要領について（通知）（防整技第5299号。30.3.30）」によるものとする。

ロ 増加費用において、仮囲い等の仮設、警備要員など当初予定価格の作成時に積上げで算定したものがある場合、当初積算の方法によるものとする。

ハ 契約保証費は補正を行わない。

第3編 共通費

第1章 共通事項

1 共通費算定に関する数値の取扱い

(1) 率による算定

共通費基準の率により算定した金額は、一円未満切捨てとする。

(2) 積上げによる算定

積上げによる算定は第4編1に準ずる。

2 新設工事と改修工事を一括して発注する場合の算定

(1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ 共通仮設費率は、新設工事と改修工事の直接工事費の合計額に対応する新設工事と改修工事それぞれの共通仮設費率とする。

なお、積上げによる共通仮設費は、新設工事と改修工事のうち主な工事の共通仮設費に計上する。

ロ 現場管理費率は、新設工事と改修工事の純工事費の合計額に対応する新設工事と改修工事それぞれの現場管理費率とする。

なお、積上げによる現場管理費は、新設工事と改修工事のうち主な工事の現場管理費に計上する。

ハ 一般管理費等は、新設工事と改修工事の工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。

(2) 共通仮設費及び現場管理費は、新設工事と改修工事に区分して算定する。

3 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事を一括して発注する場合の算定

(1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ 共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとの共通仮設費に関する定めにより算定し、それらの合計による。

なお、積上げによる共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。

ロ 現場管理費は、それぞれの工事種別ごとの現場管理費に関する定めにより算定し、それらの合計による。

なお、積上げによる現場管理費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。

ハ 一般管理費等は、それぞれの工事種別の工事原価の合計額に対する主たる工事の一般管理費等率により算定する。

(2) 主たる工事以外のいずれかの工事（昇降機設備工事を除く。）が、主たる工事と比較して軽微な工事であり、かつ、単独の工期設定がない場合は、当該工事を主たる工事に含め、主たる工事の定めにより共通仮設費及び現場管理費を算定する。

なお、主たる工事とは発注時の工事種別をいう。

※ 軽微な工事とは、原則として次のいずれかに該当するものをいう。

また、工事内容、工事費の比率等を考慮し、適切に対応する。

イ 主たる工事以外のいずれかの工事の直接工事費が、主たる工事の直接工事費の1/20以下又は300万円以下の場合。

ロ 工事内容、工事費及び工期から判断して、イに準ずるとみなせる場合。

(3) 共通費の積算手法は、設計図書の変更があった場合においても、原則として変更しない。

4 敷地が異なる複数の工事を一括して発注する場合の算定

(1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ 共通仮設費率は、それぞれの敷地の工事ごとの直接工事費及び工期に対応する共通仮設費率とする。

なお、積上げによる共通仮設費は、それぞれの敷地の工事ごとに計上する。

ロ 現場管理費率は、それぞれの敷地の工事ごとの純工事費及び工期に対応する現場管理費率とする。

なお、積上げによる現場管理費は、それぞれの敷地の工事ごとに計上する。

ハ 一般管理費等は、それぞれの敷地の工事ごとの工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。

(2) 共通仮設費及び現場管理費は、それぞれの敷地の工事ごとに算定する。

5 後工事の取扱い

後工事の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等は、前工事と後工事を一括して発注したとして算定した額から、前工事の額を控除した額とする。

6 工事に伴う湧水の排出費用

共通費を算定する場合の直接工事費には、工事に伴う湧水等を公共下水道等に排出する場合の費用（下水道料金のみ。）は含まないものとする。

7 新設工事における主体構造物にかかわる鉄骨工事の補正に関する取扱い

(1) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造における取扱い

鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造において、鉄骨工事として科目で取扱う項目は表1-1のとおり全て補正の対象とする。ただし、建方機械器具（定置式・移動式）は、共通仮設費の一般工事の区分として積上げる。

(2) 鉄筋コンクリート造における取扱い

体育館、倉庫、格納庫等の鉄筋コンクリート造において、屋根部が鉄骨造の場合は補正の対象とする。

(3) 鉄塔の取扱い

鉄塔については単体として取扱い、設置場所（地盤面又は鉄筋コンクリート造屋上面）にかかわらず補正の対象とする。

(4) フラットデッキの取扱い

フラットデッキについては、鉄骨造の場合に限り補正の対象とする。

表1-1 鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造における補正

(注) ○印は対象項目、△印は鉄骨造のみ対象項目

鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造における補正					
鉄骨工事					
鋼材費	○	工場加工費	○	鉄骨運搬費	○
工場塗装	○	溶融亜鉛めっき処理	○	現場錆止め塗装	○
建て方費	○	溶接試験	○	現場溶接	○
アンカーボルト	○	スタッド溶接	○	柱底均しモルタル	○
デッキプレート (合成スラブ用)	○	フラットデッキ (床型枠用)	△	耐火被覆	○
				専用仮設	○
付帯鉄骨(母屋、胴縁)	○	鉄骨階段・鉄骨庇	△	設備機器架台	○
鉄塔	○	C・W一次ファスナー	○		

8 その他工事として取扱う工事

その他工事として取扱う工事の具体例を表1-2及び表1-3に示す。

なお、表1-2及び表1-3には共通費基準 表7 その他工事に示された以外の工事も含まれているが、それらを一般工事に含めて発注する場合においても、共通費基準 2(5)及び3(5)の定めによる。

表1-2 その他工事としての取扱い（建築工事）

（注）○印は対象項目、×印は対象外項目

特殊な室内装備品等	家具・書架及び実験台の類で通常の建物本体工事に含まれない特殊な室内装飾品及び付帯工事。				
壁面収納（スチール棚）	○	ローパーテーション	○	移動書架	○
書架（スチール棚）	○	書架（既製木製棚）	○	家具（造り付け以外）	○
造り付け家具	×	カーテン	×	ブラインド	×
ファンコイルカバー	×	じゅうたん	×	OAフロアー	×
一般（湯沸室）流し台	×	トイレブース	×	可動・移動間仕切	×
実験流し台	○	実験・医療器具	○	シールド工事	○
舞台機構装置	○	浴室・シャワーユニット	×	厨房機器	×
清掃用ゴンドラ	×	免震工事	×	PC工事	×
自転車置場土屋	○	ゴミ置場土屋	○	仮設建物（設置・撤去）	○
立体駐車場	×	音響工事	○	冷凍・冷蔵庫（フレイフ型）	○
パーゴラ（土屋）・東屋（土屋）	○				
植栽及び屋上緑化工事	種目で植栽及び屋上緑化工事として取扱われる項目全て。				
樹木費	○	植え込み費	○	地被類（芝張り・は種）	○
支柱	○	移植	○	客土	○
植栽基盤	○	土壌改良	○	ツリーサークル	○
伐採・抜根	○	人工土壌	○	排水マット敷設	○
庭石・モニュメント	○	温室工事	○		
舗装工事	種目で舗装工事として取扱われる項目全て。ただし、土工、縁石及び側溝は一般工事とする。				
土工事	×	直接仮設（舗装用）	○	アスファルト舗装	○
コンクリート工事	○	タイル張り舗装	○	石張り舗装	○
インターロッキング舗装	○	舗石舗装	○	グラウンド・テニスコート	○
平板舗装	○	路床整正	○	舗装機械運搬	○
トラフィックペイント	○	縁石	×	L型側溝・V型溝	×
排水ます	×	開きよ（U字溝）	×	排水管	×
取り壊し工事	種目で取り壊し工事※1として取扱われる項目全て。ただし、作業区分※2がレベル3相応のアスベスト含有建材（成形板等）除去工事については、一般（改修）工事とし、レベル1及びレベル2に相当する場合はその他工事とする。				
とりこわし費	○	集積積み	○	アスベスト除去工事費	※3
とりこわし材運搬費	○	とりこわし機械運搬	○	RCF（※4）除去工事費	×

※1 建築物等の解体を行う工事（改修に伴う撤去工事は除く。）

※2 参照：「目で見えるアスベスト建材（第2版）」国土交通省。

※3 表中の取り壊し工事のただし書参照。

※4 リフラクトリーセラミックファイバー。

表1-3 その他工事としての取扱い（設備工事）

項目	備考
特別高圧受変電設備	
周波数変換装置	
無停電電源装置（UPS）	10kVA未満は除く
定電圧定周波数装置（CVCF）	
内燃力発電装置	50kW未満は除く
ガスタービン発電装置	50kW未満は除く
太陽光発電装置	20kW未満は除く
風力発電装置	20kW未満は除く
中央監視制御装置	
非破壊検査	
配管洗浄	航空燃料配管等
既設地下油槽へのFRP内面ライニング	
ボラード	基礎工事及び配管配線工事を含む。
特殊空調設備	
循環ろ過設備	
排水処理設備	
ごみ処理設備	
搬送設備	
機械式駐車設備	
特殊ガス設備	
実験機器設備	
医療器具設備	
その他特殊設備	

9 その他工事を単独で発注する場合の算定

共通費は、専門工事業者からの見積りを参考に計上する。

10 指定部分及び指定部分工期

原則として、指定部分の工期は、共通仮設費及び現場管理費における算定に用いる工期（T）に用いない。

なお、指定部分とは工事の完成に先立ち引渡しを受けるべきことを設計図書により指定した工事範囲をいい、その工事範囲の完了期限を指定部分工期という。

第2章 共通仮設費

1 共通仮設費の区分

共通仮設費は、一般工事、鉄骨工事、その他工事及び発生材処分費に区分して算定する。

なお、ここでいう一般工事とは、鉄骨工事、その他工事及び発生材処分費以外をいう。

2 共通仮設費の算定方法

(1) 共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。ただし、共通仮設費に含まれないものは積上げにより算定する。

イ 共通仮設費率による算定

(イ) 共通仮設費率の算定に用いるT（工期）

① 共通仮設費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日/月にて除す。その値は、小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。

なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日/月にて除し、この値をT（工期）として共通仮設費率を算出する。

② 工事一時中止（一部一時中止の場合も含む。）があった場合、共通仮設費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む。）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

③ 契約から着工予定日までの間を施工準備期間としてT（工期）に含めるものとする。ただし、3か月を超える場合は、3か月を施工準備期間とし、T（工期）に含める。

(ロ) 鉄骨工事の場合の補正

共通費基準 2（4）の場合は、共通仮設費率に0.9を乗じる。

また、補正の対象となる鉄骨工事の取扱いは、第3編第1章7による。

(ハ) 監理事務所（監督官事務所）の補正

① 共通費基準 2（3）表-5のうち監理事務所（監督官事務所）については、一般工事の共通仮設費率に0.9を乗じ、設計図書による規模及び仕上げに基づき算定して加算する。

② 鉄骨工事における共通仮設費率の補正をおこなう工事は、①で補正した率に0.9を乗じる。

③ 既存施設を監理事務所（監督官事務所）として利用できる場合は、利用中の維持管理費及び利用後の現場復旧に要する費用を考慮し低減は行わない。

また、条件明示による事務所の規模の違いによる補正は行わない。

(ニ) その他工事を含めて発注する場合

共通費基準 2（5）の場合は、一般工事とその他工事の直接工事費の合計額に対応する共通仮設費率により一般工事の共通仮設費を算定する。

(ホ) 労務費の比率が著しく少ない工事

共通費基準 2 (6) の労務費の比率が著しく少ない工事の共通仮設費率は、その率に0.9を乗じる。

なお、労務費の比率が著しく少ない工事とは、直接工事費に占める労務費の割合がおおむね10%以下の工事をいう。

(ヘ) 仮設建物の取扱い

仮設庁舎等を発注する場合は、一般工事とリース料の直接工事費の合計額に対応する共通仮設費率により一般工事の共通仮設費を算定する。ただし、仮設庁舎等を発注する場合のリース料については、共通仮設費を算定しない。

(ト) 共通仮設費率の留意事項

① 共通仮設費率に含まれる動力用水光熱費

- ・新設工事は引込費用（布設長は、分岐位置から500m以内程度。布設長が著しく長い場合は、超える部分を積上げ計上する。）及び使用料が該当する（工事用）。
- ・改修工事は既存施設からの引込みが可能であるため、主にメータ設置費と使用料が該当する（工事用）。
- ・設計図書において電気料金及び水道料金の支払いを免じられている米軍基地等の積算については、共通仮設費率に対する動力用水光熱費の割合（電気料金＋上下水道料金）を控除する。

動力用水光熱費の割合は表2-1-1～4による。

表2-1-1 建築

区分	新設	改修
割合(%)	9.60	8.02

表2-1-2 電気設備

区分	新設	改修
割合(%)	6.95	5.77

表2-1-3 機械設備

区分	新設	改修
割合(%)	5.61	4.69

表2-1-4 昇降機設備

区分	新設
割合(%)	2.43

② 屋外整理清掃費

施工中に発生する端材等の処理に要する費用（指定された集積場所から構外へ搬出するための積込み、運搬費及び処分費）は、共通仮設費率に含む。

ロ 積上げによる算定

以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積上げにより算定する。

(イ) 準備費

敷地測量、道路占有料、仮設用借地料、既存施設内の家具・什器・機器等の移動及び復旧に関する費用。

(ロ) 仮設建物費

- ① 宿舍、設計図書によるイメージアップ費用。

② 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事における、監理事務所（監督官事務所）及び備品等の費用。

(ハ) 工事施設費

仮囲い、工事中用道路、歩道構台、設計図書によるイメージアップ費用。

(ニ) 環境安全費

安全管理・合図等の要員に要する費用（工事現場（施設）の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用）。

(ホ) 機械器具等

① 新設工事における荷揚用揚重機械器具の費用

機種を選定及び存置日数は、表2-2～表2-6を参考とし、施工条件等により機種を選定する。

表2-2 地上階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数	備考
1	16 t	$13 \times A + 1$	
2	16 t	$21 \times A + 2$	
3	16 t	$29 \times A + 3$	
4	20 t	$37 \times A + 4$	
5	25 t	$45 \times A + 5$	

表2-3 地下階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数	備考
B1	25 t	$12 \times A + 1$	
B2	25 t	$20 \times A + 2$	
B3	25 t	$28 \times A + 3$	

表2-4 塔屋階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数			備考
		100㎡未満	300㎡未満	500㎡未満	
P1	躯体地上階による	3	4	5	1階当たりの面積
P2	躯体地上階による	6	8	10	
P3	躯体地上階による	9	12	15	

表2-5 地上階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数	備考
1	16 t	$4 \times A + 1$	
2	16 t	$8 \times A + 2$	
3	16 t	$12 \times A + 3$	
4	二本構(-構)リフト	仕上期間	建築面積1,000㎡ごとに1台
5	二本構(-構)リフト	仕上期間	建築面積1,000㎡ごとに1台

表2-6 地下階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数	備考
B1	20 t	$4 \times A + 1$	
B2	20 t	$8 \times A + 2$	
B3	20 t	$12 \times A + 3$	

注) (各表共通) 1. $A = \text{建築面積} / 750 \text{ m}^2$ (計算過程においてAの値を端数処理する場合は、小数点以下第3位を四捨五入し小数点以下第2位とする。建築面積は基準階面積とし、500 m^2 未満の場合は500 m^2 とする。)

2. 存置日数の端数処理は、小数点以下第1位を切上げ整数とする。

3. 各階の面積が著しく異なる場合は、別途考慮する。

② 改修工事における荷揚用揚重機械器具の費用

機種を選定及び存置日数は、施工内容、施工条件等により機種を選定する。

(ト) その他

① 材料及び製品の品質管理試験に要する費用は、コンクリート圧縮試験費及び鉄筋の圧接試験費(引張試験及び超音波探傷試験)を除き、以下の試験費を積上げにより算定する。

- ・アスベスト粉じん濃度測定
- ・分析によるアスベスト含有建材の調査
- ・室内空気中の化学物質の濃度測定
- ・六価クロム溶出試験費
- ・コンクリートの単位水量測定費
- ・分析によるPCB含有シーリング材等の調査
- ・上記に類する各種試験費

② 離島等で建設工事に従事する作業員等の確保が困難であると判断される場合において、作業員等の確保に要する費用は、以下の費用を積上げにより算定することができる。

- ・労務者の滞在に係る費用
- ・労務者の渡航に係る費用
- ・労務者の拘束に係る費用
- ・資材等の海上運搬費(島内において現場渡し可能な場合は、材料単価に含め直接工事費に計上する。)

③ 工事連絡会議に対象となる工事の設計受注者を参加させるための費用については、現場管理費及び一般管理費等は算定しない。

④ 標準図等を活用して工事を発注する場合の調査費及び詳細図等作成費については、現場管理費及び一般管理費等は算定しない。

(2) その他工事を含めて発注する場合

その他工事の共通仮設費は共通仮設費率を1%として算定する。

(3) 建設発生土処分費及び発生材処分費の取扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の共通仮設費は算定しない。

第3章 現場管理費

1 現場管理費の区分

現場管理費は、共通仮設費で区分した項目ごとに算定する。

2 現場管理費の算定方法

(1) 現場管理費の算定は現場管理費率により算定する。ただし、現場管理費率に含まれないものは積上げにより算定する。

イ 現場管理費率による算定

(イ) 現場管理費率の算定に用いるT（工期）

① 現場管理費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日/月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。

なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日/月にて除し、この値をT（工期）として現場管理費率を算出する。

② 工事一時中止（一部一時中止の場合も含む。）があった場合、現場管理費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む。）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

③ 契約から着工予定日までの間を施工準備期間としてT（工期）に含めるものとする。ただし、3か月を超える場合は、3か月を施工準備期間とし、T（工期）に含める。

(ロ) 鉄骨工事の場合の補正

共通費基準 3（4）の場合は、現場管理費率に1.0を乗じる。

また、補正の対象となる鉄骨工事の取扱いは、第3編第1章7による。

(ハ) その他工事を含めて発注する場合

共通費基準 3（5）の場合は、一般工事とその他工事の純工事費の合計額に対応する現場管理費率により一般工事の現場管理費を算定する。

(ニ) 労務費の比率が著しく少ない工事

共通費基準 3（6）の労務費の比率が著しく少ない工事の現場管理費率は、その率に0.8を乗じる。

なお、労務費の比率が著しく少ない工事とは、直接工事費に占める労務費の割合がおおむね10%以下の工事をいう。

(ホ) 仮設建物の取扱い

仮設庁舎等を発注する場合は、一般工事とリース料の純工事費の合計額に対応する現場管理費率により一般工事の現場管理費を算定する。ただし、仮設庁舎等を発注する場合のリース料については、現場管理費を算定しない。

ロ 積上げによる算定

以下の項目については、現場管理費率に含まれないため、設計図書等に基づき積

上げにより算定する。

(イ) 要員等の費用

条件明示された要員等の費用（共通仮設費の費用以外、現場雇用労働者の給料等）。

(ロ) 昇降機設備工事における工事实績情報（コリンズ）の登録費用

工事費が2,500万円未満の場合

（500万円未満の工事費は、登録を必要としない。）

『工事实績情報登録費用』＝登録作業費^{※1}＋登録料（税抜き）

※1：登録作業費＝特殊作業員1.0人・日

(2) その他工事を含めて発注する場合

その他工事の現場管理費は現場管理費率を2%として算定する。

(3) 建設発生土処分費及び発生材処分費の取扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の現場管理費は算定しない。

(4) 支給材を使用する場合

支給材（入居官署又は発注者側で購入・製作された資機材）を使用して工事を施工する場合は、支給材を購入すると仮定した評価額の2%を現場管理費に加算する。ただし、再利用資機材については現場管理費を算定しない。

第4章 一般管理費等

1 一般管理費等の算定方法

(1) 一般管理費の算定は一般管理費等率により算定する。ただし、一般管理費等率に含まれないものは積上げにより算定する。

イ 一般管理費等率による算定

(イ) 前払金支出割合による補正

前払金支出割合が35%以下の場合の一般管理費等率は、表3-1の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を一般管理費等率に乗じる。

表3-1 一般管理費等率補正係数

前払金支出割合区分 (%)	補正係数
5以下	1.05
5を超え15以下	1.04
15を超え25以下	1.03
25を超え35以下	1.01

(ロ) 契約保証費について

共通費基準 4(1)による契約保証費については、工事原価に表3-2による契約保証費補正率を乗じ算出した金額を一般管理費等に加算する。ただし、設計変更については、契約保証費に係る補正を行わない。

表3-2 契約保証費率

保証の方法	補正值 (%)
発注者が金銭的保証を必要とする場合 (建設工事請負契約書第4条を適用する場合)	0.04%
発注者が役務的保証を必要とする場合 (建設工事請負契約書第4条の2を適用する場合)	0.09%
上記以外の場合※	補正しない

※予算決算及び会計令(昭和22勅令第165号)第100条の2第1項第1号の規定により工事請負契約書の作成を省略できる工事

ロ 積上げによる算定

「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律(平成19年法律第66号)」(以下「住宅瑕疵担保履行法」という。)に基づき、新築住宅については、工事受注者に対して、保険への加入又は保証金の供託による資力確保措置が義務付けられているところである。この義務付けに係る防衛省が実施する建設工事「工事の実施細目について(防整技第7167号。28.3.31)第2第1項に規定する工事をいう。)の費用の積算は以下による。

(イ) 対象建物

① 自衛隊施設

- ・公務員宿舎(ただし、居住の用に供しない附属棟は除く。)
- ・生活隊舎を含む施設(隊庁舎及び隊舎等。ただし、宿泊の用に供する学生

隊舎及び廠舎は除く。)

② 米軍施設

- ・家族住宅（ただし、居住の用に供しない附属棟は除く。）
- ・独身将校宿舎及び独身下士官宿舎（ただし、宿泊の用に供する学生隊舎及び廠舎は除く。）

(ロ) 積算方法

- ① 住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保のための費用は、主たる工事（建築工事）の一般管理費等に積上げ計上することを原則とする。

なお、主たる工事以外の設備工事等において、住宅瑕疵担保履行法における資力確保の対象部位である構造耐力上主要な部分又は雨水の浸入を防止する部分の工事が含まれる場合において、受注者が保険への加入による資力確保措置を行う場合は、建築工事に連名とすることにより保険に加入するものとする。

- ② 算出方法については、保険法人の保険料（検査料を含む。）の見積りにより、適切に計上する。

第4編 単価、価格等

第1章 共通事項

1 単価及び価格に関する数値の取扱い

予定価格のもととなる工事費を算出する過程における数値の取扱いは以下の通りとする。

また、端数処理を行う場合は、原則として四捨五入とする。

(1) 物価資料に基づく材料単価、市場単価等

イ 平均値を採用する場合の端数処理は円単位とし、円未満の場合は小数点以下第2位とする。

ロ イの端数処理を行った結果が、物価資料の掲載価格の有効桁の最終の桁の位と異なる場合の端数処理は、有効桁の最終の桁の位が最も小さい桁の位とする。

ハ 1つの物価資料にのみ掲載される場合は、掲載された価格とし、端数処理は行わない。

ニ イの処理をする前の物価資料掲載価格、物価資料掲載価格の合算単価及び物価資料掲載価格の単位換算単価の端数処理は行わない。ただし、単位換算を行った結果、小数点以下第3位以降がある場合は小数点以下第2位とする。

(2) 標準歩掛り等（市場単価の補正含む。）に基づく単価

イ 標準歩掛り等で算定した単価を標準歩掛り等に用いる場合は、小数点以下第2位まで算定した単価を代入する。

ロ 単価算定時における金額（数量×単価）の有効桁は、小数点以下第2位までとする。

ハ 単価算定に用いる数量に小数点以下第6位以降がある場合は、小数点以下第5位とする。

(3) 製造業者又は専門工事業者の見積価格等

採用する価格の端数処理については有効上位3桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は円単位とし、円未満の場合は小数点以下第2位とする。

(4) 細目別内訳書及び別紙明細書における単価及び金額

イ 細目別内訳書及び別紙明細書に計上する単価の端数処理については有効上位3桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は円単位とする。

ロ 細目別内訳書に計上する金額は、円単位とし端数がでないよう数量又は単価を調整する。

ハ 別紙明細書にて算定した金額は、細目別内訳書に円単位として一式計上する。

2 材料価格等

単価基準 第1編 2(1)に定める材料価格等とは、杭、鉄筋、コンクリート、鉄骨等の価格変動が大きい資材並びに建物ごとに個別性が高い機器等の単価及び価格をいう。

3 歩掛り

単価の算定に用いる歩掛りは、単価基準 第1編3で規定される標準歩掛りのほかに「営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り」（以下「協議会歩掛り」という。）による。

また、標準歩掛りの補足資料として、「公共建築工事積算研究会参考歩掛り」（以下「参考歩掛り」という。）及び市場単価にない類似の単価の作成や見積単価の検討資料として、「営繕積算システム等開発利用協議会参考資料」（以下「協議会参考」という。）を参考とする。

4 「その他」の率

歩掛りの「その他」の率は中間値を標準とし、地域の特殊性等を考慮のうえ適切に定める。

なお、交通誘導警備員等の率の設定がされていない工種等については、労務単価を25%割増するものとする。ただし、地域特性等において上記により難しい場合は、警備会社等より見積徴収等を実施し、「その他」の率を設定することができるものとする。

5 市場単価

単価基準 第1編2（3）の掲載条件が一部異なる場合で市場単価を補正して算出する単価（以下「補正市場単価」という。）の補正方法は、次の式による。

なお、補正市場単価の細目工種、補正に用いる歩掛りについては各章による。

$$\text{補正市場単価} A' = \text{市場単価} A \times \text{算定式}$$

$$\text{算定式} = a' \div a$$

a' = 補正市場単価 A' の細目工種に対応する歩掛りによる複合単価

a = 市場単価 A の細目工種に対応する歩掛りによる複合単価

注) 算定式の値は、小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位とする。

6 市場単価等の補正

(1) 事業者が負担すべき法定福利費相当額を適切に反映する。

市場単価の補正方法は以下による。

物価資料の掲載価格（市場単価以外の材工単価）を採用する場合においても以下の表の補正率及び以下の式により基準補正単価を算出する。

【新設の市場単価等の場合】

$$\text{基準単価} \times \text{新設補正率} = \text{新設の基準補正単価}$$

【改修の市場単価等の場合】

$$\text{基準単価} \times \text{改修補正率} = \text{改修の基準補正単価}$$

表A-1 基準補正単価の補正率

工 種	摘 要	新設補正率	改修補正率
仮設工事		1.01	1.01
土工事		1.01	1.01
地業工事		1.01	1.01
鉄筋工事		1.01	1.01
コンクリート工事		1.01	1.01
型枠工事		1.01	1.01
鉄骨工事		1.01	1.01
既製コンクリート		1.01	1.09
防水工事		1.01	1.07
防水工事 (シーリング)		1.01	1.13
石工事		1.01	1.08
タイル工事		1.01	1.11
木工事		1.01	1.08
屋根及びとい		1.01	1.08
金属工事		1.01	1.08
左官工事		1.01	1.14
建具 (ガラス)		1.01	1.09
建具 (シーリング)		1.01	1.15
塗装工事		1.01	1.14
内外装工事		1.01	1.12
内外装工事 (ビニル系床材)		1.01	1.08
ユニットその他		1.01	1.05
排水工事		1.01	1.01
舗装工事		1.01	1.01
植栽及び屋上緑化		1.01	1.01

表E-1 基準補正単価の補正率

工 種	摘 要	新設補正率	改修補正率
配管工事	電線管、2種金属線び及び同ボックス	1.01	1.18
	ケーブルラック	1.01	1.14
	位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.01	1.17
	プルボックス	1.01	1.12
	プルボックス用接地端子	1.00	1.00
	防火区画貫通処理、ケーブルラック用（壁・床）	1.01	1.13
	防火区画貫通処理 金属管・丸型用	1.01	1.05
配線工事	600V絶縁電線及び600V絶縁ケーブル	1.01	1.16
電動機その他接続材工事	金属製可とう電線管	1.01	1.14
接地極工事	鋼板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票（金属製）	1.01	1.01

表M-1 基準補正単価の補正率

工 種	摘 要	新設補正率	改修補正率
保温工事	配管用	1.01	1.14
	ダクト用及び消音内貼	1.01	1.14
ダクト工事	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧ファンパー類	1.01	1.14
ダクト附属品	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.01	1.20
衛生器具	取付手間のみ	1.01	1.20

(2) 週休2日制工事の試行における工期の設定、工事費の補正は以下による。

週休2日制工事の試行における工期の設定、工事費の補正は、「週休2日制工事の試行における工期の設定、工事費の補正、工事成績評定等について（通知）（防整技第6423号。30.4.20）」によるものとする。

7 物価資料の掲載価格

(1) 単価基準 第1編2による単価及び価格の算定において材料価格、材料単価及び仮設材費は、積算資料（（一財）経済調査会発行）及び建設物価（（一財）建設物価調査会発行）等の価格の平均値を採用する。

(2) 市場単価は建築施工単価（（一財）経済調査会発行）及び建築コスト情報（（一財）建設物価調査会発行）に掲載されている「建築工事市場単価」の平均値を採用する。

8 製造業者又は専門工事業者の見積価格等

単価基準 第1編2（4）による場合で、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にして単価及び価格を算定する場合は、必要に応じてヒアリング等を行い市中における取引状況等（実勢価格帯）を確認する。

なお、当初の工事費内訳書作成時の見積り依頼先は複数とし、見積り内容が適切なことを確認の上、原則として最安値の見積書を基に実勢価格帯、類似の取引価格、数量の多寡及び施工条件等を勘案して単価及び価格を決定する。

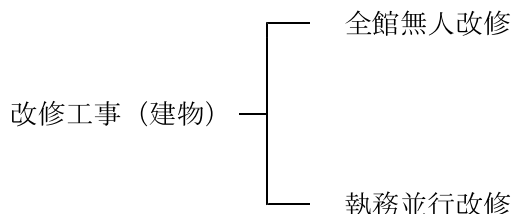
見積りを依頼する場合は、「公共建築工事見積標準書式」によるものとし、見積り依頼書は提出された見積書とともに適切に保存する。

9 改修工事の取扱い

(1) 改修工事の分類

改修工事は、執務状態により分類する。

イ 改修工事の分類



ロ 執務状態

改修工事は、工事期間における建物内の執務状況により、全館無人改修及び執務並行改修に区分することができる。

(イ) 全館無人改修：仮庁舎等が準備されている等、改修する建物全館が無人（執務者がいない。）の状態で行う改修工事をいう。

(ロ) 執務並行改修：建物に執務者がいる状態で行う改修工事をいい、施工場所と執務中の場所が区画されている状態の工事も含まれる。

また、増築工事における既存建物と取合う部分の改修工事については、既存建物の執務者の有無により区分する。

(2) 執務並行改修の場合の単価の補正

執務並行改修の場合は、施工業者が執務者に配慮等しながら施工を行うことを前提として単価の補正を行う。

(3) 改修工事の積算に用いる単価の適用

全館無人改修の場合は基準単価とし、執務並行改修の場合は表A-2、表E-2及び表M-2により、基準単価及び基準補正単価とすることを標準とする。

なお、基準単価及び基準補正単価は次による。

イ 基準単価

単価基準 第2編、第3編、第4編及び本運用に定められた標準歩掛りによる複合単価並びに市場単価及び補正市場単価のほか参考歩掛り等による複合単価。

ロ 基準補正単価

(イ) 建築工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の15%増しを標準とする。

また、市場単価及び補正市場単価においては、基準補正単価における市場単価及び補正市場単価の補正率が含まれている6の表A-1による補正率を標準として算定する。

(ロ) 電気設備工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の20%増しを標準とする。

また、市場単価及び補正市場単価においては、基準補正単価における市場単価及び補正市場単価の補正率が含まれている6の表E-1による補正率を標準として算定する。

(ハ) 機械設備工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の20%

増しを標準とする。

また、市場単価及び補正市場単価においては、基準補正単価における市場単価及び補正市場単価の補正率が含まれている6の表M-1による補正率を標準として算定する。

(二) 著しく作業効率が悪い場合においては実状を考慮し労務費等を補正する。

表A-2 執務並行改修の場合の単価適用区分

工 種	執務並行改修※	備 考
仮設	—	
土工	—	
地業	—	
鉄筋	—	
コンクリート	—	
型枠	—	
鉄骨	—	
既製コンクリート	○	
防水	○	
石	○	
タイル	○	
木工	○	
屋根及びとい	○	
金属	○	
左官（仕上塗材仕上）	—	
左官（仕上塗材仕上以外）	○	
建具	○	
塗装（改修標仕仕様）	○	
内外装	○	
仕上ユニット	○	
排水	—	
構内舗装	—	
植栽	—	
仮設（改修）	—	
撤去	—	
外壁改修	—	
とりこわし	—	

※ —：基準単価、○：基準補正単価

表E-2 執務並行改修の場合の単価適用区分

工 種	執務並行改修 ※	備 考
配管工事	○	
配線工事	○	
接地工事（屋内）	○	
接地工事（屋外）	—	
塗装工事	○	
機器搬入	○	
電灯設備	○	
動力設備	○	
雷保護設備	○	
受変電設備	○	
電力貯蔵設備	○	
架空線路	—	
地中線路	—	
構内交換設備	○	
情報表示・拡声設備	○	
誘導支援設備	○	
テレビ共同受信設備	○	
監視カメラ設備	○	
火災報知設備	○	
撤去（再使用しない）	—	
撤去（再使用する）	—	
再取付け	○	
機器搬出	○	
はつり工事	○	

注) 屋外、共同溝等においては原則として基準補正単価を適用しない。

※ —：基準単価、○：基準補正単価

表M-2 執務並行改修の場合の単価適用区分

工 種	執務並行改修※	備 考
配管工事(屋内一般、機械室・便所)	○	屋上施工を含む
配管工事(屋外・共同溝)	—	
配管工事(地中)	—	
配管付属品	○	
保温工事	○	
塗装及び防錆工事	○	
機器搬入	○	
総合調整	○	
土工事	—	
コンクリート工事	○	屋内基礎等
機器類の据付け	○	
ダクト設備	○	
ダクト付属品	○	
自動制御設備	○	歩掛りによる場合
衛生器具設備(ユニットを除く)	○	
樹類	—	
消火設備(特殊消火を除く)	○	歩掛りによる場合
配管分岐・切断	○	
機器搬出	○	
はつり工事	○	
ダクト端部閉塞	○	
インバート改修	—	
撤去(再使用する)	—	
撤去(再使用しない)	—	
再取付け	○	

注) 配管工事は、はつり補修を除く。

また、屋外、共同溝等においては原則として基準補正単価を適用しない。

※ —：基準単価、○：基準補正単価

(4) 改修工事の積算にあたっての留意事項

改修工事の積算にあたっては、施工条件明示事項等を考慮し、施工計画に必要となる仮設類の盛替え費用及び現場施工の制約を考慮した費用等を適切に積算する。

また、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にすることは、当該工事の施工条件を満たした内容であることを確認する。

なお、施工区分、施工手順等に応じた積算における留意事項は以下のとおり。

イ 荷揚用揚重機械器具は、設計図書に条件明示された施工区分及び施工手順にあった回数等を十分検討し、適切に計上する。

ロ 荷揚用揚重機械器具による揚重ができない場合は、人力による小運搬等を現場状況に応じて、適切に計上する。

ハ 直接仮設の墨出し、養生、整理清掃後片付け、足場等が、設計図書に条件明示された施工区分、施工手順等の現場状況により、複数回生じる場合は、適切に計上する。

ニ 発生材については、施工区分、施工手順等の現場状況によりその都度搬出しなくてはならない場合等については、現場状況に応じて、適切に計上する。

10 工事が僅少等の取扱い

工事が僅少の場合、施工場所が点在する場合、工程上連続作業が困難な場合等の単価及び価格は、施工に最低限必要な単位の材料、労務及び機械器具等の費用を実状に応じて算定する。

11 時間外及び深夜の労働についての労務単価

(1) 公共工事設計労務単価（以下「労務単価」という。）は、所定労働時間内8時間当たりの単価であり、時間外及び深夜の労働についての割増賃金は含まれない。

(2) 時間外及び深夜の労働は、施工時期、施工時間が制限され、割増賃金を見込む必要が設計図書に明示された場合には、労務費を下記により算定する。ただし、時間外の労働は、変形労働時間制等を考慮し、実状に応じて積算する。

$$\text{労務費（総額）} = \text{労務単価} + \text{労務単価} \times K \times \text{割増すべき時間数}$$

ただし、 K （割増賃金係数）＝割増対象賃金比×1／8×割増係数とする。

なお、 K （割増賃金係数）は当該年度の「公共工事設計労務単価表（農林水産省・国土交通省）」の「割増対象賃金比及び1時間当り割増賃金係数」による。

また、市場単価の細目工種において、時間外及び深夜の労働について割増賃金を見込む必要がある場合は、割増賃金に相当する割増率を算定し市場単価を補正する。

12 寒冷地、離島等の取扱い

(1) 寒冷地における除雪に関する費用及び寒中養生のための費用等は、実状に応じて積算する。

(2) 離島等における工事の積算にあたっては、材料及び労務の調達、プラント及び機械器具の有無、運搬方法等についての特殊事情を調査検討し、実状に応じて積算する。

13 設計変更時の取扱い

単価基準 第1編5の場合の設計変更時の積算において、当初設計の工事費内訳書に対して種目が追加された場合の単価及び価格は、(主任)工事監督官の指示又は承諾した時点の単価及び価格とする。

第2章 建築工事

第1節 新設工事

第1項 仮 設

1 一般事項

- (1) 仮設は、設計図書の記載に基づき工事内容や施工条件を確認し適切に算出する。
なお、設計変更に伴う工事費の変更は、設計図書等により記載内容が変更された場合とする。
- (2) 施工条件が明示された場合は、その内容により算出する。
- (3) 外部足場及び内部足場は、手すり先行方式枠組本足場を標準とする。

2 単価、価格等

(1) 共通仮設

イ 仮囲い

仮囲い鋼板にイメージアップのための塗装等が設計図書等に明示された場合は、必要な費用を計上する。

ロ 仮設鉄板敷

仮設鉄板敷の整備費は、基本料に加え通常の使用で発生する反り等の復旧に係る費用を含む。

ハ 移動式揚重機

- (イ) 移動式揚重機に係る費用は、設置日数を別途算定し計上する。
- (ロ) トラッククレーンを標準とする。ただし、4.9t吊を超え100t吊未満については、ラフテレーンクレーンとする。

(2) 直接仮設

イ 遣方、墨出し、養生及び整理清掃後片付け

- (イ) 鉄骨造の地上部は、表A1-1により単価の補正を行う。
- (ロ) 鉄筋コンクリート造と鉄骨鉄筋コンクリート造を標準とする。ただし、鉄骨造の墨出し、養生及び整理清掃後片付けを地下部分及び付帯部分（ドライエリア、ピロティ、ピット、外部階段、吹抜け、バルコニー及び外部廊下等）で使用する場合は、表A1-1と表A1-2により補正を行う。
- (ハ) 工事の範囲を分割する場合は、表A1-3を標準とする。

ロ 枠組本足場

- (イ) 枠組本足場は「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省基発第0424001号。21.4.24）」による手すり先行方式を標準とする。
- (ロ) 枠組本足場の設置の標準は、表A1-4を参考に選定する。
- (ハ) 一般的な事務庁舎等の外部足場の設計供用日数は、表A1-5の足場平均存置日数（建築面積750㎡程度）による。ただし、建築面積の大小による補正を表

A1-6により行う。

(ニ) 屋根工事を伴う場合は、勾配ごとに、開口部での作業及び滑落並びに踏抜きのおそれのある屋根面積相当分を屋根足場として計上する。

ハ 内部躯体足場

(イ) 内部躯体足場（躯体支保工）は「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省基発第0424001号。21.4.24）」による手すり先行方式を標準とする。

(ロ) 内部躯体足場（鉄筋・型枠足場階高5.0m未満）を単独階のみで使用する場合の設計供用日数は、30日とする。

ニ 内部仕上足場

(イ) 内部仕上足場（枠組棚足場）は「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省基発第0424001号。21.4.24）」による手すり先行方式を標準とする。

(ロ) 内部仕上足場（脚立足場 階高4.0m以下）を単独階のみで使用する場合の設計供用日数は、30日とする。

(ハ) 内部仕上足場を設置するにあたり、階高が4.0mを超える場合は、設置面の形状等により枠組棚足場（階高4.0m超）又は簡易型移動式足場を選択する。

ホ 災害防止

(イ) 外部足場等に架設される災害防止（金網、シート等）の存置期間は、足場平均存置日数から10日を減じた期間とする。

(ロ) 安全手すりの存置期間は、表A1-5「足場平均存置日数」の階数1の日数とする。

ヘ 仮設材運搬

仮設材運搬用トラックの規格は4t積を標準とする。ただし、規模や敷地条件等により2t積を考慮する。

ト その他

単価基準 第2編第1章第1節 表A1-1-21の転用階数とは、足場を転用しながら設置する延べ階数をいう。

表 A1 - 1

墨出し及び養生・整理清掃後片付けの建物構造による単価補正		
名称	鉄骨造（地上階）	備考
墨出し	80%	
養生・整理清掃後片付け	80%	

表 A1 - 2

墨出し及び養生・整理清掃後片付けの地下階及び付帯部分に使用する単価補正			
名称	一般	複雑	小規模
地下階	110%	110%	110%
ドライエリア、ヒート、大規模ヒート	80%	80%	80%（大規模ヒートを除く）
外部階段、吹抜け（柱・梁あり）	70%	70%	70%
バルコニー、外部廊下、吹抜け（その他）、ヒート	50%	50%	50%

表 A1 - 3

遣方、墨出し及び養生・整理清掃後片付けの工事の範囲を分割する割合

名称	分割する割合		備考
	躯体まで	躯体・建具・外装まで	
遣方	100%	100%	
墨出し	40%	50%	
養生・整理清掃後片付け	40%	40%	

(注) 1. 分割した工事を合わせると、合計が100%を超えないようにする。

表 A1 - 4

枠組本足場の設置の標準

建枠寸法	板付布枠	規模・仕上げ
1200枠	500布枠×2枚	鉄筋コンクリート造外壁タイル等(6階建て以上)
900枠	500+240布枠	鉄筋コンクリート造外壁タイル等(5階建て以下)
		鉄筋コンクリート造外壁吹付け仕上げ程度(2階建て以上) 鉄骨造外壁パネル・スレート張り(2階建て以上)
600枠	500布枠×1枚	鉄筋コンクリート造外壁吹付け仕上げ程度(平家建て)
		鉄骨造外壁パネル・スレート張り(平家建て)

- (注) 1. 階高は、4m程度とする。
2. 建枠及び板付布枠の寸法単位は、mmとする。
3. 地下階の外部足場は、建枠600枠、板付布枠500枠×1枚とする。

表 A1 - 5

足場平均存置日数(建築面積 750㎡程度)

階数	一括の場合	分割の場合		備考
		躯体まで	サッシ取付けまで	
1	98	54	70	
2	124	72	92	
3	150	90	114	
4	176	108	136	
5	202	126	158	
6	228	144	180	
7	254	162	202	
8	280	180	224	
9	353	250	310	
10	384	273	338	
11	415	296	366	
算定式(RC造)	26N+72	18N+36	22N+48	
算定式(SRC造)	31N+74	23N+43	28N+58	

- (注) 1. Nは階数を示す。
2. 特殊な建物等(階高が著しく高く、コンクリート打設が2回以上になる等)の場合は、別途考慮する。
3. 9階以上は、鉄骨鉄筋コンクリート造の算定式で計算した日数を表示している。

表 A1 - 6

建築面積の大小による補正係数				
建築面積(㎡)	300	450	750	1000
対象範囲(㎡)	～ 375 未満	375 ～ 575 未満	575 ～ 925 未満	925 ～ 1,250 未満
補正係数	0.90	0.95	1.00	1.05
建築面積(㎡)	1500	2000	3000	
対象範囲(㎡)	1,250 ～ 1,875 未満	1,875 ～ 2,500 未満	2,500 ～ 3,750 程度	
補正係数	1.10	1.20	1.30	

第2項 土 工

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A2-1による。

2 単価、価格等

(1) 根切り

施工範囲が狭あいな部位で標準的な土工機械が搬入できない場合は、小規模土工を適用する。

(2) 埋戻し

イ 機械による施工が困難な場合は、人土工を適用する。

ロ 施工範囲が狭あいな部位で標準的な土工機械が搬入できない場合は、小規模土工を適用する。

(3) 盛土

イ 盛土が人力による場合は、単価基準 第2編第1章第2節表A1-2-2を適用する。

ロ 盛土には、標準仕様書による300mm程度ごとの転圧（水締め共）を含む。

(4) 床付け

根切りが機械施工の場合に計上する。

なお、人土工及び小規模土工による根切りには床付けが含まれているので計上しない。

(5) 杭間ざらい

根切りを機械施工で行う場合に計上する。

なお、人土工の場合は根切りに含まれているので計上しない。

(6) 積込み

イ 人土工（積込み）は2tダンプトラック程度までとする。

ロ 積込みは、仮置き場に堆積した土をダンプトラックに積込む場合に適用する。

(7) 山留め

山留めは、施工条件明示により物価資料の掲載価格、専門工事業者からの見積価格等を参考に定める。

(8) 排水（水替え）

排水（水替え）は、施工条件明示により物価資料の掲載価格、専門工事業者からの見積価格等を参考に定める。

(9) 建設発生土運搬

イ 敷地内の指定された場所に仮置きする場合は、場内運搬を計上する。

ロ 運搬経路におけるDID区間の有無は、設計図書に明記された処分先の確認等により判断し計上する。

ハ 自動車専用道路料金は、設計図書に明記された場合に計上する。

(10) 建設発生土処理

受入施設で土工機械が必要な場合は、土工機械運搬を計上する。

(11) 軽油の価格

土工事における掘削等のために使用する建設機械（ブルドーザー、トラクターショベル、パワーショベル、バックホウ、ドラグライン、クラムシェル等。）の軽油の価格は、軽油取引税を除いた価格を計上する。

(12) その他

埋戻し及び盛土で搬入土を使用する場合は、必要に応じて積込み及び運搬に係る費用を計上する。

表 A2 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	
根切り	山留め内 切梁あり	m ³	
根切り	山留め内 切梁あり (クラムシェルによる積込み)	m ³	
根切り	山留め内 グラントアンカー (クラムシェルによる積込み)	m ³	
根切り	小規模土工	m ³	
埋戻し	小規模土工 発生土	m ³	
盛土	発生土	m ³	
敷き均し	発生土 締固め共	m ³	
積込み	発生土	m ³	
機械運搬費	片道30km以内 バックホウ+クラムシェル (分解組立共)	往復	
機械運搬費	小規模土工 片道30km以内 バックホウ	往復	

第3項 地業

1 単価、価格等

(1) 場所打ちコンクリート杭地業材料

- イ コンクリート材料単価は、単価基準によるほか第5項による。
- ロ 鉄筋資材単価、鉄筋屑等のスクラップ単価は、単価基準によるほか第4項による。
- ハ 鋼材単価、鋼材屑等のスクラップ単価は、単価基準によるほか第7項による。

(2) 杭頭処理

- イ 杭径が600mmを超える既製コンクリート杭の杭頭処理費は、標準歩掛りを補正する。
- ロ 場所打ちコンクリート杭の杭頭処理費は、人力施工及び人力積込みとする。ただし、杭本数が多い場合は機械積込みを考慮する。
- ハ 特定埋込杭の杭頭処理において、杭頭を切断する場合は、単価基準 第2編第1章第3節 表A1-3-1による。

(3) 既製コンクリート杭杭頭補強

杭径が600mmを超える杭頭補強は、参考歩掛りを補正する。

(4) 建設発生土処理

建設汚泥を含む建設発生土は、他の建設発生土と区別して計上する。

(5) 捨てコンクリート

コンクリート材料単価は、単価基準 第2編第1章第5節によるほか第5項による。ただし、構造体強度補正值によるコンクリート強度の補正を行わない。

第4項 鉄筋

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A4-1による。

2 単価、価格等

(1) 鉄筋資材単価

スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。

なお、鉄筋屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。

(2) 鉄筋加工組立

イ 現場加工となる場合は専門工事業者の歩掛りや見積価格等による。

ロ 表A4-1 鉄筋加工組立 S造床板は、鉄骨造で床板がデッキプレート等を使用したコンクリート床板の場合に使用する。

ハ 表A4-1 鉄筋加工組立 小型構造物は、雑工作物の擁壁、囲障基礎、門等に使用する。ただし、連続する擁壁等を施工する場合は、市場単価の鉄筋コンクリート造壁式構造を適用する。

(3) 鉄筋運搬

鉄筋運搬用トラックの規格は4t車を標準とする。ただし、建築構造物の規模や敷地条件等により10t車を考慮する。

表 A4 - 1 補正市場単価

細目	摘要	単位	備考
鉄筋加工組立	S造床板	t	
鉄筋加工組立	小型構造物	t	

第5項 コンクリート

1 一般事項

- (1) 細目工種は、単価基準によるほか表A5-1による。
(2) 細目工種は、第4編第1章3によるほか表A5-2による。

2 単価、価格等

(1) コンクリート材料単価

設計基準強度（F_c）の材料単価とする。

(2) 構造体強度補正

補正の対象となるコンクリート数量に、調合管理強度による材料単価と設計基準強度（F_c）による材料単価の差額との積で算出した価格を計上する。

なお、調合管理強度とは、設計基準強度（F_c）にセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの期間の予想平均気温に応じて定められた構造体強度補正值（S）を加えた強度をいう。

表 A5 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m ³ /回 程度	m ³	
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50m ³ /回 程度	m ³	
コンクリート打設手間	躯体コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m ³ /回 程度	m ³	
コンクリート打設手間	躯体コンクリート ポンプ打設 施工規模50m ³ /回 程度	m ³	
コンクリート打設手間	S造スラブコンクリート ポンプ打設 施工規模50m ³ /回 程度	m ³	
コンクリート打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 工作物の基礎等	m ³	
コンクリート打設手間	小型構造物コンクリート人力打設 擁壁、圍障の基礎等	m ³	

表 A5 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
コンクリート打設手間	均しコンクリート 人力打設	m ³	
コンクリート打設手間	防水保護コンクリート 人力打設	m ³	

第6項 型 枠

1 一般事項

- (1) 細目工種は、単価基準によるほか表A6-1による。
- (2) 細目工種は、第4編第1章3によるほか表A6-2による。
- (3) 型枠材（丸パイプ及びパイプサポート類も含む。）は型枠業者が回収する。
- (4) 型枠組立解体時に発生した鉄線、釘類及び端材の処理費は、共通仮設費の屋外整理清掃費に含まれる。

2 単価、価格等

(1) 合板型枠

- イ 埋殺しの場合は、市場単価及び補正市場単価を適用しない。
- ロ 型枠の転用率が低い場合等は、小型構造物用型枠を使用する。
なお、連続する擁壁等を施工する場合は、市場単価及び補正市場単価の壁式構造（基礎部又は地上軸部）を適用する。
- ハ 普通型枠にコーンを使用する場合、普通型枠にコーンを加算する。
また、コーン処理を別途計上する。

(2) 型枠運搬

型枠運搬用トラックの規格は4t車を標準とする。ただし、建築構造物の規模や敷地条件等により10t車を考慮する。

(3) その他

特殊な型枠を使用する場合は物価資料による掲載価格、専門工事業者の見積価格等により算出する。

表 A6 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部B種	m ²	
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部C種	m ²	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m ²	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m ²	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m ²	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ~ 4.0m程度	m ²	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m ²	
小型構造物用型枠	擁壁、囲障の基礎等	m ²	

表 A6 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m ²	

第7項 鉄 骨

1 一般事項

現場建方における低層とは平屋建とし、中層とは6階建程度とする。

2 単価、価格等

(1) 鋼材単価

イ 鋼材単価は、販売価格又は市中価格による。

なお、実勢販売価格についてはエキストラ価格を加算する。

【鋼材単価算出例】

SN400A CT-200×200×8×12 長さ18.5mの場合

ベース価格 H形鋼実勢販売価格（無規格200以下）

エキストラ価格 規格エキストラ（SN400A加算）

寸法エキストラ（長さ加算）

加工エキストラ（CT形鋼加算）等

上記のベース価格とエキストラ価格を加算する。

ロ ベース価格の区分は、表A7-1による。

ハ エキストラ価格の区分は表A7-2により、掲載価格は物価資料による。

ニ スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。

なお、鋼材屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。

(2) 工場加工組立

軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格によることができる。

(3) 揚重機械器具

イ 第1項により、共通仮設費に計上する。

ロ 機種選定は作業エリアからの最大作業半径と吊上荷重（最上階の1ピース最大質量）により決定する。

(4) 工場塗装

専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、これによりがたい場合は第4編第1章3による。

(5) 現場建方

軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

(6) 高力ボルト、普通ボルト類

締付け費は、軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

(7) 現場溶接

イ 半自動アーク溶接機は、定格電流500Aを標準とし、機械損率は1.5とする。

ロ 軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

表 A7 - 1

ベース価格区分表			
鋼材種別	適用条件	市中価格	実勢販売価格
H形鋼 溝形鋼 I形鋼 等辺山形鋼 外法H形鋼	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
		—	
不等辺山形鋼 平鋼 軽量形鋼	数量にかかわらず	全ての規格品	—
		SSC400相当品	
鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品

表 A7 - 2

エキストラ価格区分表	
鋼材種別	対象エキストラ
H形鋼 外法H形鋼	1. 規格エキストラ 2. 寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3. 加工エキストラ（CT形鋼・ショット）
鋼板	1. 規格エキストラ 2. 寸法エキストラ（幅・長さ・厚み） 3. 輸送エキストラ 4. 特別仕様エキストラ
溝形鋼	1. 規格エキストラ 2. 寸法エキストラ
等辺山形鋼 鋼板（切板）	1. 規格エキストラ

第8項 既製コンクリート

1 単価、価格等

単価基準の内壁コンクリートブロック帳壁及び外壁コンクリートブロック帳壁は、縦遣方、モルタル充填及び鉄筋等も含む。

第9項 防 水

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A9-1及び表A9-2による。

2 単価、価格等

(1) アスファルト防水

イ 防水押え金物は、市場単価に含まれていないため、別途計上する。

ロ AI-2（密着断熱工法）の市場単価に含まれる断熱材の厚みは、札幌50mm、その他の都市25mmとする。

表 A9 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 立上り	m ²	
屋根アスファルト防水	AI-1 密着断熱工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	AI-1 密着断熱工法 立上り	m ²	
屋根アスファルト防水	AI-2 密着断熱工法 立上り	m ²	
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 立上り	m ²	
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 立上り	m ²	
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 立上り	m ²	
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 立上り	m ²	
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 平部	m ²	
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 立上り	m ²	

表 A9 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
シーリング	PS-2ボ [®] リカルファイト [®] (2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	PS-2ボ [®] リカルファイト [®] (2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ [®] リウルタン(2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ [®] リウルタン(2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン(2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン(2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅10×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅15×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン(2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン(2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン(2成分形) 幅30×深さ10	m	

第10項 タイル

1 単価、価格等

(1) 外装壁タイル張り

外装壁タイル張りは、専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、施工規模等を勘案して参考歩掛り 表RA-11-1～表RA-11-5によることができる。

(2) 壁タイル先付け

PC版にタイルを先付けする場合は、科目別内訳書のタイルにタイル材のみを計上し張り手間はPC版にて計上する。

第11項 屋根及びとい

1 単価、価格等

長尺金属板葺については、専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、施工規模等を勘案して参考歩掛り 表RA-13-1 によることができる。

第12項 金 属

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A12-1及び表A12-2による。

2 単価、価格等

屋内天井下地補強については、天井のふところ高さが1.5m以上の場合は、特記に応じた補強の費用を単価基準 第2編第1章第14節 表A1-14-5軽量鉄骨天井下地に加算する。

表 A12 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @360 ふところ高 1.5m未満 金属成形板用	m ²	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @225 ふところ高 1.0m未満 直張り用	m ²	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @360 ふところ高 1.0m未満 下地張りあり	m ²	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @360 ふところ高 1.0m未満 金属成形板用	m ²	

表 A12 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 1200×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 1200×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 900×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 1200×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 1800×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	ダクト等四方補強 スタッド 65形 200×400mm程度	か所	
壁下地開口補強	ダクト等四方補強 スタッド 90形 200×400mm程度	か所	
壁下地開口補強	ダクト等四方補強 スタッド 100形 200×400mm程度	か所	
壁下地開口補強	ダクト等四方補強 スタッド 100形 300×600mm程度	か所	
壁下地開口補強	ダクト等四方補強 スタッド 100形 450×900mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 150×150mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 900×900mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 1300×1300mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 300×2500mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁25形 150×150mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁25形 300×300mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁25形 900×900mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁25形 1300×1300mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁25形 300×1200mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 25形 300×2500mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 25形 300×3600mm程度	か所	

第13項 左 官

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A13-1による。

2 単価、価格等

各種モルタル塗りについては、塗り厚さや塗り幅及び塗り高さが著しく異なる場合は、材料及び塗り回数による補正を行う。

表 A13 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
床モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上げ	m ²	
床モルタル塗り	金ごて 厚30 塗り仕上げ下地	m ²	
床モルタル塗り	木ごて 厚22 エットタル下地	m ²	
階段モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上げ	m ²	
階段モルタル塗り	金ごて 厚30 塗り仕上げ下地	m ²	
幅木モルタル塗り	金ごて H300 出幅木	m	
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅100 戸当り無し	m	
壁モルタル塗り	金ごて 厚25 外壁 3回塗り	m ²	
壁モルタル塗り	金ごて 内装タル接着張り下地	m ²	
壁モルタル塗り	木ごて 内装タル改良積上張り下地	m ²	
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚20 内壁	m ²	
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚25 外壁	m ²	
笠木モルタル塗り	パラペット 金ごて 糸幅500程度	m	
笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅340程度	m	
窓台モルタル塗り	金ごて 糸幅150程度	m	
膳板モルタル塗り	金ごて 糸幅150程度	m	

第14項 建 具

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A14-1～表A14-3による。

2 単価、価格等

(1) 金属製建具

製品代をカタログ又は物価資料の掲載価格による場合は、取付手間は、参考歩掛り表RA-16-1～表RA-16-5によることができる。

(2) ガラス

イ ガラスとめ材にガスケットを使用する場合は、参考歩掛り表RA-16-19によることができる。

ロ ガラスのとめ材の数量は、個々のガラスの周長とする。ただし、ガラスの形状が正方形又は長方形等の成形の場合は、表A14-2による。

表 A14 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
型板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚3mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸6.81㎡以下	㎡	
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸2.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸4.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸4.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸2.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸4.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸4.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸2.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚5mm 特寸2.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚5mm 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚6mm 特寸2.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚6mm 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚8mm 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚10mm 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚12mm 特寸4.0㎡以下	㎡	

表 A14 - 2

ガラスの大きさと㎡当たり周長						
ガラスの規格 (㎡以下)	0.74	2.18	4.45	6.81	9.09	11.36
平均周長 (m/㎡)	4.65	3.38	2.23	1.71	1.43	1.25

表 A14 - 3 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
フロント板ガラス	厚10mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
フロント板ガラス	厚10mm 特寸6.81㎡以下	㎡	
網入磨き板ガラス	厚10mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
網入磨き板ガラス	厚10mm 特寸6.81㎡以下	㎡	

第15項 塗 装

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A15-1～A15-9による。

2 単価、価格等

仕上げ塗料塗りについては、単価基準及び本運用に定めのない細幅物（糸幅300mm以下）の単価を作成する際は、m²単価に「0.4（係数）」を乗じて算定する。

表 A15 - 1 補正市場単価（標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内（仕様：第8節）	水系	B種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内外 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面屋内外 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面 錆止別途	1種	A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²

表 A15 - 2 補正市場単価（標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 錆止別途			m ²
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面		A種	m ²
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面		B種	m ²
CL塗り (クリアラッカー塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m ²
CL塗り (クリアラッカー塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m ²
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m ²
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m ²
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部	1種	A種(屋外)	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部			m
CL塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		B種	m

表 A15 - 3 補正市場単価（標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m ²
素地ごしらえ	木部 セラックニス		A種(屋内)	m ²
素地ごしらえ	木部		B種	m ²
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m ²
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m ²
素地ごしらえ	モルタル及びプラスター面		A種	m ²
素地ごしらえ	モルタル及びプラスター面 (付着物の除去)			m ²
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m ²
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m ²
素地ごしらえ	せっこうボード及びその他ボード面		A種	m ²
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m ²
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m ²

表 A15 - 4 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	A種	A種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	A種	B種	m ²
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内外）塗替え面	A種	C種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	A種	A、B種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	水系	A種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	水系	B種	m ²
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内）塗替え面	水系	C種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	水系	A、B種	m ²

表 A15 - 5 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 下地調整別途	1種	A種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 下地調整別途	1種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 下地調整別途	1種	C種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（新規面）錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（塗替え面）錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（新規面）錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（塗替え面）錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（塗替え面）錆止別途 下地調整別途	1種	C種	m ²
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		A種	m ²
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		B種	m ²
CL塗り（クリアラッカー塗り）	木部 下地調整別途		A種	m ²
CL塗り（クリアラッカー塗り）	木部 下地調整別途		B種	m ²
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	木部 下地調整別途		A種	m ²
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	木部 下地調整別途		B種	m ²
OS塗り（オイルステイン塗り）	木部 付着物除去とも（塗替え面）			m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		C種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²

表 A15 - 6 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		C種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内木部 下地調整別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内木部 下地調整別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内木部 下地調整別途		C種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		C種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		C種	m ²

表 A15 - 7 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部	1種	B種	m
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替え面) 木部	1種	C種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エポキシペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エポキシペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		B種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エポキシペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替え面) 木部		B種	m
CL塗り（クリアラッカー塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		A種	m
CL塗り（クリアラッカー塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		B種	m
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替え面) 木部		A種	m
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替え面) 木部		B種	m
OS塗り（オイルステイン塗り）	細幅物糸幅300mm以下(付着除去 塗替え面) 木部			m

表 A15 - 8 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(屋内)	m ²
下地調整	木部（塗替え面）セラックニス		RA種(屋内)	m ²
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(屋外)	m ²
下地調整	木部（塗替え面）		RB種	m ²
下地調整	木部（塗替え面）		RC種	m ²
下地調整	木部（新規面）		RA種(屋内)	m ²
下地調整	木部（新規面）セラックニス		RA種(屋内)	m ²
下地調整	木部（新規面）		RA種(屋外)	m ²
下地調整	木部（新規面）		RB種	m ²
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RA種	m ²
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RB種	m ²
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RC種	m ²
下地調整	モルタル面（新規面）		RA種	m ²
下地調整	モルタル面（新規面）		RB種	m ²
下地調整	モルタル面 付着物除去			m ²
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RA種	m ²
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RB種	m ²
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RC種	m ²
下地調整	コンクリート面（新規面）		RA種	m ²
下地調整	コンクリート面（新規面）		RB種	m ²
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RA種	m ²
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RB種	m ²
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RC種	m ²

表 A15 - 9 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単 位
	下地種類等	塗装種別	作業工程 (塗り回数)	
下地調整	押出成形セメント板面（新規面）		RA種	m ²
下地調整	押出成形セメント板面（新規面）		RB種	m ²
下地調整	ボード面（塗替え面）		RA種	m ²
下地調整	ボード面（塗替え面）		RB種	m ²
下地調整	ボード面（塗替え面）		RC種	m ²
下地調整	ボード面（新規面）		RA種	m ²
下地調整	ボード面（新規面）		RB種	m ²
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RA種	m ²
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RB種	m ²
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RC種	m ²
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RA種	m ²
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RB種	m ²
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RA種	m ²
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RB種	m ²
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RC種	m ²
下地調整	鉄鋼面（新規面）		RA種	m ²

第16項 内外装

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A16-1～A16-6による。

2 単価、価格等

(1) 床仕上げ材張り

完成時の清掃及び樹脂ワックス掛けは直接仮設の整理清掃後片付けに含む。

(2) 壁せっこうボード張り

継目処理工法による施工の場合は、突付け工法に対して単価基準 第2編第1章第18節 表A1-18-9のせっこうボード継目処理の単価を加算する。

(3) 壁紙張り

壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

(4) 天井壁紙張り

天井壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

表 A16 - 1 補正市場単価（内装床材類）

細 目	摘 要	単 位	備 考
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS	m ²	
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS	m ²	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT 多湿部	m ²	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT	m ²	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT 多湿部	m ²	
階段ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT	m ²	
ビニル幅木（ソフト幅木）	H=75mm	m	
ビニル幅木（ソフト幅木）	H=100mm	m	

表 A16 - 2 補正市場単価（内装床材類）

細目	摘要	単位	備考
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m ²	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=60mm	m	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=75mm	m	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=100mm	m	

表 A16 - 3 補正市場単価（壁せっこうボード張り）

細目	摘 要	単位	備 考
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理 GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理 GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付けV目地	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 目透かし	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 継目処理	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り GL工法	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付けV目地	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 目透かし	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 継目処理	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け GL工法	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 継目処理 GL工法	m ²	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り GL工法	m ²	
壁 シーズングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m ²	
壁 シーズングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地	m ²	

細目	摘要	単位	備考
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け GL工法	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL工法	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理 GL工法	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り GL工法	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m ²	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り GL工法	m ²	
壁 強化せつこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け	m ²	
壁 強化せつこうボード張り	厚15.0mm 不燃 継目処理	m ²	
壁 強化せつこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り	m ²	
壁 強化せつこうボード張り	厚21.0mm 不燃 突付け	m ²	
壁 強化せつこうボード張り	厚21.0mm 不燃 継目処理	m ²	
壁 強化せつこうボード張り	厚21.0mm 不燃 下地張り	m ²	
壁 吸音用穴あきせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 (不燃紙裏打ち) 突付け 穴φ6-22	m ²	
壁 せつこうラスボード張り	厚9.5mm 下地張り	m ²	

表 A16 - 4 補正市場単価 (壁けい酸カルシウム板張り)

細目	摘要	単位	備考
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	

表 A16 - 5 補正市場単価（天井せっこうボード張り）

細目	摘 要	単位	備 考
天井 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m ²	
天井 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m ²	
天井 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理	m ²	
天井 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m ²	
天井 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m ²	
天井 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m ²	
天井 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理	m ²	
天井 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m ²	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 目透かし	m ²	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 継目処理	m ²	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り	m ²	
天井吸音用穴あきせっこうボード張り	厚9.5mm 不燃（不燃紙裏打ち） 突付け 穴φ6-22	m ²	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m ²	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m ²	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理	m ²	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m ²	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m ²	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m ²	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理	m ²	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m ²	
天井 化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け トラバーチン	m ²	

表 A16 - 6 補正市場単価（天井ボード張り）

細目	摘要	単位	備考
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地-ジーンガせっこうボード厚12.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地-ジーンガせっこうボード厚12.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地-ジーンガせっこうボード厚12.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地-ジーンガせっこうボード厚12.5mm共	m ²	

第2節 改修工事

第1項 仮設（改修）

1 一般事項

- (1) 仮設は、設計図書に基づき工事内容や施工条件を確認し適切に算出する。
 なお、設計変更に伴う工事費の変更は、設計図書により記載内容が変更された場合とする。
- (2) 施工条件が明示された場合は、その内容により算出する。
- (3) 外部足場は、設計図書による。

2 単価、価格等

- (1) 養生、整理清掃後片付け
 塗装塗替え程度は、単価基準のほかに既存仕上げ材（モルタルやボード等）を撤去せずに塗装材の改修をする場合も適用する。
- (2) 外部足場
 イ 外壁改修等で枠組本足場を使用する場合には、単価基準 第2編第1章第1節による。
 ロ 枠組本足場の設置の標準は、表A20-1を参考に選定する。
 ハ 枠組本足場の設計供用日数は、施工条件明示により算定する。
- (3) 内部仕上足場
 内部仕上足場は、「脚立足場 階高4.0m以下」を標準とする。ただし、階高が高い（階高4.0m超）部位の改修等の場合は、単価基準 第2編第1章第1節による。
- (4) 災害防止
 イ 外部足場に、災害防止が必要な場合は単価基準 第2編第1章第1節による。
 ロ 災害防止の設計供用日数は、施工条件明示により算定する。

表 A 20 - 1

枠組本足場の設置の標準		
建枠寸法	板付布枠	規模・仕上げ
1200枠	500布枠×2枚	外部改修（タイル、モルタルはつり補修程度）（3階建て以上）
900枠	500+240布枠	外壁改修（吹付け、ピンニング程度）（3階建て以上） 外部改修（タイル、モルタルはつり補修程度）（2階建て以下）
600枠	500布枠×1枚	外壁改修（吹付け、ピンニング程度）（2階建て以下） 防水改修等で昇降用に設置する足場

(注) 1. 階高は、4m程度とする。

2. 建枠及び板付布枠の寸法単位は、mmとする。

第2項 撤 去

1 単価、価格等

(1) コンクリート撤去

- イ 既存との取り合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ 施工条件によっては、人力も考慮する。
- ハ 防水押えコンクリート撤去の場合は、撤去後の下地に付着しているコンクリート残存物等のケレン及び清掃を含む。

(2) れんが撤去

- イ コンクリートブレーカによる撤去を標準とする。既存との取り合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ 施工条件によっては、人力も考慮する。

(3) CB撤去

- イ コンクリートブレーカによる撤去を標準とする。既存との取合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ 施工条件によっては、人力も考慮する。

(4) 金属製建具撤去

- イ 建具周囲のはつり及びカッター入れの計上に留意する。
- ロ 単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-37には、建具周囲はつり及びカッター入れは含まれていない。

(5) ガラス撤去

- 単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-39には、ガラス廻りシーリングの撤去を含む。

(6) 天井合板、ボード撤去

- せっこうボードと他のボードを分けて撤去する場合は、1重張りを2回計上する。

(7) 既存防水層撤去

- 単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-45は、既存防水層撤去後の下地に付着している防水層残存物等のケレン及び清掃を含む。

(8) 空気圧縮機運搬

- 撤去に空気圧縮機が必要な場合は、空気圧縮機運搬を計上する。

(9) 建設発生材運搬

- 運搬経路におけるD I D区間の有無は、設計図書に明記された処分先の確認等により判断し計上する。

(10) 建設発生材処分

- 建設発生材処分は、産業廃棄物処理業者の見積価格等を参考にする。

第3項 防水改修

1 単価、価格等

(1) 防水層の新設

単価基準 第2編第1章第9節によるほか第4編第2章第1節第9項による。

(2) 防水保護層新設

コンクリート打設は、単価基準 第2編第1章第5節によるほか第4編第2章第1節第5項による。

第4項 外壁改修

1 単価、価格等

(1) 施工数量調査

調査内容は、足場等を使い壁面の直近で行う目視及び打診調査をいい、その報告書の作成を含む。

(2) 既存塗膜除去

既存塗膜除去は、単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-44による。

(3) 各種外装材新設

タイル及び下地材については単価基準 第2編第1章第8節から第15節及び第17節から第19節によるほか第4編第2章第1節第12項、第13項及び第15項、第16項による。

第5項 建具改修

1 単価、価格等

(1) 木製建具、金属製建具及びガラス

単価基準 第2編第1章第16節によるほか第4編第2章第1節第14項による。

(2) 建具廻りシーリング

単価基準 第2編第1章第9節によるほか第4編第2章第1節第9項による。

第6項 内装改修

1 単価、価格等

各種ボード及び下地材の新設については単価基準 第2編第1章第8節から第15節並びに第17節から第19節によるほか第4編第2章第1節第12項、第13項、第15項及び第16項による。

第7項 塗装改修

1 単価、価格等

(1) 既存塗膜除去

既存塗膜除去は、単価基準 第2編第2第2節 表A2-2-44による。

(2) 下地調整

下地調整は、第4編第2章第1節第15項 表A15-8及び表A15-9による。

なお、既存塗膜除去したあとの下地調整の単価である。

(3) 錆止め塗装

錆止め塗装は、第4編第2章第1節第15項 表A15-4による。

(4) 仕上げ塗料塗り

イ 仕上げ塗料塗りは、第4編第2章第1節第15項 表15-5～表15-7による。

ロ 単価基準及び本運用に定めのない細幅物（糸幅300mm以下）の単価を作成する際は、 m^2 単価に「0.4（係数）」を乗じて算定する。

第8項 耐震改修

1 一般事項

細目工種は、表A21-1及び表A21-2による。

2 単価、価格等

(1) 鉄筋工事

第4編第2章第1節第4項による。ただし、鉄筋加工組立の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な鉄筋と構成比が異なるため本項による。

(2) コンクリート工事

第4編第2章第1節第5項による。

(3) 型枠工事

イ 型枠の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な型枠と構成比が異なるため本項による。

ロ 型枠運搬の細目工種は、第4編第2章第1節第6項による。

(4) 鉄骨工事

第4編第2章第1節第7項による。

表 A 21 - 1 補正市場単価

細目	摘要	単位	備考
鉄筋加工組立	耐震改修用	t	

表 A 21 - 2 補正市場単価

細目	摘要	単位	備考
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m ²	
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m ²	
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m ²	

第3章 電気設備工事

第1節 新設工事

第1項 共通工事

1 一般事項

補正市場単価は、第3編第4章5により算出し、その算定式は附表E1～附表E39による。

2 単価、価格等

(1) 配管工事

イ 配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-1による。

ロ 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、付属品、雑材料及び配管等の施工上の迂回等を含む。

ハ ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く。）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合）に適用する。

ニ 耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を別途加算する。

ホ BS形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の労務の所要量は、割増しを行わない。

ヘ 1種金属線ぴの付属品及びボックス類は、別途計上する。

ト 金属ダクト及び金属トラフの吊り金具等の支持材は、別途計上する。

チ 電力用プルボックスは、プルボックス用接地端子を加算する。

(2) 配線工事

イ 配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-2による。

ロ 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料及び電線等の施工上の迂回等を含む。

ハ 2種金属線ぴに收容する配線工事の労務の所要量は、各細目工種の管内配線を適用する。

ニ 波付硬質合成樹脂管及び線ぴ類については、導入線を計上しない。

ホ 低圧ケーブルで、合成樹脂モールド工法等の特別な工法を用いる場合は、ケーブル接続材料を別途計上する。

ヘ 600Vポリエチレンケーブルで、デュプレックス形は2C、トリプレックス形は3C、カドラプレックス形は4Cの労務の所要量を適用する。

ト 光ファイバケーブル敷設のためのクロージャール及び成端箱の材料費並びに施工費は、別途計上する。

チ 着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（EM-FCPEE）及び市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（EM-CPEE）の1Pから3Pの歩掛りは、単価基準 第3編第1章第1節 表E1-1-15の2C～6

Cの労務の所要量を準用する。

リ ライティングダクトの支持材料及び付属品は、別途計上する。

(3) 接地工事

接地極の埋設位置には、単価基準 第3編第1章第1節 表E1-1-29 接地極埋設標を計上する。ただし、電柱及び屋外灯の場合並びにマンホール及びハンドホールの接地極は、単価基準 第3編第1章第2節 表E1-2-39 接地抵抗測定を計上し、接地極埋設標は計上しない。

(4) 塗装工事

イ 塗装は材料の表面積を対象とし、塗り回数など重複計上しない。

ロ 外灯用ポール等を現地塗装する場合は、特記のある場合のみ計上する。

(5) 機器搬入

イ 搬入機器の質量及び容積は、原則として図面特記又は機器見積りを参考として算定する。

ロ 分割搬入する機器は、分割時の各部材を単体機器として質量及び容積の算定を行う。

(6) 土工事等

イ 土工及び舗装等において建設機械を使用する場合は、当該機械の運搬費を参考歩掛り別表RA-2-39-1により計上する。

表E1-1 補正市場単価【配管工事】

細目	摘要	単位
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい、露出配管16～82	m
ケーブルラック	トレー形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200～600 (1段目及び2段積の2段目)	m
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400～1000BS	m
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200～1000A、400～1000B 支持材別途(共同溝内敷設)	m
ケーブルラック	はしご形 ZM35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200～1000A、400～ 1000B支持材別途(共同溝内敷設)	m
ケーブルラック	はしご形 Z35(溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A～1000A、400～1000B (1段目及び2段積の2段目)	m
ケーブルラック	はしご形 Z35(溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A～1000A、400～1000B (1段目及び2段積の2段目) 支持材別途(共同溝内敷設)	m
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200～1000A、400～1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m

表E1-2 補正市場単価【配線工事】

細目	摘要	単位
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)管内配線 1.0~2.6mm	m
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)管内配線 2~3.5mm ² 、150~325mm ²	m
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 1.0~2.6mm	m
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 2~3.5mm ² 、150~325mm ²	m
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線(HIV)管内配線 1.2~325mm ²	m
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)PF及びCD管内配線 1.0~325mm ²	m
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)PF及びCD管内配線 1.0~325mm ²	m
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線(HIV)PF及びCD管内配線 1.2~325mm ²	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カールブラグ含む) 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) 管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カールブラグ含む) 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ケーブルラック内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) PF及びCD管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEFG) ころがし配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め(カールブラグ含む) 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEFG) 管内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m

第2項 電力設備工事

1 単価、価格等

(1) 電灯設備

- イ 耐熱形分電盤は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-15を適用する。
- ロ OA盤は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-15で算出した人員を、修正表を用いて算定した適用人員と、単価基準 第3編第1章第3節表E1-3-1で算出した労務の所要量を加算する。
- ハ 分電盤等の予備回路及び予備スペースに対する労務の所要量は、当該労務の所要量の50%とする。
- ニ リモコンリレー、ターミナルユニット等を壁面及び天井内に取付ける場合は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-4を適用し、分電盤類等に組込む場合は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-16を適用する。
- ホ 直管形LED照明器具は単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-10、電球形LED照明器具は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-11を適用する。

(2) 動力設備

- イ 制御盤に単位装置がない回路は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-15の労務の所要量を適用し加算する。
- ロ 負荷が接続されない回路（警報用・操作用含む。）に対する労務の所要量は、当該労務の所要量の50%とする。
- ハ 制御盤に自動又は手動交互運転制御回路がある場合は、当該労務の所要量の150%とする。
- ニ 警報盤は、単価基準 第3編第1章第3節表E1-3-7を適用する。

(3) 雷保護設備

導線の労務の所要量は支持金具の取付けを含み、水平導体及びメッシュ導体の労務の所要量は支持ボルトの取付けを含むが、支持金具及び支持ボルトは必要数を計上する。

(4) 受変電設備

- イ スコット変圧器は、三相変圧器の労務の所要量を適用する。
- ロ 前面保守形配電盤（薄形）は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-21の労務の所要量を補正して適用する。
なお、受配電盤及びコンデンサ盤は、普通作業員の70%、低圧盤及び変圧器盤は電工及び普通作業員の50%を労務の所要量とする。
- ハ 油入変圧器500KVA以上、モールド変圧器150KVA以上の場合は、ダイヤル温度計を加算する。
また、必要に応じて移動車輪及び防振ゴムを加算する。
- ニ 高圧コンデンサの労務の所要量は、放電コイルが付属している場合も適用する。
- ホ 高圧機器は1個の労務の所要量を示すので、計器用変流器（CT）など2個1組の場合は歩掛りを2倍する。

(5) 地中線路

掘削及び埋戻しは、別途計上する。

第3項 通信・情報設備工事

1 単価、価格等

(1) 構内交換設備

集合保安器箱に保安器本体を取付ける場合は、別途計上する。

(2) 構内情報通信網設備

光ファイバケーブル及びLAN用ケーブル（UTP）の端部にコネクタ・プラグユニット等を現場で取付ける必要がある場合は、別途計上する。

(3) 情報表示・拡声設備

アナログ子時計が天井吊下形又はブラケット形の場合は、壁掛形の労務の所要量を適用する。

(4) 誘導支援設備

イ トイレ呼出表示器及びトイレ呼出ボタンは、単価基準 第3編第1章第3節 表E1-3-7を適用する。

ロ テレビインターホンは、単価基準 第3編第1章第3節表E1-3-8を適用する。

(5) 火災報知設備

防火シャッター、防煙ダンパー、防煙たれ壁及び排煙口等への接続は、結線費を計上する。

第1節 共通工事（改修）

1 単価、価格等

（1）単価の適用

外構関連（架空線路、地中線路及び接地工事）及び撤去に関しては改修工事の分類に関係なく原則割増しを行わない。

（2）仮設

高所作業の足場、仮設間仕切り、養生及び清掃が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

（3）調査

非破壊検査、絶縁油調査及び既設配管・配線等の敷設状況の現況調査が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

（4）結線

イ 分電盤・制御盤等の既存ブレーカーに電線及びケーブルを接続する場合には、結線費を計上する。

ロ 通信機器等の既存端子に電線及びケーブルを接続する場合には、結線費を計上する。

（5）取外し再取付け

イ 取外し再取付けの労務の所要量は、取外し品を破損することなく再使用できる状態を保って丁寧に取外すものであり、取外し品の簡単な清掃も含まれている。

ロ 一時的な取外し再取付けや、照明器具の改修工事等で、既設位置への取付けの場合で、墨出しの軽減や既存吊りボルトの活用が可能な場合は、雑材料及び労務の所要量を実状に応じて低減することができる。

ハ 主要機器の取外し再取付けを行う場合で、施工後に全体的なシステム調整を要するものは、総合試験調整費を別途計上する。

ニ 取外し及び再取付けを行う場合は、製品等に対応する工種の「その他」の率を適用する。

（6）仮設工事

イ 停電及び設備システムの機能停止等が困難な場合に、既存の設備機能等を維持させるための設備が必要な場合は、仮設工事費を別途計上する。

ロ 配管・配線等

仮設の配管・配線等の単価は、原則として全損扱いとし、複合単価又は市場単価を計上する。ただし、仮設期間が3ヶ月未満の場合は、以下のとおり各単価を補正する。

（イ） 複合単価又は市場単価を70%程度に低減し算定する。

（ロ） 再使用が困難な保温等の単価は全損とする。

（ハ） 撤去にあたっては、単価基準の当該事項に基づきその費用を計上する。

（ニ） 仮設に使用する配管等については、新品を使用し全損することを特記する。

仮設配管及び配線等の単価作成例を表E2-5及び表E2-6に示す。

表E2-5 ねじ無し電線管（EP）（市場単価）

ねじ無し電線管	EP 19mm	隠ぺい		1 mあたり	590円	
名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
ねじなし電線管	EP19mm 隠ぺい	m	1	840	840	①
計					840	②
低 減 単 価	市場単価×70%				588	③ ②×0.7

表E2-6 600Vポリエチレンケーブル「標準単価積算基準」表E1-1-7

600Vポリエチレンケーブル	EM-CE60mm2-3C	管内配線		1 m当たり	2,880円	
名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
600Vポリエチレンケーブル	EM-CE60mm2-3C	m	1.05	2,080	2,184	①
雑 材 料	(材)×5%	式	1		109.2	② ①×0.05
電 工		人	0.082	19,200	1,574.4	③
そ の 他	(材)×16%	式	1		251.9	④ ③×0.16
計					4,119.9	⑤
低 減 単 価	複合単価×70%				2,883.65	⑥ ⑤×0.7

ハ 原則として見積り等によるリース料をもって仮設材費とするものは次による。

- (イ) 変圧器類
- (ロ) 発電機類
- (ハ) 配電盤類
- (ニ) 通信・情報機器類
- (ホ) その他の仮設備機器

ニ 仮設備を運転するに当たって、燃料が必要な場合は、別途計上する。

第2項 撤去工事

1 単価、価格等

(1) 撤去

単価基準 第3編第2章第1節表E2-1-2～表E2-1-13に記載のない撤去工事の労務の所要量は、単価基準 第3編第2章第1節表E2-1-1の対応する、名称区分毎の新設工事の労務歩掛りに対する率を乗じて算出する。

(2) 発生材処理

イ 発生材の積込み、運搬及び処分に適用する。

ロ 発生材処分品は引渡しを要するもの以外とし、再生資源化を図るものとそれ以外で分類し計上する。

ハ 運搬経路におけるD I D区間の有無は、設計図書に明記された処分先の確認等により判断し計上する。

ニ 建設発生材処分は、産業廃棄物処理業者の見積価格等を参考にする。

第3項 機器搬出

1 単価、価格等

- (1) 分割搬出する機器は、分割時の各部材を単体の機器としての質量及び容積の算定を行う。
- (2) 大型機器の撤去において一体で搬出できない場合は、分割するための切断費又は分解費を計上する。

第4項 はつり工事

1 単価、価格等

単価基準のはつり工の労務の所要量は、コンクリート壁貫通口、コンクリート壁貫通面積及び溝はつり幅×深さの各項目の直近上位の値を採用する。

第4章 機械設備工事

第1節 新設工事

第1項 共通工事

1 一般事項

補正市場単価は、第4編第1章5市場単価の補正により算出し、その算定式は附表M1～附表M13による。

2 単価、価格等

(1) 配管工事の留意事項

イ 外壁や屋上の配管は、「屋内一般配管」として扱い、配管支持架台を別途計上する。

ロ 屋内の地中埋設配管は、施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」に区分し積算する。

ハ 次の配管材料の歩掛りは、協議会歩掛りによる。

- ・給水塩ビライニング鋼管（SGP-VD）
（単価基準 表M1-1-9以外の施工箇所）
- ・給水ポリ粉体ライニング鋼管（SGP-PD）
（単価基準 表M1-1-3以外の施工箇所）
- ・給湯耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管（HTVP）
（給水耐熱陸硬質塩化ビニル管（HTVP）を準用）
- ・プロパン・消火・排水ポリエチレン被覆鋼管
- ・水道用ポリエチレン管

ニ 特記仕様書等にて、複数の使用管材や接合方法が併記されている場合は、口径毎に安価な単価を採用する。

ホ 外壁から第1桝までの排水管は「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。

(2) 配管付属品

イ 耐火二層管において、特記により伸縮継手を設置する場合は、その伸縮継手（材工共）を別途計上する。

また、必要に応じ、配管固定金物を別途計上する。

なお、伸縮継手の歩掛りは同一呼び径のバタフライ弁に準ずる。

ロ メカニカル形ステンレス鋼弁の歩掛りは、仕切弁の歩掛りを準用するものとし当該所要工数に80%を乗じるものとする。

(3) 保温工事

イ 保温工事の細目工種は、参考歩掛り及び表M1-1～表M1-3による。

ロ 断熱材被覆銅管用保温外装は、協議会歩掛りによる。

(4) 機器搬入

- イ 分割して搬入する機器（ユニット形空気調和機及びヒートポンプ給湯機等）は、分割時の各部材を1個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。
- ロ 機器の質量及び容積は、価格算定時に参考とした製造業者の値とする。
- ハ 契約図書で明示される条件が、単価基準 表M1-1-68に設定される揚重機16tでは不足する場合、搬入基準単価から揚重機分を差し引き、適切な揚重機の所要量を別途計上する。

(5) 総合調整

- イ 全面改修工事の場合も、新設工事と同様に計上する。
- ロ 主熱源機器を屋上又は地上に設置する場合も、主機械室内機器として扱う。
- ハ 算定対象とする配管系統は、冷水管、温水管、冷温水管、冷却水管、蒸気管（低圧蒸気管、高圧蒸気管及び還水管。ただし、直暖用蒸気管は単価基準のとおり。）、高温水管及びブライン管とする。

また、算定対象としない配管系統は、単価基準 表M1-1-70によるほか空気抜管、排水通気管、ドレン管、水抜管及び膨張管並びに弁装置のバイパス管とする。

(6) ポンプ類

- イ 小型給水ポンプユニットの歩掛りには、ユニット構成品の2台のポンプ、加圧タンク及び制御盤を含んでいる。

なお、ポンプ台数が2台以外の場合は、ポンプ台数の比率により据付け歩係りの補正を行うものとする。

例) 0.75kwのポンプが3台の場合

$$1.97 / 2 \times 3 = 2.955 \rightarrow 2.96 \text{人}$$

- ロ 真空給水ポンプユニット（エゼクター方式）の歩掛りは、真空給水ポンプユニット（真空ポンプ式）を準用する。

また、適用は、当該ポンプの放熱面積のとおりとする。

(7) 土工事

機械土工を使用する場合は、バックホウ等の運搬費を参考歩掛り 別表RA-2-39-1により計上する。

(8) コンクリート工事・その他

機器用基礎、柵類以外のコンクリート工事は、参考歩掛り 表RA-5-8による。

表M1-1 補正市場単価 保温工事（配管）【グラスウール】

細目	施工場所	仕様	単位	備考
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
冷水管・冷温水管（沖縄地区等）	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
蒸気管(0.1MPa未満)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
蒸気管（0.1MPa以上0.6MPa未満）	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
蒸気管（0.6MPa以上1.0MPa未満）	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
冷媒管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ステンレス鋼板	m m m	

表M1-2 補正市場単価 保温工事（配管）【ロックウール】

細目	施工場所	仕様	単位	備考	
給水管・排水管・給湯管 及び温水管(膨張管を含む)	屋内露出	合成樹脂カバー	m		
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m		
		アルミガラス化粧原紙	m		
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m		
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m		
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m		
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室 及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m		
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m		
		ステンレス鋼板	m		
	冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
機械室・書庫・倉庫・トレンチ		アルミガラスクロス	m		
		アルミガラス化粧原紙	m		
天井及びパイプシャフト内		アルミガラスクロス	m		
暗渠内（ピット内を含む）		着色アルミガラスクロス	m		
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室 及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		カラー亜鉛鉄板	m		
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m		
		ステンレス鋼板	m		
冷水管・冷温水管（沖縄地区等）		屋内露出	合成樹脂カバー	m	
		機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	アルミガラス化粧原紙		m		
	天井及びパイプシャフト内	アルミガラスクロス	m		
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m		
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室 及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m		
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m		
		ステンレス鋼板	m		
	蒸気管(0.1MPa未満)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
		機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
アルミガラス化粧原紙			m		
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m		
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m		
暗渠内（ピット内を含む）		着色アルミガラスクロス	m		
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室 及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		カラー亜鉛鉄板	m		
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m		
		ステンレス鋼板	m		
蒸気管 (0.1MPa以上0.6MPa未満)		屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m		
		アルミガラス化粧原紙	m		
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m		
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m		
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m		
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室 及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m		
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m		
		ステンレス鋼板	m		
	蒸気管 (0.6MPa以上1.0MPa未満)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
機械室・書庫・倉庫・トレンチ		アルミガラスクロス	m		
		アルミガラス化粧原紙	m		
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m		
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m		
暗渠内（ピット内を含む）		着色アルミガラスクロス	m		
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室 及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		カラー亜鉛鉄板	m		
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m		
		ステンレス鋼板	m		
冷媒管		屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m		
		着色アルミガラスクロス	m		
	天井及びパイプシャフト内	アルミガラスクロス	m		
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m		
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室 及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m		
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m		
		ステンレス鋼板	m		

表M1-3 補正市場単価 保温工事（配管）【ポリスチレンフォーム】

細目	施工場所	仕様	単位	備考
給水管・排水管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
ステンレス鋼板		m		
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水管・冷温水管 （沖縄地区等）	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水管（冷水取水管）	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
ブライン管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	

第2項 空気調和設備工事

1 単価、価格等

(1) 機器設備

- イ 吸収冷凍機、吸収冷温水機及び吸収冷温水機ユニットの保温工事費は、製造業者の見積価格等を参考にする。
- ロ 空気熱源ヒートポンプパッケージ形空気調和機（セパレート・マルチ）の屋外機のうち定格冷房能力が25.0kWを超えるものの据付費は、協議会歩掛りによる。
- ハ ヒートポンプ式パッケージ形空気調和機の冷媒管の分岐ユニットの単価は、製造業者の見積価格等を参考にする。
- ニ 地下オイルタンク付属品の据付費は、協議会歩掛りによる。
- ホ 全熱交換器の据付費は、業務用のものについては、単価基準 表M1-2-19 静止形全熱交換器（ユニット形）のもの採用し、店舗用及び家庭用のものについては、単価基準 表M1-2-21 換気扇（天井埋込形）のものを準用する。

(2) ダクト設備

- イ ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1-4による。
- ロ ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトの施工費は、協議会歩掛りによる。
- ハ ウェザーカバーの据付費は、協議会歩掛りによる。
- ニ 吹出口及び吸込口ボックス並びにチャンバー等の吊り用インサート取付費は、運用の附表M8 アングルフランジ工法ダクト（単価記号A）を採用し別途計上する。
なお、シーリングディフューザー用グラスウール製ボックスの吊りは、1箇所を標準とする。

(3) 弁装置類

本歩掛りは、該当する歩掛りが無い場合は、類似の歩掛りを組み合わせて作成する。

表M1-4 補正市場単価 【ダクト工事】

細 目	摘 要	単 位	備 考
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト（インサート取付費含む。A+Bシール無し）	m ²	
アングルフランジ工法ダクト	排煙ダクト（インサート取付費含む。A+Bシール無し）	m ²	
共板フランジ工法ダクト	（インサート取付費含む。A+Bシール無し）	m ²	
スパイラルダクト	低圧ダクト（インサート取付費含む。）	m	
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト（インサート取付費別途。A+Bシール共）	m ²	
共板フランジ工法ダクト	（インサート取付費別途。A+Bシール共）	m ²	
チャンバー	低圧用（インサート取付費別途。シール共）	m ²	
チャンバー	高圧1ダクト用及び高圧2ダクト用・排煙ダクト用 （インサート取付費別途。シール無し）	m ²	
組立ボックス	低圧用（インサート取付費別途。シール共）	m ²	
ボックス	低圧用（インサート取付費別途。シール共）	m ²	
線状吹出口用ボックス	低圧用（インサート取付費別途。シール共）	m ²	

第3項 自動制御設備工事

1 一般事項

自動制御設備は、専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、制御盤を有しないような軽微な自動制御設備は研究会参考歩掛りにより積算するものとする。

2 単価、価格等

(1) 自動制御設備

イ 専門工事業者の見積りによる場合は、専門工事業者の諸経費を計上する。

ロ 中央監視制御装置の形式がⅡ形（簡易形監視制御装置）及びⅢ形（監視制御装置）の中央監視システムは、ソフトウェアの仕様決定を行うための事前打合せに関する費用として、エンジニアリング費を見積価格等を参考に計上する。

なお、事前打合せを行う項目は下記による。

- ・設備機器の動作条件の設定
- ・DDC（ダイレクトデジタルコントローラー）の構成
- ・サマリーグラフの構成等
- ・作表印字の構成等
- ・その他、専門工事業者が事前打ち合わせに必要とするもの。

第4項 給排水衛生設備工事

1 単価、価格等

(1) 衛生器具設備

イ 衛生器具設備の細目工種は、単価基準及び表M1-5による。

なお、壁掛形汚物流しユニットの取付けは、協議会歩掛りによる。

ロ 大便器及び小便器ユニット等は、ユニットの構成、配管の種類及びケーシング据付け等を細分化し、製造業者の見積価格等を参考にする。

(2) 給湯設備

ヒートポンプ式給湯器の据付けは、単価基準 表M1-2-1 2 空気熱源ヒートポンプパッケージ形空調機（圧縮機屋外形）の屋外機の歩掛りに、家庭用のものについては、単価基準 表M1-2-5 タンク類の密閉形隔膜式膨張タンクの歩掛りを、業務用のものについては、同表の貯湯タンクの歩掛りを加算したものとする。

(3) 消火設備

イ 専門工事業業者の見積りによる場合は、専門工事業業者の諸経費を計上する。

ロ 複数の消火システムが存在する工事は、原則としてシステム毎に安価な専門工事業業者の見積価格等を参考にする。

(4) 厨房機器設備

専門工事業業者の見積りによる場合は、専門工事業業者の諸経費を計上する。

表M1-5 補正市場単価 【衛生器具設備工事】

細目	摘要	単位	備考
和風便器	洗浄弁式	組	
和風便器	タンク式（ロータンク）	組	
和風便器耐火カバー		個	

第2節 改修工事

第1項 共通工事（改修）

1 単価、価格等

（1）仮設工事

イ 設備システムの機能停止等が困難な場合に、既存の設備機能等を維持させるための設備が必要な場合は、仮設工事費を別途計上する。

ロ 仮設の配管等の単価は、原則として全損とし、複合単価又は市場単価を計上する。

ただし、仮設期間が3か月未満の場合は、以下のとおり各単価を補正する。

（イ） 複合単価又は市場単価を70%程度に低減し算定する。

（ロ） 再使用が困難な保温等の単価は全損とする。

（ハ） 撤去にあたっては、単価基準の当該事項に基づきその費用を計上する。

（ニ） 仮設に使用する配管等については、新品を使用し全損することを特記する。

ハ 仮設を運転するにあたって、燃料等が必要な場合は別途計上する。

ニ 単価作成例を表M1-6及び表M1-7に示す。

表M1-6 スパイラルダクト（低圧ダクト）（市場単価）

スパイラルダクト	口径φ100mm	0.5mm		1mあたり		2,030円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
スパイラルダクト(低圧)	100φ 0.5mm	m	1	2,900	2,900	①
計					2,900	②
低減単価	市場単価×70%				2,030	③ ②×0.7

表M1-7 硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）（「標準単価積算基準」表M1-1-45）

給水管	呼び径100A	屋外架空		接着接合	1m当たり		5,000円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考	
管	32A	m	1.05	1,395	1,464.75	①	
継手	管単価×30%	式	1		418.5	② ①(1,395)×0.3	
接合材等	管単価×10%	式	1		139.5	③ ①(1,395)×0.1	
支持金物	管単価×25%	式	1		348.75	④ ①(1,395)×0.25	
配管工		人	0.221	18,000	3,978	⑤	
その他	(労)×20%	式	1		795.6	⑥ ⑤×0.2	
計					7,145.1	⑦	
低減単価	複合単価×70%				5,001.57	⑧ ⑦×0.7	

（2）配管工事

配管分岐及び配管切断にあたり、既設配管を閉塞する場合は、閉塞費用を別途計上する。

（3）はつり工事

単価基準のはつり工の所要量は、コンクリート壁貫通口、コンクリート壁貫通面積及び溝はつりの幅×深さの項目毎に直近上位の値を採用する。

第2項 空気調和設備工事（改修）

1 単価、価格等

(1) ダクト工事

イ 保温を行うダクト端部閉塞は、保温を別途計上する。

ロ 参考歩掛りの長方形ダクトの表RM-2-2及び表RM-2-3における鋼材防錆塗装は、製作工場におけるものであるため、執務並行改修工事であっても、塗装工所要量は基準補正単価の対象としない。

第3項 給排水衛生設備工事（改修）

1 単価、価格等

（1）柵類

既設コンクリート柵への接続は、単価基準のインバート改修のほか手はつり（配管貫通口）を計上する。

第4項 撤去工事

1 単価、価格等

(1) 機器撤去

イ 冷凍機、パッケージ形空調機等の冷媒、オイル等の抜取り費及び処分費（フロン破壊処理を含む。）、アスベスト除去工事費（処分費含む。）並びにRCF除去工事費（処分費含む。）は、専門工事業者の見積価格等を参考にする。

ロ 標準歩掛りを用いて撤去する機器の搬出費を算出する場合は、機器搬出費の90%とする。

なお、再使用するための取外しにおいては、機器搬出費の100%とする。

ハ 搬出する際に分割が必要な機器は、分割するための費用を別途計上する。

また、分割時の各部材を単体の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。

(2) 配管・ダクト類

イ 保温の施された配管、ダクト等の撤去は、保温の撤去費用を計上する。

ロ 弁・継手類の撤去労務費は、65A以上を対象に計上する。

なお、50A以下は、配管と同時に撤去されるものとし計上しない。

ハ 計器類（温度計、圧力計及び風量測定口等）の撤去労務費は、配管やダクトと同時に撤去されるものとし計上しない。

ニ ダクト付属品（吹出口、吸込口、ダンパー及びたわみ継手等）の撤去は、撤去費用を計上する。ただし、点検口（ダクト用）はチャンバー等と同時に撤去されるものとし計上しない。

(3) 柵類

柵を撤去する場合は、土工事を別途計上する。ただし、300×300以下の柵の土工事は、接続する配管の延長とし、配管の土工事に含まれるものとみなす。

(4) 建設発生材運搬

運搬経路におけるDID区間の有無は、設計図書に明記された処分先の確認等により判断し計上する。

(5) 建設発生材処分

建設発生材処分は、産業廃棄物処理業者の見積価格等を参考にする。

第5章 昇降機設備工事

第1節 新設工事

第1項 共通工事

1 一般事項

昇降機設備工事は、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

2 単価、価格等

昇降機設備工事の仕様及び台数等を勘案し、過去の実績価格等を踏まえて直接工事費を総合的に算定し、単価、価格を決定する。

第2節 改修工事

第1項 共通工事（改修）

1 一般事項

昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

なお、部分改修においては工事内容を勘案し、改修内容に対応する専門工事業者の見積価格等を参考にする。

2 単価、価格等

全面改修については、第5章第1節第1項のとおりとし、部分改修については、昇降機設備工事の仕様及び台数等を勘案し、過去の実績価格又は、市場の取引価格等を踏まえて直接工事費を算定し、単価、価格を決定する。

第2項 撤去工事

1 一般事項

昇降機設備工事の撤去工事は、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

附表 補正市場単価算出方法

補正市場単価作成上の留意点

複合単価によって、補正市場単価を作成する場合は、以下の点に留意する。

1. 材料単価及び価格

市場単価の採用都市と同じ都市のものを使用する。

なお、採用都市の材料単価及び価格は、複合単価作成時の採用の方法によるものとする。

2. 労務単価

市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価を使用する。

なお、採用都市が所在する都道府県の労務単価は、複合単価作成時の採用の方法によるものとする。

【補正市場単価を採用する場合の労務単価の採用（例）】

市場単価	労務単価
札幌（北海道）	北海道
仙台（東北）	宮城
東京（関東）	東京
新潟（北陸）	新潟
名古屋（中部）	愛知
大阪（近畿）	大阪
広島（中国）	広島
高松（四国）	香川
福岡（九州）	福岡
那覇（沖縄）	沖縄

<例) 埼玉県市場補正単価の算定方法>

$$\text{補正市場単価 } A' = \text{市場単価 } A \times \text{算定式}$$

例)
【土工】

※※補正市場単価※※ (埼玉県)

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
根切り	山留め内 切梁あり	m ³	D	$((3d+2c) \div 5) \div d$

※※市場単価※※ (東京都)

細目	摘要	単位	市場単価
根切り	自立山留め内	m ³	D

※※参考歩掛り※※ (東京都)

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
根切り	山止め付き総堀り 自立式 (バック材 0.8m ³)	m ³	d	表RA-2-4
根切り	山止め付き総堀り 切梁腹起方式 (バック材 0.8m ³)	m ³	c	表RA-2-6

【建築工事】

【 土工 】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
根切り	つぼ、布掘 深さ 2.5m 程度	m ³	A
床付け	つぼ、布掘	m ²	B
根切り	総掘 法付オープンカット	m ³	C
根切り	自立山留め内	m ³	D
床付け	総掘	m ²	E
すきとり	H=300 程度	m ³	F
杭間ざらい	既製コンクリート杭 φ 350 ~ 600mm	本	G
埋戻し	発生土	m ³	H
機械運搬費	片道 30km 以内 バックホウ	往復	I

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
根切り	つぼ掘り及び布掘り (ハックホウ 0.8m3)	m ³	a	表 RA-2-1
根切り	山止め付き総掘り 自立式 (ハックホウ 0.8m3)	m ³	d	表 RA-2-4
根切り	山止め付き総掘り 切梁腹起方式 (ハックホウ 0.8m3)	m ³	c	表 RA-2-6
根切り	山止め付き総掘り 切梁腹起方式 (ハックホウ 0.45m3・クラムシェル積込)	m ³	b	表 RA-2-7
根切り	山止め付き総掘り グラントアンカー方式 (ハックホウ 0.8m3)	m ³	e	表 RA-2-9
根切り	小規模土工 (ハックホウ 0.28m3)	m ³	f	表 RA-2-14
埋戻し	つぼ掘り及び布掘り (ハックホウ 0.8m3)	m ³	h	表 RA-2-18
埋戻し	小規模土工 (ハックホウ 0.28m3)	m ³	g	表 RA-2-22
盛土	(ハックホウ 0.8m3)	m ³	j	表 RA-2-24
敷きならし	(フルトザ-3 t 級)	m ³	k	表 RA-2-27
締固め	(振動ローラー 2.4 ~ 2.8 t)	m ³	l	表 RA-2-29
積込み	(ハックホウ 0.8m3)	m ³	m	表 RA-2-33
土工機械運搬	ハックホウ 排出ガス対策型油圧式クローラー型 0.28m3	往復	n	表 RA-2-39
土工機械運搬	ハックホウ 排出ガス対策型油圧式クローラー型 0.8m3	往復	i	表 RA-2-39
土工機械運搬	クラムシェル 油圧ロープ式クローラー型 0.6m3	往復	o	表 RA-2-39
土工機械分解組立	クラムシェル 油圧ロープ式クローラー型 0.6m3	回	p	表 RA-2-41

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
根切り	山留め内 切梁あり	m ³	D	$((3d+2c) \div 5) \div d$
根切り	山留め内 切梁あり (クラムシェルによる積込み)	m ³	D	$((3d+3c+2b) \div 8) \div d$
根切り	山留め内 グラントアンカー (クラムシェルによる積込み)	m ³	D	$((8d+2e) \div 10) \div d$
根切り	小規模土工	m ³	A	$f \div a$
埋戻し	小規模土工 発生土	m ³	H	$g \div h$
盛土	発生土	m ³	H	$j \div h$
敷き均し	発生土 締固め共	m ³	H	$(k+l) \div h$
積込み	発生土	m ³	A	$m \div a$
機械運搬費	片道 30km 以内 ハックホウ+クラムシェル (分解組立共)	往復	I	$(i+o+p) \div i$
機械運搬費	小規模土工 片道 30km 以内 ハックホウ	往復	I	$n \div i$

【 建築工事 】

【 鉄筋 】

※※市場単価※※

細目	摘要	単位	単価記号	
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	A	
鉄筋加工組立	SRCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	B	
鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度 形状単純	t	C	
スパイラルフープ取付		t	D	
鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	t	E	
鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 10t車	t	F	
ガス圧接	D19-D19	か所	G	
ガス圧接	D22-D22	か所	H	
ガス圧接	D25-D25	か所	I	
ガス圧接	D29-D29	か所	J	
ガス圧接	D32-D32	か所	K	
ガス圧接	D19-D22	か所	L	
ガス圧接	D22-D25	か所	M	
ガス圧接	D25-D29	か所	N	
ガス圧接	D29-D32	か所	O	

※※参考歩掛り※※

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
鉄筋工場加工	一般 太物	t	a	表 RA-4-1
鉄筋工場加工	一般 細物	t	b	表 RA-4-1
鉄筋組立	RC造 太物(圧接)	t	c	表 RA-4-3
鉄筋組立	RC造 細物	t	d	表 RA-4-3
鉄筋加工組立	S造スラブ 鉄筋加工 工場	t	e	表 RA-4-6
鉄筋加工組立	S造スラブ 鉄筋組立て	t	f	表 RA-4-6
鉄筋加工組立	小型構造物	t	g	表 RA-4-9

※※補正市場単価※※

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
鉄筋加工組立	S造 床版	t	A	$(e+f) \div ((0.4(a+c) + 0.6(b+d)))$
鉄筋加工組立	小型構造物	t	A	$g \div ((0.4(a+c) + 0.6(b+d)))$

【 鉄筋（耐震改修） 】

※※市場単価※※

細目	摘要	単位	単価記号	
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	A	

※※補正市場単価※※

細目	摘要	単位	市場単価	補正率
鉄筋加工組立	耐震改修用	t	A	1.55

【建築工事】

【コンクリート】

※市場単価※

細目	摘要	単位	単価記号	
コンクリート打設手間	捨コンクリート ポンプ打ち	m ³	A	
コンクリート打設手間	土間コンクリート ポンプ打ち	m ³	B	
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打ち	m ³	C	
コンクリート打設手間	躯体コンクリート ポンプ打ち	m ³	D	
コンクリート打設手間	防水押えコンクリート ポンプ打ち	m ³	E	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が100m ³ 以上	回	F	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が50m ³ 以上100m ³ 未満	回	G	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が30m ³ 以上50m ³ 未満	回	H	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が100m ³ 以上	m ³	I	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が50m ³ 以上100m ³ 未満	m ³	J	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が30m ³ 以上50m ³ 未満	m ³	K	

※参考歩掛り※

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
コンクリート打設手間(ブーム式)	1回当たりの打設量 20m ³ 以上50m ³ 未満	m ³	a	表 RA-5-1
コンクリート打設手間(ブーム式)	1回当たりの打設量 50m ³ 以上100m ³ 未満	m ³	b	表 RA-5-1
コンクリート打設手間(ブーム式)	1回当たりの打設量 100m ³ 以上170m ³ 未満	m ³	c	表 RA-5-1
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 50m ³ 未満	m ³	d	表 RA-5-2
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 50m ³ 以上100m ³ 未満	m ³	e	表 RA-5-2
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 100m ³ 以上170m ³ 未満	m ³	f	表 RA-5-2
コンクリート打設手間 (小型構造物)	人力打設 工作物の基礎等	m ³	g	表 RA-5-8
コンクリート打設手間 (小型構造物)	人力打設 擁壁、圍障の基礎等	m ³	h	表 RA-5-8

※補正市場単価※

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m ³ /回 程度	m ³	C	$(0.5b+0.5e) \div (0.5c+0.5f)$
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50m ³ /回 程度	m ³	C	$(0.5a+0.5d) \div (0.5c+0.5f)$
コンクリート打設手間	躯体コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m ³ /回 程度	m ³	D	$(0.5b+0.5e) \div (0.5c+0.5f)$
コンクリート打設手間	躯体コンクリート ポンプ打設 施工規模50m ³ /回 程度	m ³	D	$(0.5a+0.5d) \div (0.5c+0.5f)$
コンクリート打設手間	S造スラブコンクリート ポンプ打設 施工規模50m ³ /回 程度	m ³	B	1.0
コンクリート打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 工作物の基礎等	m ³	B	$g \div a$
コンクリート打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 擁壁、圍障の基礎等	m ³	B	$h \div a$

※協議会歩掛り※

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
コンクリート打設手間(人力)	捨コンクリート 人力 S15~18	m ³	o	コンクリート打設手間※
コンクリート打設手間(人力)	防水保護 人力 S15~18	m ³	p	

※協議会参考参照

【建築工事】

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
コンクリート打設手間	捨コンクリート 人力打設	m ³	A	o ÷ a
コンクリート打設手間	防水保護コンクリート 人力打設	m ³	E	p ÷ e

【建築工事】

【型枠】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
普通合板型枠	基礎部	m ²	A	
普通合板型枠	地下軸部 階高 5.0m 程度	m ²	B	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高 2.8m 程度	m ²	C	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高 3.5～4.0m 程度	m ²	D	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 B種 階高 3.5～4.0m 程度	m ²	E	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 C種 階高 3.5～4.0m 程度	m ²	F	
普通合板型枠	壁式構造 地上軸部 階高 2.8m 程度	m ²	G	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 B種 階高 2.8m 程度	m ²	H	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 C種 階高 2.8m 程度	m ²	I	
型枠運搬費	型枠運搬費 4t車 基準距離 30km 以内	m ²	J	
型枠運搬費	型枠運搬費 10t車 基準距離 30km 以内	m ²	K	

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
普通合板型枠	鉄筋コンクリート造建物（壁式）	m ²	a	表 RA-6-1
普通合板型枠	小型構造物	m ²	h	表 RA-6-1
打放し合板型枠	A種 鉄筋コンクリート造建物（一般ラーメン）	m ²	m	表 RA-6-2
打放し合板型枠	B種 鉄筋コンクリート造建物（一般ラーメン）	m ²	b	表 RA-6-2
打放し合板型枠	B種 鉄筋コンクリート造建物（壁式）	m ²	e	表 RA-6-2
打放し合板型枠	C種 鉄筋コンクリート造建物（一般ラーメン）	m ²	c	表 RA-6-2
打放し合板型枠	C種 鉄筋コンクリート造建物（壁式）	m ²	f	表 RA-6-2

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m ²	A	1.0
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種	m ²	A	E ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種	m ²	A	F ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m ²	B	(E × m ÷ b) ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m ²	B	E ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m ²	B	F ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 A種 階高 3.5～4.0m程度	m ²	E	m ÷ b
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m ²	H	m ÷ b
小型構造物用型枠	擁壁、囲障の基礎等	m ²	A	h ÷ a

【建築工事】

【 型枠（耐震改修） 】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
普通合板型枠	地下軸部 階高 5.0m 程度	m ²	B	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高 3.5～4.0m 程度	m ²	D	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 B種 階高 3.5～4.0m 程度	m ²	E	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 C種 階高 3.5～4.0m 程度	m ²	F	

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	補正率
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m ²	B	1.15
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m ²	D	1.15
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m ²	B	1.35
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m ²	B	1.20
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m ²	B	1.20
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m ²	E	1.30
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m ²	E	1.15
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m ²	F	1.15

【建築工事】

【 防水 】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 平部	m ²	A	
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 立上り	m ²	B	
屋根アスファルト防水	AI-2 密着断熱工法 平部	m ²	C	
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 平部	m ²	D	
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 立上り	m ²	E	
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 平部	m ²	F	
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 立上り	m ²	G	
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 平部	m ²	H	
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 立上り	m ²	I	
シーリング	PS-2 ポリサルファイト [®] (2成分形) 幅10×深さ10	m	J	
シーリング	PS-2 ポリサルファイト [®] (2成分形) 幅15×深さ10	m	K	
シーリング	PS-2 ポリサルファイト [®] (2成分形) 幅20×深さ10	m	L	
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅10×深さ10	m	M	
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅15×深さ10	m	N	
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅20×深さ10	m	O	
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅10×深さ10	m	P	
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅15×深さ10	m	Q	
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅20×深さ10	m	R	
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅10×深さ10	m	S	
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅15×深さ10	m	T	
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅10×深さ10	m	U	
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅15×深さ10	m	V	

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
屋根保護防水密着工法	A-1 平面	m ²	w	表 RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-1 立上り立下り面	m ²	x	表 RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-2 平面	m ²	a	表 RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-2 立上り立下り面	m ²	b	表 RA-9-1
屋根保護防水 密着断熱工法	A I-1 平面	m ²	y	表 RA-9-2
屋根保護防水 密着断熱工法	A I-2 平面	m ²	c	表 RA-9-2
屋根保護防水絶縁工法	B-1 平面	m ²	d	表 RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-1 立上り立下り面	m ²	e	表 RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-2 平面	m ²	②	表 RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-2 立上り立下り面	m ²	③	表 RA-9-3
屋根保護防水 絶縁断熱工法	B I-1 平面	m ²	④	表 RA-9-4
屋根保護防水 絶縁断熱工法	B I-2 平面	m ²	⑥	表 RA-9-4
屋根露出防水絶縁工法	D-1 平面	m ²	f	表 RA-9-5
屋根露出防水絶縁工法	D-1 立上り立下り面	m ²	g	表 RA-9-5

【建築工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
屋根露出防水絶縁工法	D-2 平面	m ²	⑧	表 RA-9-5
屋根露出防水絶縁工法	D-2 立上り立下り面	m ²	⑨	表 RA-9-5
屋内防水密着工法	E-1 平面	m ²	h	表 RA-9-6
屋内防水密着工法	E-1 立上り立下り面	m ²	i	表 RA-9-6
屋内防水密着工法	E-2 平面	m ²	⑩	表 RA-9-6
屋内防水密着工法	E-2 立上り立下り面	m ²	⑪	表 RA-9-6
シーリング	MS-2 変性シリコン系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	r	表 RA-9-8
シーリング	MS-2 変性シリコン系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	⑬	表 RA-9-8
シーリング	MS-2 変性シリコン系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	⑭	表 RA-9-8
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 10mm 以下	m	s	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 10mm を超え 15mm 以下	m	t	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	⑮	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	⑯	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	⑰	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 10mm 以下	m	⑳	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 10mm を超え 15mm 以下	m	㉑	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	㉒	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	㉓	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	㉔	表 RA-9-7
シーリング	SR-2 シリコン系 シーリング幅 10mm を超え 15mm 以下	m	v	表 RA-9-8
シーリング	SR-2 シリコン系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	㉕	表 RA-9-8
シーリング	SR-2 シリコン系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	㉖	表 RA-9-8
シーリング	SR-2 シリコン系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	㉗	表 RA-9-8
シーリング	PS-2 ポリサルファイト系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	l	表 RA-9-8
シーリング	PS-2 ポリサルファイト系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	⑳	表 RA-9-8
シーリング	PS-2 ポリサルファイト系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	㉑	表 RA-9-8
シーリング	PU-2 ポリウレタン系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	o	表 RA-9-8
シーリング	PU-2 ポリウレタン系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	㉒	表 RA-9-8
シーリング	PU-2 ポリウレタン系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	㉓	表 RA-9-8

【建築工事】

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 平部	m ²	A	w ÷ a
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 立上り	m ²	B	x ÷ b
屋根アスファルト防水	AI-1 密着断熱工法 平部	m ²	C	y ÷ c
屋根アスファルト防水	AI-1 密着断熱工法 立上り	m ²	B	x ÷ b
屋根アスファルト防水	AI-2 密着断熱工法 立上り	m ²	B	1.0
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 平部	m ²	D	② ÷ d
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 立上り	m ²	E	③ ÷ e
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 平部	m ²	C	④ ÷ c
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 立上り	m ²	E	1.0
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 平部	m ²	C	⑥ ÷ c
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 立上り	m ²	E	③ ÷ e
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 平部	m ²	F	⑧ ÷ f
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 立上り	m ²	G	⑨ ÷ g
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 平部	m ²	H	⑩ ÷ h
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 立上り	m ²	I	⑪ ÷ i

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
シーリング	PS-2 ポリサルファイト [®] (2成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	L	⑫ ÷ l
シーリング	PS-2 ポリサルファイト [®] (2成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	L	⑬ ÷ l
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	O	⑭ ÷ o
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	O	⑮ ÷ o
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	R	⑯ ÷ r
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	R	⑰ ÷ r
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅 20 × 深さ 10	m	T	⑱ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	T	⑲ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	T	⑳ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ [®] 幅 10 × 深さ 10	m	S	㉒ ÷ s
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ [®] 幅 15 × 深さ 10	m	T	㉓ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ [®] 幅 20 × 深さ 10	m	T	㉔ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ [®] 幅 25 × 深さ 10	m	T	㉕ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ [®] 幅 30 × 深さ 10	m	T	㉖ ÷ t
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅 20 × 深さ 10	m	V	㉗ ÷ v
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	V	㉘ ÷ v
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	V	㉙ ÷ v

【 建築工事 】

【 金属 】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 50形 @300 スタッド高さ H ≤ 2.7m 直張り用	m ²	A	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 50形 @450 スタッド高さ H ≤ 2.7m 下地張りあり	m ²	B	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 65形 @300 スタッド高さ H ≤ 4.0m 直張り用	m ²	C	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 65形 @450 スタッド高さ H ≤ 4.0m 下地張りあり	m ²	D	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 90形 @300 スタッド高さ 4.0 < H ≤ 4.5m 直張り用	m ²	E	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 90形 @450 スタッド高さ 4.0 < H ≤ 4.5m 下地張りあり	m ²	F	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 100形 @300 スタッド高さ 4.5 < H ≤ 5.0m 直張り用	m ²	G	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 100形 @450 スタッド高さ 4.5 < H ≤ 5.0m 下地張りあり	m ²	H	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁 19形 @225 ふところ高 1.5m 未満 直張り用	m ²	I	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁 19形 @300 ふところ高 1.5m 未満 直張り用	m ²	J	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁 19形 @360 ふところ高 1.5m 未満 下地張りあり	m ²	K	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁 25形 @300 ふところ高 1.0m 未満 直張り用	m ²	L	
屋内軽量鉄骨下がり壁下地	野縁 19形 H300 ~ 500 程度	m	M	
屋外軽量鉄骨下がり壁下地	野縁 25形 H300 ~ 500 程度	m	N	
屋内天井下地補強	ふところ高 1.5m ~ 3.0m	m ²	O	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 900 × 2000 mm程度	か所	P	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 1800 × 2000 mm程度	か所	Q	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 900 × 2000 mm程度	か所	R	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 1800 × 2000 mm程度	か所	S	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 65形 300 × 600 mm程度	か所	T	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 65形 450 × 900 mm程度	か所	U	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 90形 300 × 600 mm程度	か所	V	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 90形 450 × 900 mm程度	か所	W	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 野縁 19形 300 × 300 mm程度	か所	XA	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 野縁 19形 450 × 450 mm程度	か所	XB	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 野縁 19形 600 × 600 mm程度	か所	XC	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 野縁 19形 300 × 1200 mm程度	か所	XD	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 野縁 19形 300 × 3600 mm程度	か所	XE	
屋外天井下地開口部補強	ボード等切込み共 野縁 25形 450 × 450 mm程度	か所	YA	
屋外天井下地開口部補強	ボード等切込み共 野縁 25形 600 × 600 mm程度	か所	YB	

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りなし @225	m ²	i	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りなし @300	m ²	j	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りあり @360	m ²	k	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 金属成形板用 @360	m ²	④	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りなし @225	m ²	⑭	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りなし @300	m ²	l	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りあり @360	m ²	⑰	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 金属成形板用 @360	m ²	⑳	表 RA-14-2

【建築工事】

協議会歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考	
軽量鉄骨壁開口補強	65形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	p	軽量鉄骨壁開口部補強※	
軽量鉄骨壁開口補強	65形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	29		
軽量鉄骨壁開口補強	65形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	q		
軽量鉄骨壁開口補強	65形 グ外等 スタッド、ラン材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	34		
軽量鉄骨壁開口補強	65形 グ外等 スタッド、ラン材補強 グ外 (300×600程度)	か所	t		
軽量鉄骨壁開口補強	65形 グ外等 スタッド、ラン材補強 グ外 (450×900程度)	か所	u		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	r		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	30		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	s		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 グ外等 スタッド、ラン材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	35		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 グ外等 スタッド、ラン材補強 グ外 (300×600程度)	か所	v		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 グ外等 スタッド、ラン材補強 グ外 (450×900程度)	か所	w		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	31		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	32		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	33		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 グ外等 スタッド、ラン材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	36		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 グ外等 スタッド、ラン材補強 グ外 (300×600程度)	か所	37		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 グ外等 スタッド、ラン材補強 グ外 (450×900程度)	か所	38		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 150角,150φ以下ホート切込み共	か所	39		軽量鉄骨天井開口部補強※
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 300角,300φ以下ホート切込み共	か所	x a		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 450角,450φ以下ホート切込み共	か所	x b		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 650角,650φ以下ホート切込み共	か所	x c		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 900角,900φ以下ホート切込み共	か所	40		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 1300角,1300φ以下ホート切込み共	か所	41		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 300×1300以下ホート切込み共	か所	x d		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 300×2500以下ホート切込み共	か所	42		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 300×3700以下ホート切込み共	か所	x e		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 150角,150φ以下ホート切込み共	か所	43		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 300角,300φ以下ホート切込み共	か所	44		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 450角,450φ以下ホート切込み共	か所	y a		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 650角,650φ以下ホート切込み共	か所	y b		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 900角,900φ以下ホート切込み共	か所	45		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 1300角,1300φ以下ホート切込み共	か所	46		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 300×1300以下ホート切込み共	か所	47		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 300×2500以下ホート切込み共	か所	48		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 300×3700以下ホート切込み共	か所	49		

※協議会参考参照

【建築工事】

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 1200×2000mm程度	か所	P	29 ÷ p
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 1200×2000mm程度	か所	R	30 ÷ r
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 900×2000mm程度	か所	R	31 ÷ r
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 1200×2000mm程度	か所	R	32 ÷ r
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 1800×2000mm程度	か所	R	33 ÷ r
壁下地開口補強	ﾀﾞﾌﾞﾙ等四方補強 スタッド 65形 200×400mm程度	か所	T	34 ÷ t
壁下地開口補強	ﾀﾞﾌﾞﾙ等四方補強 スタッド 90形 200×400mm程度	か所	V	35 ÷ v
壁下地開口補強	ﾀﾞﾌﾞﾙ等四方補強 スタッド 100形 200×400mm程度	か所	V	36 ÷ v
壁下地開口補強	ﾀﾞﾌﾞﾙ等四方補強 スタッド 100形 300×600mm程度	か所	V	37 ÷ v
壁下地開口補強	ﾀﾞﾌﾞﾙ等四方補強 スタッド 100形 450×900mm程度	か所	V	38 ÷ v
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 19形 150×150mm程度	か所	XA	39 ÷ xa
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 19形 900×900mm程度	か所	XB	40 ÷ xb
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 19形 1300×1300mm程度	か所	XB	41 ÷ xb
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 19形 300×2500mm程度	か所	XD	42 ÷ xd
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 25形 150×150mm程度	か所	YA	43 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 25形 300×300mm程度	か所	YA	44 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 25形 900×900mm程度	か所	YA	45 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 25形 1300×1300mm程度	か所	YA	46 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 25形 300×1200mm程度	か所	YA	47 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 25形 300×2500mm程度	か所	YA	48 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 野縁 25形 300×3600mm程度	か所	YA	49 ÷ ya
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁 19形 @360 ふところ高 1.5m 未満 金属成形板用	m ²	K	④ ÷ k
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁 25形 @225 ふところ高 1.0m 未満 直張り用	m ²	L	⑭ ÷ l
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁 25形 @360 ふところ高 1.0m 未満 下地張りあり	m ²	L	⑳ ÷ l
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁 25形 @360 ふところ高 1.0m 未満 金属成形板用	m ²	L	㉕ ÷ l

【建築工事】

【左官】

※市場単価※

細目	摘要	単位	単価記号	
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ 薄張物下地【手間のみ】	m ²	A	
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 防水下地 厚張物下地【手間のみ】	m ²	B	
床モルタル塗り	金ごて 厚 28 張物下地	m ²	C	
床モルタル塗り	木ごて 厚 37 一般タイル下地	m ²	D	
床モルタル塗り	金ごて 厚 15 防水下地	m ²	E	
階段モルタル塗り	金ごて 厚 28 張物下地	m ²	F	
幅木モルタル塗り	金ごて H100 出幅木	m	G	
幅木モルタル塗り	金ごて H100 目地用 ジョイナー共	m	H	
ささら幅木モルタル塗り	金ごて H150 出幅木	m	I	
壁モルタル塗り	金ごて 厚 20 内壁 3 回塗り	m ²	J	
柱型モルタル塗り	金ごて 厚 20 3 回塗り	m ²	K	
はり型モルタル塗り	金ごて 厚 20 3 回塗り	m ²	L	
壁モルタル塗り	木ごて 厚 16 外壁小口タイル下地 2 回塗り	m ²	M	
壁モルタル塗り	木ごて 厚 20 外壁ユニットタイル下地 2 回塗り	m ²	N	
壁モルタル塗り	木ごて 厚 11 内壁小口タイル下地 2 回塗り	m ²	O	
壁モルタル塗り	木ごて 厚 15 内壁ユニットタイル下地 2 回塗り	m ²	P	
壁薄塗モルタル塗り	金ごて 厚 5 既調合品	m ²	Q	
柱薄塗モルタル塗り	金ごて 厚 5 既調合品	m ²	R	
はり薄塗モルタル塗り	金ごて 厚 5 既調合品	m ²	S	
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅 300 【手間のみ】	m	T	
水切りモルタル塗り	金ごて 糸幅 200 厚 30	m	U	
手摺笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅 200 厚 30	m	V	
側溝モルタル塗り	金ごて 糸幅 200 厚 30	m	W	
建具周囲モルタル充填	内部建具	m	X	
建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	Y	

※参考歩掛り※

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
床モルタル塗り	ビニル系床材下地	m ²	c	表 RA-15-2
床モルタル塗り	一般タイル下地	m ²	d	表 RA-15-2
床モルタル塗り	防水下地	m ²	e	表 RA-15-2
階段モルタル塗り	ビニル系床材下地	m ²	f	表 RA-15-3
幅木モルタル塗り	出幅木 H=100mm	m	g	表 RA-15-5
幅木モルタル塗り	階段出幅木 H=150mm	m	i	表 RA-15-5
壁モルタル塗り	モルタル仕上 内壁 金ごて	m ²	j	表 RA-15-6
壁モルタル塗り	下地モルタル 外装タイル下地 外壁	m ²	m	表 RA-15-7
壁モルタル塗り	下地モルタル ユニットタイル下地 外壁	m ²	n	表 RA-15-7
壁モルタル塗り	下地モルタル 外装タイル下地 内壁	m ²	o	表 RA-15-7
外部役物モルタル塗り	水切 糸 = 170mm	m	u	表 RA-15-8
床モルタル塗り	モルタル仕上げ	m ²	①	表 RA-15-2
床モルタル塗り	ユニットタイル下地	m ²	③	表 RA-15-2
階段モルタル塗り	モルタル仕上げ	m ²	④	表 RA-15-3

【建築工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
幅木モルタル塗り	出幅木 H=300mm	m	⑥	表 RA-15-5
床役物モルタル塗り	くつずり幅=100mm 戸当たり付	m	⑦	表 RA-15-4
床役物モルタル塗り	くつずり幅=100mm 戸当たり無	m	⑧	表 RA-15-4
床役物モルタル塗り	ボーダー幅=150mm 平部	m	⑨	表 RA-15-4
床役物モルタル塗り	ボーダー幅=150mm 階段部	m	⑩	表 RA-15-4
壁モルタル塗り	下地モルタル 内装タイル下地 接着張り	m ²	⑪	表 RA-15-7
壁モルタル塗り	モルタル仕上 外壁 金ごて	m ²	⑫	表 RA-15-6
壁モルタル塗り	下地モルタル 内装タイル下地 改良積上張り	m ²	⑬	表 RA-15-7
壁モルタル塗り	モルタル仕上 内壁 はけ引き	m ²	⑭	表 RA-15-6
壁モルタル塗り	モルタル仕上 外壁 はけ引き	m ²	⑮	表 RA-15-6
外部役物モルタル塗り	パラペット 糸幅=500mm	m	⑯	表 RA-15-8
外部役物モルタル塗り	笠木 糸幅=340mm	m	⑰	表 RA-15-8
外部役物モルタル塗り	窓台 糸幅=150mm	m	⑱	表 RA-15-8
内部役物モルタル塗り	膳板 糸幅=150mm	m	⑲	表 RA-15-9

【建築工事】

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
床モルタル塗り	金ごて 厚 30 モルタル仕上げ	m ²	C	① ÷ c
床モルタル塗り	金ごて 厚 30 塗り仕上げ下地	m ²	C	① ÷ c
床モルタル塗り	木ごて 厚 22 エットマイル下地	m ²	D	③ ÷ d
階段モルタル塗り	金ごて 厚 30 モルタル仕上げ	m ²	F	④ ÷ f
階段モルタル塗り	金ごて 厚 30 塗り仕上げ下地	m ²	F	④ ÷ f
幅木モルタル塗り	金ごて H300 出幅木	m	G	⑥ ÷ g
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅 100 戸当り有り	m	G	⑦ ÷ g
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅 100 戸当り無し	m	G	⑧ ÷ g
ポーターモルタル塗り	金ごて 幅 150 平部	m	I	⑨ ÷ i
ポーターモルタル塗り	金ごて 幅 150 階段部	m	I	⑩ ÷ i
壁モルタル塗り	金ごて 厚 25 外壁 3回塗り	m ²	J	⑫ ÷ j
壁モルタル塗り	金ごて 内装タイル接着張り下地	m ²	J	⑪ ÷ j
壁モルタル塗り	木ごて 内装タイル改良積上張り下地	m ²	O	⑬ ÷ o
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚 20 内壁	m ²	J	⑭ ÷ j
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚 25 外壁	m ²	J	⑮ ÷ j
笠木モルタル塗り	パラペット 金ごて 糸幅 500 程度	m	U	⑯ ÷ u
笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅 340 程度	m	U	⑰ ÷ u
窓台モルタル塗り	金ごて 糸幅 150 程度	m	U	⑱ ÷ u
膳板モルタル塗り	金ごて 糸幅 150 程度	m	U	⑲ ÷ u

【建築工事】

【 建具 】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
型板ガラス	厚4mm 特寸2.18㎡以下	㎡	A	
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	B	
フロート板ガラス	厚5mm 特寸2.18㎡以下	㎡	C	
フロート板ガラス	厚5mm 特寸4.45㎡以下	㎡	D	
フロート板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	E	
フロート板ガラス	厚6mm 特寸4.45㎡以下	㎡	F	
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	G	
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸2.0㎡以下	㎡	H	
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸2.0㎡以下	㎡	I	
強化ガラス	厚8mm 特寸2.0㎡以下	㎡	J	
ガラスとめシーリング	片面5×5 ハックアップ材共 シリコン系 1成分形	m	K	

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
型板ガラス	厚4mm 特寸2.18㎡以下	㎡	a	表 RA-16-6
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	b	表 RA-16-7
フロート板ガラス	厚5mm 特寸2.18㎡以下	㎡	c	表 RA-16-8
フロート板ガラス	厚5mm 特寸4.45㎡以下	㎡	d	表 RA-16-8
フロート板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	e	表 RA-16-8
フロート板ガラス	厚6mm 特寸4.45㎡以下	㎡	f	表 RA-16-8
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	g	表 RA-16-10
複層ガラス	FL5:A6:FL5 2.0㎡以下	㎡	h	表 RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:PW6.8 2.0㎡以下	㎡	i	表 RA-16-13
強化ガラス	厚8mm 特寸2.0㎡以下	㎡	j	表 RA-16-15
型板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	①	表 RA-16-6
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	②	表 RA-16-7
フロート板ガラス	厚3mm 特寸2.18㎡以下	㎡	③	表 RA-16-8
フロート板ガラス	厚8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	④	表 RA-16-9
フロート板ガラス	厚8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	⑤	表 RA-16-9
フロート板ガラス	厚8mm 特寸6.81㎡以下	㎡	⑥	表 RA-16-9
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	⑨	表 RA-16-10
複層ガラス	FL3:A6:FL3 2.0㎡以下	㎡	⑫	表 RA-16-13
複層ガラス	FL3:A6:FL3 4.0㎡以下	㎡	⑬	表 RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:FL5 4.0㎡以下	㎡	⑭	表 RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:FL6 2.0㎡以下	㎡	⑮	表 RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:FL6 4.0㎡以下	㎡	⑯	表 RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:PW6.8 4.0㎡以下	㎡	⑰	表 RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:PW6.8 2.0㎡以下	㎡	⑱	表 RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:PW6.8 4.0㎡以下	㎡	⑲	表 RA-16-13
強化ガラス	厚5mm 特寸2.0㎡以下	㎡	⑳	表 RA-16-14
強化ガラス	厚5mm 特寸4.0㎡以下	㎡	㉑	表 RA-16-14

【建築工事】

※※参考歩掛り※※

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
強化ガラス	厚 6mm 特寸 2.0 m ² 以下	m ²	㉒	表 RA-16-14
強化ガラス	厚 6mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	㉓	表 RA-16-14
強化ガラス	厚 8mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	㉔	表 RA-16-15
強化ガラス	厚 10mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	㉕	表 RA-16-16
強化ガラス	厚 12mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	㉖	表 RA-16-16

※※補正市場単価※※

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
型板ガラス	厚 6mm 特寸 2.18 m ² 以下	m ²	A	① ÷ a
網入型板ガラス	厚 6.8mm 特寸 4.45 m ² 以下	m ²	B	② ÷ b
フロート板ガラス	厚 3mm 特寸 2.18 m ² 以下	m ²	C	③ ÷ c
フロート板ガラス	厚 8mm 特寸 2.18 m ² 以下	m ²	E	④ ÷ e
フロート板ガラス	厚 8mm 特寸 4.45 m ² 以下	m ²	F	⑤ ÷ f
フロート板ガラス	厚 8mm 特寸 6.81 m ² 以下	m ²	F	⑥ ÷ f
網入磨き板ガラス	厚 6.8mm 特寸 4.45 m ² 以下	m ²	G	⑨ ÷ g
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸 2.0 m ² 以下	m ²	H	⑫ ÷ h
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	H	⑬ ÷ h
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	H	⑭ ÷ h
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸 2.0 m ² 以下	m ²	H	⑮ ÷ h
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	H	⑯ ÷ h
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	I	⑰ ÷ i
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸 2.0 m ² 以下	m ²	I	⑱ ÷ i
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	I	⑲ ÷ i
強化ガラス	厚 5mm 特寸 2.0 m ² 以下	m ²	J	⑳ ÷ j
強化ガラス	厚 5mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	J	㉑ ÷ j
強化ガラス	厚 6mm 特寸 2.0 m ² 以下	m ²	J	㉒ ÷ j
強化ガラス	厚 6mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	J	㉓ ÷ j
強化ガラス	厚 8mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	J	㉔ ÷ j
強化ガラス	厚 10mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	J	㉕ ÷ j
強化ガラス	厚 12mm 特寸 4.0 m ² 以下	m ²	J	㉖ ÷ j

※※協議会歩掛り※※

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
フロート板ガラス	フロート板ガラス規格 厚 10 4.45 m ² 以下	m ²	⑦	フロート板ガラス※
フロート板ガラス	フロート板ガラス規格 厚 10 6.81 m ² 以下	m ²	⑧	
網入磨き板ガラス	網入磨き板ガラス規格 厚 10 4.45 m ² 以下	m ²	⑩	網入磨き板ガラス※
網入磨き板ガラス	網入磨き板ガラス規格 厚 10 6.81 m ² 以下	m ²	⑪	

※協議会参考参照

※※補正市場単価※※

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
フロート板ガラス	厚 10mm 特寸 4.45 m ² 以下	m ²	F	⑦ ÷ f
フロート板ガラス	厚 10mm 特寸 6.81 m ² 以下	m ²	F	⑧ ÷ f
網入磨き板ガラス	厚 10mm 特寸 4.45 m ² 以下	m ²	G	⑩ ÷ g
網入磨き板ガラス	厚 10mm 特寸 6.81 m ² 以下	m ²	G	⑪ ÷ g

【建築工事】

【 塗装 】 改修工事は、【 塗装改修 】を参照する。

市場単価

細目	摘要			単位	単価記号	
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)	A種	A種	m ²	A	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)	B種	A種	m ²	B	
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼・鋼製建具面(屋内外)	A種	A種	m ²	C	
SOP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面(屋内外)	1種	B種	m ²	D	
SOP塗り	(素地ごしらえA種共)木部(屋内)	1種	B種	m ²	E	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) せっこうボード面		B種	m ²	F	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	m ²	R	
DP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級		m ²	G	
CL塗り	(素地ごしらえB種共)木部		B種	m ²	I	
OS塗り	(汚れ除去の上)木部			m ²	J	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (素地ごしらえA種共)木部(屋内)	1種	B種	m	K	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (錆止め現場1回共)鉄鋼面(屋内)		B種	m	L	
CL塗り	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部		B種	m	M	
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下(汚れ除去の上)木部			m	N	
素地ごしらえ	木部(屋内)		A種	m ²	O	
素地ごしらえ	せっこうボード面		B種	m ²	P	
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	m ²	S	
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m ²	Q	

参考歩掛り(標仕仕様)

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(仕様:第8節)	水系	A種	m ²	1	表 RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(仕様:第8節)	水系	B種	m ²	2	表 RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A種	m ²	1 1 9	表 RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²	3	表 RA-17-7
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A,B種	m ²	4	表 RA-17-7
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m ²	1 2 0	表 RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m ²	1 2 1	表 RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(屋内外)	1種	A種	m ²	9	表 RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(屋内外)	1種	B種	m ²	d 1	表 RA-17-8
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	1 2	表 RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	1 3	表 RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	1 2 2	表 RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	1 2 3	表 RA-17-9
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	4 4	表 RA-17-10
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	4 5	表 RA-17-10

【建築工事】

参考歩掛り(標仕仕様)

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
EPG塗り(つや有合成樹脂珪酸バリ塗り)	一般面 素地ごしらえ別途	B種	m ² 46	表 RA-17-10
EPG塗り(つや有合成樹脂珪酸バリ塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途	B種	m ² 48	表 RA-17-10
EPG塗り(つや有合成樹脂珪酸バリ塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途		m ² 109	表 RA-17-11
EPG塗り(つや有合成樹脂珪酸バリ塗り)	屋内鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	m ² 111	表 RA-17-12
EPG塗り(つや有合成樹脂珪酸バリ塗り)	屋内鉄鋼面 素地ごしらえ別途	B種	m ² 114	表 RA-17-12
EPG塗り(つや有合成樹脂珪酸バリ塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 素地ごしらえ別途		m ² 117	表 RA-17-13
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗り	素地ごしらえ別途	A種	m ² 76	表 RA-17-14
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗り	素地ごしらえ別途	B種	m ² 78	表 RA-17-14
CL塗り(ウレタン塗り)	木部 素地ごしらえ別途	A種	m ² 94	表 RA-17-15
CL塗り(ウレタン塗り)	木部 素地ごしらえ別途	B種	m ² i	表 RA-17-15
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	素地ごしらえ別途	A種	m ² 95	表 RA-17-16
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	素地ごしらえ別途	B種	m ² 96	表 RA-17-16
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部	A種	m 124	表 RA-17-18
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部	B種	m 125	表 RA-17-18
EPG塗り(つや有合成樹脂珪酸バリ塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部	水系	m 97	表 RA-17-19
CL塗り(ウレタン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部	A種	m 98	表 RA-17-20
CL塗り(ウレタン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部	B種	m m	表 RA-17-20
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部	A種	m 129	表 RA-17-21
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部	B種	m 130	表 RA-17-21
OS塗り(オイルステイン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部		m n	表 RA-17-22
素地ごしらえ	木部(屋外)	A種	m ² 126	表 RA-17-1
素地ごしらえ	木部(屋内)	A種	m ² 127	表 RA-17-1
素地ごしらえ	木部(屋内)セラックニス	A種	m ² 131	表 RA-17-1
素地ごしらえ	木部	B種	m ² 99	表 RA-17-1
素地ごしらえ	鉄鋼面	B種	m ² 100	表 RA-17-1
素地ごしらえ	鉄鋼面	C種	m ² 101	表 RA-17-1
素地ごしらえ	モルタル及びびりスター面	A種	m ² 102	表 RA-17-2
素地ごしらえ	モルタル及びびりスター面	B種	m ² p1	表 RA-17-2
素地ごしらえ	モルタル及びびりスター面(付着物の除去)		m ² 103	表 RA-17-2
素地ごしらえ	コンクリート面	A種	m ² 104	表 RA-17-3
素地ごしらえ	コンクリート面	B種	m ² 105	表 RA-17-3
素地ごしらえ	せっこうボード及びその他ボード面	A種	m ² 106	表 RA-17-5
素地ごしらえ	せっこうボード及びその他ボード面	B種	m ² 128	表 RA-17-5
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面	A種	m ² 107	表 RA-17-6
素地ごしらえ	押出成形セメント板面	A種	m ² 108	表 RA-17-4
素地ごしらえ	押出成形セメント板面	B種	m ² q	表 RA-17-4

【建築工事】

参考歩掛り（改修標仕仕様）

細目	摘要		単位	歩掛り記号	表番号	
	下地種類等	塗装種別 作業工程 (塗り回数)				
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A種	m ²	2'	表 RA-17-30
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²	4'	表 RA-17-30
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	C種	m ²	5'	表 RA-17-30
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A,B種	m ²	6'	表 RA-17-30
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	水系	A種	m ²	10'	表 RA-17-31
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	水系	B種	m ²	14'	表 RA-17-31
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	水系	C種	m ²	16'	表 RA-17-31
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	水系	A,B種	m ²	18'	表 RA-17-31
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	A種	m ²	48'	表 RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	B種	m ²	50'	表 RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	C種	m ²	52'	表 RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 下地調整別途	1種	A種	m ²	54'	表 RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	A種	m ²	319'	表 RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 下地調整別途	1種	B種	m ²	55'	表 RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	B種	m ²	320'	表 RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	C種	m ²	61'	表 RA-17-33
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	下地調整別途		A種	m ²	76'	表 RA-17-39
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	下地調整別途		B種	m ²	78'	表 RA-17-39
CL塗り(珪藻土塗り)	木部 下地調整別途		A種	m ²	105'	表 RA-17-40
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		A種	m ²	132'	表 RA-17-41
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		B種	m ²	133'	表 RA-17-41
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		A種	m ²	110'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		A種	m ²	111'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		B種	m ²	112'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		B種	m ²	113'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		C種	m ²	118'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		C種	m ²	120'	表 RA-17-34
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		A種	m ²	204'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		A種	m ²	205'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		B種	m ²	206'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		B種	m ²	207'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		C種	m ²	212'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		C種	m ²	214'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		A種	m ²	182'	表 RA-17-36
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		B種	m ²	184'	表 RA-17-36
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		C種	m ²	186'	表 RA-17-36
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		A種	m ²	188'	表 RA-17-37
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		B種	m ²	191'	表 RA-17-37
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		C種	m ²	194'	表 RA-17-37
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		A種	m ²	196'	表 RA-17-38
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		B種	m ²	199'	表 RA-17-38
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		C種	m ²	202'	表 RA-17-38
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細留物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m	39'	表 RA-17-43

【建築工事】

参考歩掛り（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RB種 塗替面) 木部	1種	B種	m	40'	表 RA-17-43
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RC種 塗替面) 木部	1種	C種	m	41'	表 RA-17-43
EPG 塗り (つや有合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	42'	表 RA-17-44
EPG 塗り (つや有合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	43'	表 RA-17-44
EPG 塗り (つや有合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RC種 塗替面) 木部		C種	m	44'	表 RA-17-44
CL 塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		A種	m	45'	表 RA-17-45
CL 塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	46'	表 RA-17-45
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		A種	m	134'	表 RA-17-46
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		B種	m	135'	表 RA-17-46
OS 塗り (オイルステイン塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(付着除去 塗替面) 木部			m	47'	表 RA-17-47
下地調整	木部 (塗替え面)		RA種	m ²	276'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面) セラックニス		RA種	m ²	311'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RA種(屋外)	m ²	318'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RB種	m ²	277'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RC種	m ²	278'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (新規面)		RA種	m ²	279'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (新規面) セラックニス		RA種	m ²	312'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (新規面)		RA種(屋外)	m ²	321'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (新規面)		RB種	m ²	280'	表 RA-17-23
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RA種	m ²	281'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RB種	m ²	282'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RC種	m ²	283'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (新規面)		RA種	m ²	284'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (新規面)		RB種	m ²	285'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (付着物除去)			m ²	286'	表 RA-17-25
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RA種	m ²	287'	表 RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RB種	m ²	288'	表 RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RC種	m ²	289'	表 RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (新規面)		RA種	m ²	290'	表 RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (新規面)		RB種	m ²	291'	表 RA-17-26
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RA種	m ²	292'	表 RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RB種	m ²	293'	表 RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RC種	m ²	294'	表 RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (新規面)		RA種	m ²	295'	表 RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (新規面)		RB種	m ²	296'	表 RA-17-27
下地調整	ボード面 (塗替え面)		RA種	m ²	297'	表 RA-17-28
下地調整	ボード面 (塗替え面)		RB種	m ²	298'	表 RA-17-28
下地調整	ボード面 (塗替え面)		RC種	m ²	299'	表 RA-17-28
下地調整	ボード面 (新規面)		RA種	m ²	300'	表 RA-17-28
下地調整	ボード面 (新規面)		RB種	m ²	301'	表 RA-17-28
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RA種	m ²	302'	表 RA-17-29
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RB種	m ²	303'	表 RA-17-29
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RC種	m ²	304'	表 RA-17-29

【建築工事】

参考歩掛り（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RA種	m ²	305'	表 RA-17-29
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RB種	m ²	306'	表 RA-17-29
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RA種	m ²	307'	表 RA-17-24
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RB種	m ²	308'	表 RA-17-24
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RC種	m ²	309'	表 RA-17-24
下地調整	鉄鋼面（新規面）		RA種	m ²	310'	表 RA-17-24

【建築工事】

補正市場単価

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内 (仕様:第8節)	水系	B種	m ²	B	2 ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (屋内外) 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²	A	3 ÷ 119
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 (屋内外) 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²	A	4 ÷ 119
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m ²	E-O	120 ÷ 121
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m ²	E-O	-
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 錆止別途	1種	A種	m ²	D	9 ÷ d1
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	F-P	12 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	F-P	13 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	F-P	-
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	F-P	123 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	R-S	12 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	R-S	13 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	R-S	-
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	R-S	123 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	F-P	44 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	F-P	45 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	F-P	46 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	F-P	48 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	R-S	44 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	R-S	45 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	R-S	46 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	R-S	48 ÷ 122

【建築工事】

** 補正市場単価 **

細 目	摘 要		単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装 種別			
EPG 塗り (つや有合成樹脂珪酸エステル塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途		m ²	R - S	109 ÷ 122
EPG 塗り (つや有合成樹脂珪酸エステル塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		A 種 m ²	R - S	111 ÷ 122
EPG 塗り (つや有合成樹脂珪酸エステル塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		B 種 m ²	R - S	114 ÷ 122
EPG 塗り (つや有合成樹脂珪酸エステル塗り)	屋内亜鉛めつき鋼面 錆止別途別途		m ²	R - S	117 ÷ 122
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板 面 素地ごしらえ別途		A 種 m ²	R - S	76 ÷ 122
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板 面 素地ごしらえ別途		B 種 m ²	R - S	78 ÷ 122
CL 塗り (つや有合成樹脂珪酸エステル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A 種 m ²	I - T	94 ÷ i
CL 塗り (つや有合成樹脂珪酸エステル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B 種 m ²	I - T	—
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A 種 m ²	I - T	95 ÷ i
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B 種 m ²	I - T	96 ÷ i
SOP 塗り (合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅 300 mm 以下 (素地ごしらえ A 種均) 木部	1 種	A 種 (屋外) m	K	124 ÷ 125
EPG 塗り (つや有合成樹脂珪酸エステル塗り)	細幅物糸幅 300 mm 以下 (素地ごしらえ A 種均) 木部		m	K	97 ÷ 125
CL 塗り (つや有合成樹脂珪酸エステル塗り)	細幅物糸幅 300 mm 以下 (素地ごしらえ B 種均) 木部		A 種 m	M	98 ÷ m
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅 300 mm 以下 (素地ごしらえ A 種均) 木部		A 種 m	M	129 ÷ m
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅 300 mm 以下 (素地ごしらえ A 種均) 木部		B 種 m	M	130 ÷ m
素 地 ご し ら え	木部		A 種 (屋外) m ²	O	126 ÷ 127
素 地 ご し ら え ※	木部		B 種 m ²	O	99 ÷ 127
素 地 ご し ら え	木部 (屋内) セラックニス		A 種 m ²	O	131 ÷ 127
素 地 ご し ら え	鉄鋼面		B 種 m ²	S	100 ÷ p1
素 地 ご し ら え	鉄鋼面		C 種 m ²	S	101 ÷ p1
素 地 ご し ら え	モルタル及びプラスター面		A 種 m ²	S	102 ÷ p1
素 地 ご し ら え	モルタル及びプラスター面 (付着物の除去)		m ²	S	103 ÷ p1
素 地 ご し ら え	コンクリート面		A 種 m ²	S	104 ÷ p1
素 地 ご し ら え	コンクリート面		B 種 m ²	S	105 ÷ p1
素 地 ご し ら え	せっこうボード及びその他ボード面		A 種 m ²	P	106 ÷ 128
素 地 ご し ら え	けい酸カルシウム板面		A 種 m ²	S	107 ÷ p1
素 地 ご し ら え	押出成形セメント板面		A 種 m ²	Q	108 ÷ q

※素地ごしらえ 木部 B 種は、単価記号 T とする。

【 塗装改修 】

** 補正市場単価 **

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	A種	m ²	A	2' ÷ 119
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	B種	m ²	A	4' ÷ 119
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内外)塗替え面	A種	C種	m ²	A	5' ÷ 119
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	A,B種	m ²	A	6' ÷ 119
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	A種	m ²	B	10' ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	B種	m ²	B	14' ÷ 1
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内)塗替え面	水系	C種	m ²	B	16' ÷ 1
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	A,B種	m ²	B	18' ÷ 1
SOP塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m	K	39' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部	1種	B種	m	K	40' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部	1種	C種	m	K	41' ÷ 125
EPG塗り(つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	K	42' ÷ 125
EPG塗り(つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	K	43' ÷ 125
EPG塗り(つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部		C種	m	K	44' ÷ 125
CL塗り(クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		A種	m	M	45' ÷ m
CL塗り(クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	M	46' ÷ m
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	M	134' ÷ m
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		B種	m	M	135' ÷ m
OS塗り(オイルステイン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(付着除去 塗替面) 木部			m	N	47' ÷ n

【建築工事】

** 補正市場単価 **

細 目	摘 要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
SOP 塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	木部 下地調整別途	1種	A種	m ²	E-O	48' ÷ 121
SOP 塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	木部 下地調整別途	1種	B種	m ²	E-O	50' ÷ 121
SOP 塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	木部 下地調整別途	1種	C種	m ²	E-O	52' ÷ 121
SOP 塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	鉄鋼面(新規面) 錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²	D	54' ÷ d1
SOP 塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²	D	319' ÷ d1
SOP 塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	鉄鋼面(新規面) 錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²	D	55' ÷ d1
SOP 塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²	D	320' ÷ d1
SOP 塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	C種	m ²	D	61' ÷ d1
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	76' ÷ 122
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	78' ÷ 122
CL 塗り(クリアラッカー塗り)	木部 下地調整別途		A種	m ²	I-T	105' ÷ i
CL 塗り(クリアラッカー塗り)	木部 下地調整別途		B種	m ²	I-T	-
LE 塗り(ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		A種	m ²	I-T	132' ÷ i
LE 塗り(ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		B種	m ²	I-T	133' ÷ i
OS 塗り(オイルステイン塗り)	木部 付着物除去とも(塗替え面)			m ²	J	-
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		A種	m ²	F-P	110' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²	F-P	111' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		B種	m ²	F-P	112' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²	F-P	113' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		C種	m ²	F-P	118' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²	F-P	120' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	110' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	111' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	112' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	113' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m ²	R-S	118' ÷ 122
EP 塗り(合成樹脂エマルジョンベイト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²	R-S	120' ÷ 122

【建築工事】

** 補正市場単価 **

細目	摘要		単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別 作業工程			
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	せっこうボード面 一般面 下地調整 別途	A種	m ²	F-P	204' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	せっこうボード面 見上げ面 下地調整 別途	A種	m ²	F-P	205' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	せっこうボード面 一般面 下地調整 別途	B種	m ²	F-P	206' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	せっこうボード面 見上げ面 下地調整 別途	B種	m ²	F-P	207' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	せっこうボード面 一般面 下地調整 別途	C種	m ²	F-P	212' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	せっこうボード面 見上げ面 下地調整 別途	C種	m ²	F-P	214' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出 成形セメント板面 一般面 下地調整別	A種	m ²	R-S	204' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出 成形セメント板面 見上げ面 下地調整別	A種	m ²	R-S	205' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出 成形セメント板面 一般面 下地調整別	B種	m ²	R-S	206' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出 成形セメント板面 見上げ面 下地調整別	B種	m ²	R-S	207' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出 成形セメント板面 一般面 下地調整別	C種	m ²	R-S	212' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出 成形セメント板面 見上げ面 下地調整別	C種	m ²	R-S	214' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内木部 下地調整別途	A種	m ²	R-S	182' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内木部 下地調整別途	B種	m ²	R-S	184' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内木部 下地調整別途	C種	m ²	R-S	186' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内鉄鋼面 下地調整別途	A種	m ²	R-S	188' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内鉄鋼面 下地調整別途	B種	m ²	R-S	191' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内鉄鋼面 下地調整別途	C種	m ²	R-S	194' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途	A種	m ²	R-S	196' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途	B種	m ²	R-S	199' ÷ 122
EPG塗リ <small>(つや有合成樹脂珪酸エステル塗リ)</small>	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途	C種	m ²	R-S	202' ÷ 122

【建築工事】

** 補正市場単価 **

細目	摘要		単位	市場単価	算定式	
	下地種類等	塗装種別				作業工程
下地調整	木部（塗替え面）		RA種	m ²	O	276' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）セラックニス		RA種	m ²	O	311' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(塗外)	m ²	O	318' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RB種	m ²	O	277' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RC種	m ²	O	278' ÷ 127
下地調整	木部（新規面）		RA種	m ²	O	279' ÷ 127
下地調整	木部（新規面）セラックニス		RA種	m ²	O	312' ÷ 127
下地調整	木部（新規面）		RA種(塗外)	m ²	O	321' ÷ 127
下地調整	木部（新規面）		RB種	m ²	O	280' ÷ 127
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RA種	m ²	S	281' ÷ p1
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RB種	m ²	S	282' ÷ p1
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RC種	m ²	S	283' ÷ p1
下地調整	モルタル面（新規面）		RA種	m ²	S	284' ÷ p1
下地調整	モルタル面（新規面）		RB種	m ²	S	285' ÷ p1
下地調整	モルタル面 付着物除去			m ²	S	286' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RA種	m ²	S	287' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RB種	m ²	S	288' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RC種	m ²	S	289' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（新規面）		RA種	m ²	S	290' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（新規面）		RB種	m ²	S	291' ÷ p1
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RA種	m ²	Q	292' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RB種	m ²	Q	293' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RC種	m ²	Q	294' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（新規面）		RA種	m ²	Q	295' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（新規面）		RB種	m ²	Q	—
下地調整	ボード面（塗替え面）		RA種	m ²	P	297' ÷ 128
下地調整	ボード面（塗替え面）		RB種	m ²	P	298' ÷ 128
下地調整	ボード面（塗替え面）		RC種	m ²	P	299' ÷ 128
下地調整	ボード面（新規面）		RA種	m ²	P	300' ÷ 128
下地調整	ボード面（新規面）		RB種	m ²	P	301' ÷ 128
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RA種	m ²	S	302' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RB種	m ²	S	303' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RC種	m ²	S	304' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RA種	m ²	S	305' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RB種	m ²	S	306' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RA種	m ²	S	307' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RB種	m ²	S	308' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RC種	m ²	S	309' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（新規面）		RA種	m ²	S	310' ÷ p1

【建築工事】

協議会歩掛り

細目	摘要		単位	歩掛り記号	備考		
	下地種類等	塗装種別				作業工程	
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RA種	m ²	313'	【改修標仕仕様】 めっき鋼面の下地調整錆止め塗料用※	
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RB種	m ²	314'		
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RC種	m ²	315'		
下地調整	亜鉛めっき面(新規面)		RA種	m ²	316'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)新規面	A種	A種	m ²	cl	【改修標仕仕様】 めっき鋼面の錆止め塗料塗り※ めっき鋼面(鋼建)の錆止め塗料塗り※	
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)新規面	C種	A種	m ²	20'		
錆止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	A種	A種	m ²	29'		
錆止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	C種	A種	m ²	19'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	A種	B種	m ²	31'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	C種	B種	m ²	21'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	A種	C種	m ²	32'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	C種	C種	m ²	22'		
錆止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)新規面	A種	A,B種	m ²	33'		
錆止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)新規面	C種	A,B種	m ²	23'		
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²	62'		【改修標仕仕様】 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)※
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²	63'		
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)錆止別途 下地調整別途	1種	C種	m ²	67'		

※協議会参考参照

【建築工事】

** 補正市場単価 **

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場 2 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）塗替え面	水系	A 種	m ²	B	19' ÷ 1
錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）新規面	水系	A 種	m ²	B	20' ÷ 1
錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）塗替え面	水系	B 種	m ²	B	21' ÷ 1
錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）塗替え面	水系	C 種	m ²	B	22' ÷ 1
錆止め塗り	工場 1 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）新規面	水系	A,B 種	m ²	B	23' ÷ 1
錆止め塗り	現場 2 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）塗替え面	A 種	A 種	m ²	C	29' ÷ c1
錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）新規面	A 種	A 種	m ²	C	—
錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）塗替え面	A 種	B 種	m ²	C	31' ÷ c1
錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）塗替え面	A 種	C 種	m ²	C	32' ÷ c1
錆止め塗り	工場 1 回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）新規面	A 種	A,B 種	m ²	C	33' ÷ c1
SOP 塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）錆止別途 下地調整別途	1 種	A 種	m ²	D	62' ÷ d1
SOP 塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）錆止別途 下地調整別途	1 種	B 種	m ²	D	63' ÷ d1
SOP 塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）錆止別途 下地調整別途	1 種	C 種	m ²	D	67' ÷ d1
下地調整	亜鉛めっき鋼面（塗替え面）		RA 種	m ²	S	313' ÷ p1
下地調整	亜鉛めっき鋼面（塗替え面）		RB 種	m ²	S	314' ÷ p1
下地調整	亜鉛めっき鋼面（塗替え面）		RC 種	m ²	S	315' ÷ p1
下地調整	亜鉛めっき鋼面（新規面）		RA 種	m ²	S	316' ÷ p1

【建築工事】

【内外装】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m ²	U	
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m ²	A	
階段ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m ²	V	
階段ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m ²	B	
床ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT	m ²	C	
階段ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT	m ²	D	
床タイルカーペット張り	総厚 6.5mm 500 角 第一種ループパイル(一般事務室用)	m ²	E	
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H60mm	m	F	
ささらビニル幅木 (ソフト幅木)	H330mm	m	G	
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け	m ²	H	
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け 下地せっこうボード厚 12.5mm 共	m ²	I	
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け GL 工法	m ²	J	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付け	m ²	K	
天井 不燃化粧せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付け	m ²	L	
壁 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2, 無石綿, 0.8FK) 厚 8.0mm 不燃 突付け	m ²	M	
壁 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2, 無石綿, 0.8FK) 厚 8.0mm 不燃 目透し	m ²	N	
天井 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2, 無石綿, 0.8FK) 厚 6.0mm 不燃 突付け	m ²	O	
天井 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2, 無石綿, 0.8FK) 厚 6.0mm 不燃 目透し	m ²	P	
天井 吸音板張り(内部用)	厚 9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5mm 共	m ²	Q	
天井 吸音板張り(内部用)	厚 12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5mm 共	m ²	R	
せっこうボード継目処理	継目処理工法 (テーパエッジ)	m ²	S	
せっこうボード継目処理	V 目地工法 (ヘベルエッジ)	m ²	T	

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	階段 (織布積層ビニル床シート 無地 FS 厚さ 2.5)	m ²	a2	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (織布積層ビニル床シート 無地 FS 厚さ 2.0)	m ²	a26	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (織布積層ビニル床シート マーブル FS 厚さ 2.0)	m ²	a27	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (織布積層ビニル床シート マーブル FS 厚さ 2.5)	m ²	a28	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (半硬質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2 一般床)	m ²	a3	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (半硬質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2 多湿部)	m ²	a29	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (軟質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2 一般床)	m ²	a30	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (軟質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2 多湿部)	m ²	a31	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	階段 (半硬質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2)	m ²	a4	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	階段 (軟質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2)	m ²	a32	表 RA-18-1
ビニル幅木張り	一般 (高さ 60)	m	a5	表 RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ 75)	m	a33	表 RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ 100)	m	a34	表 RA-18-2
ビニル幅木張り	階段ささら (高さ 330)	m	a6	表 RA-18-2
壁 せっこうボード張り	突付け (厚 12.5 不燃)	m ²	a8	表 RA-18-3
壁 せっこうボード張り	突付け (厚 9.5 準不燃)	m ²	a38	表 RA-18-3

【建築工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
壁せっこうボード張り	突付け (厚 15 不燃)	m ²	a77	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m ²	a86	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (吸音用あなあきせっこうボード 厚 9.5 φ 6-22 不燃紙裏打ち 準不燃)	m ²	a111	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (シヅクせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m ²	a112	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (シヅクせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m ²	a137	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (強化せっこうボード 厚 15 不燃)	m ²	a156	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (強化せっこうボード 厚 21 不燃)	m ²	a161	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (厚 9.5 準不燃)	m ²	a41	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (厚 12.5 不燃)	m ²	a63	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (厚 15 不燃)	m ²	a78	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m ²	a89	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (シヅクせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m ²	a115	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (シヅクせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m ²	a139	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (厚 9.5 準不燃)	m ²	a44	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (厚 12.5 不燃)	m ²	a65	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (厚 15 不燃)	m ²	a79	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m ²	a92	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (シヅクせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m ²	a118	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (シヅクせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m ²	a141	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (厚 9.5 準不燃)	m ²	a47	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (厚 12.5 不燃)	m ²	a67	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (厚 15 不燃)	m ²	a80	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m ²	a95	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (シヅクせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m ²	a121	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (シヅクせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m ²	a143	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (強化せっこうボード 厚 15 不燃)	m ²	a154	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (強化せっこうボード 厚 21 不燃)	m ²	a159	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (厚 9.5 準不燃)	m ²	a50	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (厚 12.5 不燃)	m ²	a69	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (厚 15 不燃)	m ²	a81	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m ²	a98	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (シヅクせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m ²	a124	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (シヅクせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m ²	a145	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (強化せっこうボード 厚 15 不燃)	m ²	a158	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (強化せっこうボード 厚 21 不燃)	m ²	a163	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	ラボード (厚 9.5)	m ²	a164	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (厚 12.5 不燃)	m ²	a10	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (厚 9.5 準不燃)	m ²	a51	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (厚 15 不燃)	m ²	a82	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m ²	a99	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (シヅクせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m ²	a125	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (シヅクせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m ²	a146	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け V目地 (厚 9.5 準不燃)	m ²	a54	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け V目地 (厚 15 不燃)	m ²	a83	表 RA-18-3

【建築工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地(不燃積層 厚9.5 不燃)	m ²	a102	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地(シジツグせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m ²	a128	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地(シジツグせっこうボード 厚12.5 不燃)	m ²	a148	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(厚9.5 準不燃)	m ²	a59	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(厚12.5 不燃)	m ²	a74	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(厚15 不燃)	m ²	a84	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(不燃積層 厚9.5 不燃)	m ²	a107	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(シジツグせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m ²	a133	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(シジツグせっこうボード 厚12.5 不燃)	m ²	a151	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(厚9.5 準不燃)	m ²	a62	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(厚12.5 不燃)	m ²	a76	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(厚15 不燃)	m ²	a85	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(不燃積層 厚9.5 不燃)	m ²	a110	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(シジツグせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m ²	a136	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(シジツグせっこうボード 厚12.5 不燃)	m ²	a153	表 RA-18-3
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚8)	m ²	a11	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚5)	m ²	a165	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚6)	m ²	a168	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚10)	m ²	a173	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚12)	m ²	a176	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚8)	m ²	a12	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚5)	m ²	a166	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚6)	m ²	a169	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚10)	m ²	a174	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚12)	m ²	a178	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚8)	m ²	a172	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚5)	m ²	a167	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚6)	m ²	a170	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚10)	m ²	a175	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚12)	m ²	a179	表 RA-18-5
天井せっこうボード張り	突付け(不燃積層 厚9.5 不燃 化粧無し)	m ²	a13	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(厚9.5 準不燃)	m ²	a180	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(厚12.5 不燃)	m ²	a184	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(シジツグせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m ²	a192	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(シジツグせっこうボード 厚12.5 不燃)	m ²	a196	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(化粧せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m ²	a200	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(吸音用あなあきせっこうボード 厚9.5 φ6-22 不燃紙裏打ち 準不燃)	m ²	a191	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(厚9.5 準不燃)	m ²	a181	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(厚12.5 不燃)	m ²	a185	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(不燃積層 厚9.5 不燃 化粧無し)	m ²	a188	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(シジツグせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m ²	a193	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(シジツグせっこうボード 厚12.5 不燃)	m ²	a197	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理(厚9.5 準不燃)	m ²	a182	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理(厚12.5 不燃)	m ²	a186	表 RA-18-4

【建築工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
天井せっこうボード張り	継目処理 (不燃積層 厚 9.5 不燃 化粧無し)	m ²	a189	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理 (シ-ジ-ンクせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m ²	a194	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理 (シ-ジ-ンクせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m ²	a198	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (厚 9.5 準不燃)	m ²	a183	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (厚 12.5 不燃)	m ²	a187	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	化粧ボード (不燃積層 厚 9.5 不燃 化粧有りトラハ-チン)	m ²	a14	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (不燃積層 厚 9.5 不燃 化粧無し)	m ²	a190	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (シ-ジ-ンクせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m ²	a195	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (シ-ジ-ンクせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m ²	a199	表 RA-18-4
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 軽天直張り (厚 9 不燃)	m ²	a202	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 軽天直張り (厚 12 不燃)	m ²	a203	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共 (厚 9 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m ²	a15	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共 (厚 9 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m ²	a228	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共 (厚 12.0 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m ²	a229	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m ²	a230	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 外部用 下地張り共 (厚 9 不燃 下地シ-ジ-ンクせっこうボード厚 12.5)	m ²	a231	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 外部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地シ-ジ-ンクせっこうボード厚 12.5)	m ²	a232	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m ²	a16	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m ²	a208	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 15 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m ²	a233	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 15 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m ²	a209	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 19 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m ²	a234	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 19 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m ²	a211	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 外部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地シ-ジ-ンクせっこうボード厚 12.5)	m ²	a235	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 外部用 下地張り共 (厚 15 不燃 下地シ-ジ-ンクせっこうボード厚 12.5)	m ²	a236	表 RA-18-6

【建築工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 6)	m ²	a17	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 5)	m ²	a215	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 8)	m ²	a219	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 10)	m ²	a222	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 12)	m ²	a225	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 6)	m ²	a18	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 5)	m ²	a216	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 8)	m ²	a220	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 10)	m ²	a223	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 12)	m ²	a226	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 5)	m ²	a217	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 6)	m ²	a218	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 8)	m ²	a221	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 10)	m ²	a224	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 12)	m ²	a227	表 RA-18-5

【建築工事】

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
階段ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS	m ²	V	a27 ÷ a26
階段ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS	m ²	B	a28 ÷ a2
床ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT 多湿部	m ²	C	a29 ÷ a3
床ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT	m ²	C	a30 ÷ a3
床ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT 多湿部	m ²	C	a31 ÷ a3
階段ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT	m ²	D	a32 ÷ a4
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	F	a33 ÷ a5
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	F	a34 ÷ a5

【建築工事】

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け	m ²	H	a38 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付けV目地	m ²	H	a41 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 目透かし	m ²	H	a44 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り	m ²	I-H	a50 ÷ a69
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け GL 工法	m ²	J	a51 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL 工法	m ²	J	a54 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り GL 工法	m ²	J	a62 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付けV目地	m ²	H	a63 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 目透かし	m ²	H	a65 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り	m ²	I-H	1.00
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付けV目地 GL 工法	m ²	J	1.00
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り GL 工法	m ²	J	a76 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付け	m ²	H	a77 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付けV目地	m ²	H	a78 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 目透かし	m ²	H	a79 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 下地張り	m ²	I-H	a81 ÷ a69
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付け GL 工法	m ²	J	a82 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付けV目地 GL 工法	m ²	J	a83 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 下地張り GL 工法	m ²	J	a85 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付け	m ²	H	a86 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付けV目地	m ²	H	a89 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 目透かし	m ²	H	a92 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 下地張り	m ²	I-H	a98 ÷ a69
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付け GL 工法	m ²	J	a99 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付けV目地 GL 工法	m ²	J	a102 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 下地張り GL 工法	m ²	J	a110 ÷ a10
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け	m ²	H	a112 ÷ a8
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付けV目地	m ²	H	a115 ÷ a8
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 目透かし	m ²	H	a118 ÷ a8
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り	m ²	I-H	a124 ÷ a69
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け GL 工法	m ²	J	a125 ÷ a10
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL 工法	m ²	J	a128 ÷ a10
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り GL 工法	m ²	J	a136 ÷ a10
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け	m ²	H	a137 ÷ a8
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付けV目地	m ²	H	a139 ÷ a8
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 目透かし	m ²	H	a141 ÷ a8
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り	m ²	I-H	a145 ÷ a69
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け GL 工法	m ²	J	a146 ÷ a10
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付けV目地 GL 工法	m ²	J	a148 ÷ a10
壁 シジツクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り GL 工法	m ²	J	a153 ÷ a10

※壁せっこうボード張り、壁不燃積層せっこうボード張り及び壁シジツクせっこうボード張りで継目処理の場合は、上記に記載されている突付け仕様の市場補正単価に、「せっこうボード継目処理 継目処理工法（テーパ-エッジ）【単価記号S】」の市場単価を加算する。

【建築工事】

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
壁 強化せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付け	m ²	H	a156 ÷ a8
壁 強化せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 下地張り	m ²	I - H	a158 ÷ a69
壁 強化せっこうボード張り	厚 21.0mm 不燃 突付け	m ²	H	a161 ÷ a8
壁 強化せっこうボード張り	厚 21.0mm 不燃 下地張り	m ²	I - H	a163 ÷ a69
壁 吸音用穴あきせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 (不燃紙裏打ち) 突付け 穴φ 6-22	m ²	H	a111 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 下地張り	m ²	I - H	a164 ÷ a69
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a165 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	N	a166 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a167 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 6.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a168 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 6.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	N	a169 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 6.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a170 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 8.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a172 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a173 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	N	a174 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a175 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a176 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	N	a178 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	M	a179 ÷ a11

※壁強化せっこうボード張りで継目処理の場合は上記に記載されている突付け仕様の市場補正単価に、「せっこうボード継目処理 継目処理工法 (テープ・エッジ) 【単価記号S】」の市場単価を加算する。

【建築工事】

※補正市場単価※

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
天井 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け	m ²	K	a180 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 目透かし	m ²	K	a181 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り	m ²	K	a183 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け	m ²	K	a184 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 目透かし	m ²	K	a185 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り	m ²	K	a187 ÷ a13
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 目透かし	m ²	K	a188 ÷ a13
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 下地張り	m ²	K	a190 ÷ a13
天井 吸音用穴あきせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 (不燃紙裏打ち) 突付け 穴φ 6-22	m ²	K	a191 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け	m ²	K	a192 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 目透かし	m ²	K	a193 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り	m ²	K	a195 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け	m ²	K	a196 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 目透かし	m ²	K	a197 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り	m ²	K	a199 ÷ a13
天井 化粧せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け トラバーチン	m ²	L	a200 ÷ a14
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a215 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	P	a216 ÷ a18
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a217 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 6.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a218 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 8.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a219 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 8.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	P	a220 ÷ a18
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 8.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a221 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a222 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	P	a223 ÷ a18
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a224 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a225 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	P	a226 ÷ a18
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m ²	O	a227 ÷ a17

※天井せっこうボード張り、天井不燃積層せっこうボード張り及び天井シジグせっこうボード張りで継目処理の場合は、上記に記載されている突付け仕様の市場補正単価に、「せっこうボード継目処理 継目処理工法 (テーパージグ) 【単価記号 S】」の市場単価を加算する。

【建築工事】

※※補正市場単価※※

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m ²	Q	a228 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm 共	m ²	Q	a229 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m ²	Q	a230 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m ²	Q	a202 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m ²	Q	a203 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地-ジソグせっこうボード厚12.5mm 共	m ²	Q	a231 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地-ジソグせっこうボード厚12.5mm 共	m ²	Q	a232 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m ²	R	a208 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm 共	m ²	R	a233 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m ²	R	a209 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm 共	m ²	R	a234 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m ²	R	a211 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地-ジソグせっこうボード厚12.5mm 共	m ²	R	a235 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地-ジソグせっこうボード厚12.5mm 共	m ²	R	a236 ÷ a16

※※参考歩掛り※※

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m ²	a19'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法)	m ²	a22'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a20'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部)	m ²	a23'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m ²	a1	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法)	m ²	a24'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a21'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部)	m ²	a25'	表 RA-18-1

※※協議会歩掛り※※

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
ビニル床シート熱溶接工法加算額		m ²	b	ビニル床シート熱溶接工法加算額※1
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 60)	m	a35	階段ビニル幅木張り※2
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 75)	m	a36	
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 100)	m	a37	

※1 営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り

※2 営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

【建築工事】

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m ²	U	(a22' +b) ÷ (a19' +b)
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	U	a19' ÷ (a19' +b)
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m ²	U	a22' ÷ (a19' +b)
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	U	(a20' +b) ÷ (a19' +b)
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	U	(a23' +b) ÷ (a19' +b)
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	U	a20' ÷ (a19' +b)
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m ²	U	a23' ÷ (a19' +b)
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m ²	A	(a24' +b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	A	a1 ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m ²	A	a24' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	A	(a21' +b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	A	(a25' +b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	A	a21' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m ²	A	a25' ÷ (a1+b)
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=60mm	m	G	a35 ÷ a6
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	G	a36 ÷ a6
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	G	a37 ÷ a6

【配管工事1】

【電気設備工事】

【配管工事 1】 耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込、露出配管

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	A	$a \div q$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	B	$b \div r$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	C	$c \div s$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 36	m	D	$d \div t$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 42	m	E	$e \div u$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 54	m	F	$f \div v$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 70	m	G	$g \div w$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 82	m	H	$h \div x$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 16	m	I	$i \div y$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 22	m	J	$j \div z$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 28	m	K	$k \div \alpha$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 36	m	L	$l \div \beta$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 42	m	M	$m \div \gamma$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 54	m	N	$n \div \delta$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 70	m	O	$o \div \varepsilon$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 82	m	P	$p \div \zeta$

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	A	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	B	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	C	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 36	m	D	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 42	m	E	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 54	m	F	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 70	m	G	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 82	m	H	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 16	m	I	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 22	m	J	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 28	m	K	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 36	m	L	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 42	m	M	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 54	m	N	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 70	m	O	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 82	m	P	

【配管工事1】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	a	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	b	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	c	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 36	m	d	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 42	m	e	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 54	m	f	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 70	m	g	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 82	m	h	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 16	m	i	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 22	m	j	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 28	m	k	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 36	m	l	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 42	m	m	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 54	m	n	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 70	m	o	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 82	m	p	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	q	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	r	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	s	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 36	m	t	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 42	m	u	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 54	m	v	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 70	m	w	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 82	m	x	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 16	m	y	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 22	m	z	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 28	m	α	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 36	m	β	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 42	m	γ	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 54	m	δ	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 70	m	ε	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 82	m	ζ	表RE-1-1

【配管工事2】

【電気設備工事】

【配管工事 2】 ケーブルラック ZT 1段目・2段積の2段目

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200 (1段目)	m	A	a ÷ k
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 300 (1段目)	m	B	b ÷ l
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 400 (1段目)	m	C	c ÷ m
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 500 (1段目)	m	D	d ÷ n
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 600 (1段目)	m	E	e ÷ o
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200 (2段積の2段目)	m	F	f ÷ p
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 300 (2段積の2段目)	m	G	g ÷ q
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 400 (2段積の2段目)	m	H	h ÷ r
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 500 (2段積の2段目)	m	I	i ÷ s
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 600 (2段積の2段目)	m	J	j ÷ t

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (1段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (1段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (1段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (1段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (1段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目)	m	J	

【配管工事2】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200 (1段目) 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 300 (1段目) 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 400 (1段目) 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 500 (1段目) 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 600 (1段目) 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200 (2段積の2段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 300 (2段積の2段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 400 (2段積の2段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 500 (2段積の2段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 600 (2段積の2段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (1段目) 支持材加算	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (1段目) 支持材加算	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (1段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (1段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (1段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4

【配管工事3】

【電気設備工事】

【配管工事 3】 ケーブルラック ZM-BS

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400BS	m	A	a ÷ f
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500BS	m	B	b ÷ g
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600BS	m	C	c ÷ h
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800BS	m	D	d ÷ i
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000BS	m	E	e ÷ j

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400B (1段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500B (1段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600B (1段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800B (1段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B (1段目)	m	E	

** 参考歩掛り **

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400BS 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500BS 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600BS 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800BS 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000BS 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400B (1段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500B (1段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600B (1段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800B (1段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B (1段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4

【配管工事4】

【電気設備工事】

【配管工事4】 ケーブルラック ZM 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B (2段積の2段目)	m	L	

【配管工事4】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

【配管工事5】

【電気設備工事】

【配管工事 5】 ケーブルラック Z35 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000B (2段積の2段目)	m	L	

【配管工事5】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z25溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

【配管工事6】

【電気設備工事】

【配管工事 6】 ケーブルラック Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製)

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (1段目)	m	A	$a \div y$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (1段目)	m	B	$b \div z$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (1段目)	m	C	$c \div \alpha$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (1段目)	m	D	$d \div \beta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (1段目)	m	E	$e \div \gamma$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (1段目)	m	F	$f \div \delta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (1段目)	m	G	$g \div \varepsilon$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (1段目)	m	H	$h \div \zeta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (1段目)	m	I	$i \div \eta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (1段目)	m	J	$j \div \theta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (1段目)	m	K	$k \div \iota$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (1段目)	m	L	$l \div \kappa$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目)	m	M	$m \div \lambda$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目)	m	N	$n \div \mu$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目)	m	O	$o \div \nu$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目)	m	P	$p \div \xi$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目)	m	Q	$q \div \omicron$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目)	m	R	$r \div \pi$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目)	m	S	$s \div \rho$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目)	m	T	$t \div \sigma$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目)	m	U	$u \div \tau$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目)	m	V	$v \div \upsilon$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目)	m	W	$w \div \phi$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目)	m	X	$x \div \chi$

【配管工事6】

【電気設備工事】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200A (1段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 300A (1段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400A (1段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500A (1段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600A (1段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800A (1段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000A (1段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400B (1段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500B (1段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600B (1段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800B (1段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000B (1段目)	m	L	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200A (2段積の2段目)	m	M	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 300A (2段積の2段目)	m	N	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400A (2段積の2段目)	m	O	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500A (2段積の2段目)	m	P	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600A (2段積の2段目)	m	Q	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800A (2段積の2段目)	m	R	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000A (2段積の2段目)	m	S	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400B (2段積の2段目)	m	T	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500B (2段積の2段目)	m	U	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600B (2段積の2段目)	m	V	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800B (2段積の2段目)	m	W	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000B (2段積の2段目)	m	X	

【配管工事6】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (1段目) 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (1段目) 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (1段目) 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (1段目) 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (1段目) 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (1段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (1段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (1段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (1段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (1段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (1段目) 支持材加算	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (1段目) 支持材加算	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200A (1段目) 支持材加算	m	y	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 300A (1段目) 支持材加算	m	z	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400A (1段目) 支持材加算	m	α	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500A (1段目) 支持材加算	m	β	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600A (1段目) 支持材加算	m	γ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800A (1段目) 支持材加算	m	δ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000A (1段目) 支持材加算	m	ε	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400B (1段目) 支持材加算	m	ζ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500B (1段目) 支持材加算	m	η	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600B (1段目) 支持材加算	m	θ	表RE-1-4

【配管工事6】

【電気設備工事】

ケーブルラック	はしご形 (1段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	800B	m	ι	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (1段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	1000B	m	κ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	200A	m	λ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	300A	m	μ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	400A	m	ν	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	500A	m	ξ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	600A	m	ο	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	800A	m	π	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	1000A	m	ρ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	400B	m	σ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	500B	m	τ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	600B	m	υ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	800B	m	φ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段積の2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 支持材加算	1000B	m	χ	表RE-1-4

【配管工事7】

【電気設備工事】

【配管工事 7】 ケーブルラック Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製）支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 200A 支持材別途	m	A	$a \div m$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 300A 支持材別途	m	B	$b \div n$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 400A 支持材別途	m	C	$c \div o$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 500A 支持材別途	m	D	$d \div p$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 600A 支持材別途	m	E	$e \div q$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 800A 支持材別途	m	F	$f \div r$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 1000A 支持材別途	m	G	$g \div s$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 400B 支持材別途	m	H	$h \div t$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 500B 支持材別途	m	I	$i \div u$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 600B 支持材別途	m	J	$j \div v$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 800B 支持材別途	m	K	$k \div w$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製） 1000B 支持材別途	m	L	$l \div x$

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m ²)製 1000B (2段積の2段目)	m	L	

【配管工事7】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

【配管工事8】

【電気設備工事】

【配管工事 8】 ケーブルラック AL 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200A 支持材別途	m	A	$a \div m$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 300A 支持材別途	m	B	$b \div n$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400A 支持材別途	m	C	$c \div o$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500A 支持材別途	m	D	$d \div p$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600A 支持材別途	m	E	$e \div q$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800A 支持材別途	m	F	$f \div r$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000A 支持材別途	m	G	$g \div s$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400B 支持材別途	m	H	$h \div t$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500B 支持材別途	m	I	$i \div u$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600B 支持材別途	m	J	$j \div v$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800B 支持材別途	m	K	$k \div w$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000B 支持材別途	m	L	$l \div x$

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000B (2段積の2段目)	m	L	

【配管工事8】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

【配線工事1】

【電気設備工事】

【配線工事 1】 600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 及び600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	A	a ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	A	b ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	C	e ÷ h
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm ²	m	A	f ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm ²	m	B	g ÷ d
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm ²	m	D	j ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm ²	m	D	k ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm ²	m	D	l ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm ²	m	D	m ÷ i
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.0mm	m	E	n ÷ p
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	E	o ÷ p
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	G	r ÷ u
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm ²	m	E	s ÷ p
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm ²	m	F	t ÷ q
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm ²	m	H	w ÷ v
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm ²	m	H	x ÷ v
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm ²	m	H	y ÷ v
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm ²	m	H	z ÷ v

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	A	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	B	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm ²	m	C	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm ²	m	D	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	E	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	F	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm ²	m	G	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm ²	m	H	

【配線工事1】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm ²	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm ²	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm ²	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm ²	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm ²	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm ²	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm ²	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm ²	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.0mm	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm ²	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm ²	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm ²	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm ²	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm ²	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm ²	m	x	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm ²	m	y	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm ²	m	z	表RE-1-8

【配線工事2】

【電気設備工事】

【配線工事 2】 600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.0mm	m	A	a ÷ s
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	B	b ÷ t
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	C	c ÷ u
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	D	d ÷ v
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	E	e ÷ w
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2mm ²	m	F	f ÷ x
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 3.5mm ²	m	G	g ÷ y
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 5.5mm ²	m	H	h ÷ z
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 8mm ²	m	I	i ÷ α
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 14mm ²	m	J	j ÷ β
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 22mm ²	m	K	k ÷ γ
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 38mm ²	m	L	l ÷ δ
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 60mm ²	m	M	m ÷ ε
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 100mm ²	m	N	n ÷ ζ
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 150mm ²	m	O	o ÷ η
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 200mm ²	m	P	p ÷ θ
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 250mm ²	m	Q	q ÷ ι
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 325mm ²	m	R	r ÷ κ

** 市場単価及び補正市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	A	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	B	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	C	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	D	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	E	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm ²	m	F	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm ²	m	G	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm ²	m	H	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm ²	m	I	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm ²	m	J	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm ²	m	K	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソル絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm ²	m	L	

【配線工事2】

【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm2	m	M	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm2	m	N	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm2	m	O	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm2	m	P	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm2	m	Q	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm2	m	R	

** 参考歩掛り **

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.0mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2mm2	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 3.5mm2	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 5.5mm2	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 8mm2	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 14mm2	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 22mm2	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 38mm2	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 60mm2	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 100mm2	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 150mm2	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 200mm2	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 250mm2	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 325mm2	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm2	m	x	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm2	m	y	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm2	m	z	表RE-1-8

【配線工事2】

【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm ²	m	α	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm ²	m	β	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm ²	m	γ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm ²	m	δ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm ²	m	ε	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm ²	m	ζ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm ²	m	η	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm ²	m	θ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm ²	m	ι	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm ²	m	κ	表RE-1-8

【配線工事3】

【電気設備工事】

【配線工事 3】 600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.0mm	m	A	a ÷ s
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	B	b ÷ t
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	C	c ÷ u
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	D	d ÷ v
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	E	e ÷ w
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2mm ²	m	F	f ÷ x
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 3.5mm ²	m	G	g ÷ y
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 5.5mm ²	m	H	h ÷ z
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 8mm ²	m	I	i ÷ α
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 14mm ²	m	J	j ÷ β
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 22mm ²	m	K	k ÷ γ
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 38mm ²	m	L	l ÷ δ
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 60mm ²	m	M	m ÷ ε
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 100mm ²	m	N	n ÷ ζ
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 150mm ²	m	O	o ÷ η
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 200mm ²	m	P	p ÷ θ
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 250mm ²	m	Q	q ÷ ι
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 325mm ²	m	R	r ÷ κ

** 市場単価及び補正市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.0mm	m	A	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	B	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	C	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	D	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	E	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm ²	m	F	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm ²	m	G	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm ²	m	H	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm ²	m	I	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm ²	m	J	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm ²	m	K	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm ²	m	L	

【配線工事3】

【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 60mm ²	m	M	
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm ²	m	N	
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm ²	m	O	
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm ²	m	P	
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm ²	m	Q	
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm ²	m	R	

** 参考歩掛り **

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 1.0mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 1.2mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 1.6mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 2.0mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 2.6mm	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 2mm ²	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 3.5mm ²	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 5.5mm ²	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 8mm ²	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 14mm ²	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 22mm ²	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 38mm ²	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 60mm ²	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 100mm ²	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 150mm ²	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 200mm ²	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 250mm ²	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) PF及びCD管内配線 325mm ²	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.0mm	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm ²	m	x	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t - ₂ ル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm ²	m	y	表RE-1-8

【配線工事3】

【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm ²	m	z	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm ²	m	α	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm ²	m	β	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm ²	m	γ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm ²	m	δ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 60mm ²	m	ε	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm ²	m	ζ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm ²	m	η	表RE-1-8
600V絶縁電線	600 ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm ²	m	θ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm ²	m	ι	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm ²	m	κ	表RE-1-8

【配線工事4】

【電気設備工事】

【配線工事 4】 600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2mm	m	A	a ÷ r
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.6mm	m	B	b ÷ s
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.0mm	m	C	c ÷ t
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.6mm	m	D	d ÷ u
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2mm ²	m	E	e ÷ v
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 3.5mm ²	m	F	f ÷ w
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 5.5mm ²	m	G	g ÷ x
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 8mm ²	m	H	h ÷ y
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 14mm ²	m	I	i ÷ z
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 22mm ²	m	J	j ÷ α
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 38mm ²	m	K	k ÷ β
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 60mm ²	m	L	l ÷ γ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 100mm ²	m	M	m ÷ δ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 150mm ²	m	N	n ÷ ε
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 200mm ²	m	O	o ÷ ζ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 250mm ²	m	P	p ÷ η
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 325mm ²	m	Q	q ÷ θ

** 市場単価及び補正市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	A
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	B
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	C
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	D
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm ²	m	E
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm ²	m	F
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm ²	m	G
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm ²	m	H
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm ²	m	I
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm ²	m	J
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm ²	m	K

【配線工事4】

【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 60mm ²	m	L	
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm ²	m	M	
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm ²	m	N	
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm ²	m	O	
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm ²	m	P	
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm ²	m	Q	

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.6mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.0mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.6mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2mm ²	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 3.5mm ²	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 5.5mm ²	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 8mm ²	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 14mm ²	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 22mm ²	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 38mm ²	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 60mm ²	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 100mm ²	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 150mm ²	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 200mm ²	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 250mm ²	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種 ^t ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 325mm ²	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm ²	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm ²	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^t ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm ²	m	x	表RE-1-8

【配線工事4】

【電気設備工事】

600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 8mm ²	m	y	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 14mm ²	m	z	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 22mm ²	m	α	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 38mm ²	m	β	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 60mm ²	m	γ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 100mm ²	m	δ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 150mm ²	m	ε	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 200mm ²	m	ζ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 250mm ²	m	η	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 325mm ²	m	θ	表RE-1-8

【配線工事5】

【電気設備工事】

【配線工事 5】 600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	A	a ÷ r
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	B	b ÷ s
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	C	c ÷ t
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	D	d ÷ u
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 2mm ²	m	E	e ÷ v
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 3.5mm ²	m	F	f ÷ w
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 5.5mm ²	m	G	g ÷ x
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 8mm ²	m	H	h ÷ y
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 14mm ²	m	I	i ÷ z
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 22mm ²	m	J	j ÷ α
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 38mm ²	m	K	k ÷ β
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 60mm ²	m	L	l ÷ γ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 100mm ²	m	M	m ÷ δ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 150mm ²	m	N	n ÷ ε
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 200mm ²	m	O	o ÷ ζ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 250mm ²	m	P	p ÷ η
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 325mm ²	m	Q	q ÷ θ

** 市場単価及び補正市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	A
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	B
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	C
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	D
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm ²	m	E
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm ²	m	F
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm ²	m	G
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm ²	m	H
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm ²	m	I
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm ²	m	J
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm ²	m	K

【配線工事5】

【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 60mm2	m	L	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 100mm2	m	M	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 150mm2	m	N	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 200mm2	m	O	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 250mm2	m	P	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 325mm2	m	Q	

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 2mm2	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 3.5mm2	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 5.5mm2	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 8mm2	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 14mm2	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 22mm2	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 38mm2	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 60mm2	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 100mm2	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 150mm2	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 200mm2	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 250mm2	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(HIV)PF及びびCD管内配線 325mm2	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 1.2mm	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 1.6mm	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 2.0mm	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 2.6mm	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 2mm2	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 3.5mm2	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線(IV)管内配線 5.5mm2	m	x	表RE-1-8

【配線工事5】

【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm ²	m	y	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm ²	m	z	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm ²	m	α	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm ²	m	β	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 60mm ²	m	γ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm ²	m	δ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm ²	m	ε	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm ²	m	ζ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm ²	m	η	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V ^レ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm ²	m	θ	表RE-1-8

【配線工事6】

【電気設備工事】

【配線工事 6】 600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF)

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	B	c ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	D	f ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 木造部分にサ°ル止め又はステー°ル止め 1.6mm-2C	m	A	g ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 木造部分にサ°ル止め又はステー°ル止め 2.0mm-2C	m	B	h ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 木造部分にサ°ル止め又はステー°ル止め 2.6mm-2C	m	B	i ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 木造部分にサ°ル止め又はステー°ル止め 1.6mm-3C	m	C	j ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 木造部分にサ°ル止め又はステー°ル止め 2.0mm-3C	m	D	k ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 木造部分にサ°ル止め又はステー°ル止め 2.6mm-3C	m	D	l ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) コンクリート部分にサ°ル止め (カール°ラ°含む) 1.6mm-2C	m	A	m ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) コンクリート部分にサ°ル止め (カール°ラ°含む) 2.0mm-2C	m	B	n ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) コンクリート部分にサ°ル止め (カール°ラ°含む) 2.6mm-2C	m	B	o ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) コンクリート部分にサ°ル止め (カール°ラ°含む) 1.6mm-3C	m	C	p ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) コンクリート部分にサ°ル止め (カール°ラ°含む) 2.0mm-3C	m	D	q ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) コンクリート部分にサ°ル止め (カール°ラ°含む) 2.6mm-3C	m	D	r ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) ケープ°ルラック内配線 1.6mm-2C	m	A	s ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) ケープ°ルラック内配線 2.0mm-2C	m	B	t ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) ケープ°ルラック内配線 2.6mm-2C	m	B	u ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) ケープ°ルラック内配線 1.6mm-3C	m	C	v ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) ケープ°ルラック内配線 2.0mm-3C	m	D	w ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) ケープ°ルラック内配線 2.6mm-3C	m	D	x ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-2C	m	A	y ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-2C	m	B	z ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-2C	m	B	α ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-3C	m	C	β ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-3C	m	D	γ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-3C	m	D	δ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	A	ε ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	B	ζ ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	B	η ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	C	θ ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	D	ι ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホ° リエフレ絶縁耐燃性ホ° リエフレシースケープ°ル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	D	κ ÷ e

【配線工事6】

【電気設備工事】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	A
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	B
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	C
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	D

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	a	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	b	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	c	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	d	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	e	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	f	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 1.6mm-2C	m	g	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.0mm-2C	m	h	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.6mm-2C	m	i	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 1.6mm-3C	m	j	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.0mm-3C	m	k	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.6mm-3C	m	l	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カールブラク含む) 1.6mm-2C	m	m	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カールブラク含む) 2.0mm-2C	m	n	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カールブラク含む) 2.6mm-2C	m	o	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カールブラク含む) 1.6mm-3C	m	p	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カールブラク含む) 2.0mm-3C	m	q	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カールブラク含む) 2.6mm-3C	m	r	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	s	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	t	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	u	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	v	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	w	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	x	表RE-1-10

【配線工事6】

【電気設備工事】

600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-2C	m	y	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-2C	m	z	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-2C	m	α	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-3C	m	β	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-3C	m	γ	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-3C	m	δ	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	ε	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	ζ	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	η	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	θ	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	ι	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	κ	表RE-1-10

【配線工事7】

【電気設備工事】

【配線工事 7】 600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF)

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	B	c ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	D	f ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6mm-2C	m	A	g ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-2C	m	B	h ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-2C	m	B	i ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6mm-3C	m	C	j ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-3C	m	D	k ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-3C	m	D	l ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 1.6mm-2C	m	A	m ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.0mm-2C	m	B	n ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.6mm-2C	m	B	o ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 1.6mm-3C	m	C	p ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.0mm-3C	m	D	q ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.6mm-3C	m	D	r ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	A	s ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	B	t ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	B	u ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	C	v ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	D	w ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	D	x ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 1.6mm-2C	m	A	y ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.0mm-2C	m	B	z ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.6mm-2C	m	B	α ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 1.6mm-3C	m	C	β ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.0mm-3C	m	D	γ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.6mm-3C	m	D	δ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	A	ε ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	B	ζ ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	B	η ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	C	θ ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	D	ι ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	D	κ ÷ e

【配線工事7】

【電気設備工事】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	A
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	B
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	C
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	D

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	a	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	b	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	c	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	d	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	e	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	f	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6mm-2C	m	g	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-2C	m	h	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-2C	m	i	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6mm-3C	m	j	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-3C	m	k	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-3C	m	l	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 1.6mm-2C	m	m	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 2.0mm-2C	m	n	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 2.6mm-2C	m	o	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 1.6mm-3C	m	p	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 2.0mm-3C	m	q	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 2.6mm-3C	m	r	表RE-1-10

【配線工事7】

【電気設備工事】

600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	s	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	t	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	u	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	v	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	w	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	x	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 1.6mm-2C	m	y	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.0mm-2C	m	z	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.6mm-2C	m	α	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 1.6mm-3C	m	β	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.0mm-3C	m	γ	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.6mm-3C	m	δ	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 1.6mm-2C	m	ε	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 2.0mm-2C	m	ζ	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 2.6mm-2C	m	η	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 1.6mm-3C	m	θ	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 2.0mm-3C	m	ι	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 2.6mm-3C	m	κ	表RE-1-10

【配線工事8】

【電気設備工事】

【配線工事 8】 アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG)

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	a ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	b ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	c ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	d ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	e ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	f ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	g ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	h ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	i ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	j ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	k ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	l ÷ n

** 市場単価及び補正市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	A	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエチレン絶縁耐燃性ホリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	B	

【配線工事8】

【電気設備工事】

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	a	表RE-1-10 (2.0mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	b	表RE-1-10 (2.6mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップル止め 2.0mm-2C+1.6-1C	m	c	表RE-1-10 (2.0mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップル止め 2.6mm-2C+1.6-1C	m	d	表RE-1-10 (2.6mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カルプラグ含む) 2.0mm-2C+1.6-1C	m	e	表RE-1-10 (2.0mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カルプラグ含む) 2.6mm-2C+1.6-1C	m	f	表RE-1-10 (2.6mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ケブルラック内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	g	表RE-1-10 (2.0mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ケブルラック内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	h	表RE-1-10 (2.6mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	i	表RE-1-10 (2.0mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	j	表RE-1-10 (2.6mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	k	表RE-1-10 (2.0mm-3C)
アス線付600V絶縁ケーブル	アス線付600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	l	表RE-1-10 (2.6mm-3C)
600V絶縁ケーブル	600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	m	表RE-1-10
600V絶縁ケーブル	600V ^ホ リエチレン絶縁耐燃性 ^ホ リエチレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	n	表RE-1-10

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

※市場単価※（グラスウール）

項目	摘	要	単位	単価記号	備考
給水管・排水管・ 給湯管及び温水管 (膨張管を含む)	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	A	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	B	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	D	
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む)及び浴室厨房な どの多湿箇所(厨房の天井内 は含まない)	ステンレス鋼板	m	E	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	F	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	G	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	H	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	I	
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む)及び浴室厨房な どの多湿箇所(厨房の天井内 は含まない)	ステンレス鋼板	m	J	
蒸気管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	K	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	L	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	M	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	N	
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む)及び浴室厨房な どの多湿箇所(厨房の天井内 は含まない)	ステンレス鋼板	m	O	

(注) 補正市場単価は、附表M5～附表M7による。

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

参考歩掛り（グラスウール）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Ag	表RM-1-12
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	B①g	
		アルミガラス化粧原紙	m	B②g	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①g	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②g	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Dg	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	E①g	
溶融アルミニウム亜鉛鉄板		m	E②g		
ステンレス鋼板		m	E③g		
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Fg	表RM-1-13
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	G①g	
		アルミガラス化粧原紙	m	G②g	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	Hg	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Ig	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	J①g	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②g	
ステンレス鋼板		m	J③g		
蒸気管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Kg	表RM-1-15
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	L①g	
		アルミガラス化粧原紙	m	L②g	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	M①g	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	M②g	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Ng	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	O①g	
溶融アルミニウム亜鉛鉄板		m	O②g		
ステンレス鋼板		m	O③g		
冷媒管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Vg	表RM-1-14
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	W①g	
		アルミガラス化粧原紙	m	W②g	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	Xg	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Yg	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラー亜鉛鉄板	m	Z①g	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	Z②g	
ステンレス鋼板		m	Z③g		

【H19標仕仕様】参考歩掛り（グラスウール）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	綿 布	m	AG'	表H19-RM-1-6
冷水管・冷温水管	屋内露出	綿 布	m	FG'	表H19-RM-1-7
蒸気管	屋内露出	綿 布	m	KG'	表H19-RM-1-8

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

※参考歩掛り※（ロックウール）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Ar	表RM-1-8
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	B①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	B②r	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①r	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②r	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Dr	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	E①r	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	E②r	
		ステンレス鋼板	m	E③r	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Fr	表RM-1-9
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	G①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	G②r	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	Hr	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Ir	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	J①r	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②r	
		ステンレス鋼板	m	J③r	
	蒸気管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	
機械室・書庫・倉庫・トレンチ		アルミガラスクロス	m	L①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	L②r	
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m	M①r	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	M②r	
床下及び暗渠内（ピット内を含む）		着色アルミガラスクロス	m	Nr	
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		カラー亜鉛鉄板	m	O①r	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	O②r	
		ステンレス鋼板	m	O③r	
冷媒管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Vr	表RM-1-10
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	W①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	W②r	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	Xr	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Yr	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	Z①r	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	Z②r	
ステンレス鋼板		m	Z③r		

※【H19標仕仕様】参考歩掛り※（ロックウール）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	綿 布	m	AR'	表H19-RM-1-3
冷水管・冷温水管	屋内露出	綿 布	m	FR'	表H19-RM-1-4
蒸気管	屋内露出	綿 布	m	KR'	表H19-RM-1-5

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

参考歩掛り（ポリスチレンフォーム）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Ap	表RM-1-4
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	Bp	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①p	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②p	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	Dp	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下 を含む)及び浴室厨房などの多湿 箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	E①p	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	E②p	
ステンレス鋼板		m	E③p		
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Fp	表RM-1-5
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	Gp	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hp	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	Ip	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下 を含む)及び浴室厨房などの多湿 箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	J①p	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②p	
ステンレス鋼板		m	J③p		
冷水管 (冷水温度2~4℃)	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	Pp	表RM-1-6
ブライン管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Qp	表RM-1-7
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	Rp	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Sp	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	Tp	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下 を含む)及び浴室厨房などの多湿 箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	U①p	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	U②p	
ステンレス鋼板		m	U③p		

【H19標仕仕様】参考歩掛り（ポリスチレンフォーム）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管	屋内露出	綿 布	m	AP'	表H19-RM-1-1
冷水管・冷温水管	屋内露出	綿 布	m	FP'	表H19-RM-1-2

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

補正市場単価（グラスウール）

項目	摘	要	単位	単価記号	市場単価	算定式
給水管・排水管・ 給湯管及び温水管 (膨張管を含む)	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	-	B	$B②g \div B①g$
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	C	$C①g \div C②g$
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及び 浴室厨房などの多湿箇 所(厨房の天井内は含 まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	E	$E①g \div E③g$
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	E	$E②g \div E③g$
冷水管・冷温水管	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	-	G	$G②g \div G①g$
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及び 浴室厨房などの多湿箇 所(厨房の天井内は含 まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	J	$J①g \div J③g$
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	J	$J②g \div J③g$
蒸気管	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	-	L	$L②g \div L①g$
	天井、パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	M	$M①g \div M②g$
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及び 浴室厨房などの多湿箇 所(厨房の天井内は含 まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	O	$O①g \div O③g$
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	O	$O②g \div O③g$
冷媒管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	F	$Vg \div Fg$
	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	G	$W①g \div G①g$
		アルミガラス化粧原紙	m	-	G	$W②g \div G①g$
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	-	H	$Xg \div Hg$
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	-	I	$Yg \div Ig$
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及び 浴室厨房などの多湿箇 所(厨房の天井内は含 まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	J	$Z①g \div J③g$
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	J	$Z②g \div J③g$
		ステンレス鋼板	m	-	J	$Z③g \div J③g$

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

補正市場単価（ロックウール）

項目	摘要	単位	単価記号	市場単価	算定式		
給水管・排水管・ 給湯管及び温水管 (膨張管を含む)	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	A	Ar ÷ Ag	
	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラスクロス	m	rB	B	B①r ÷ B①g	
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rB	B②r ÷ B①r	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	rC	C①r ÷ C②r	
		アルミガラスクロス 化粧保温筒	m	rC	C	C②r ÷ C②g	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	-	D	Dr ÷ Dg	
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及び 浴室厨房などの多 湿箇所(厨房の天井内 は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	rE	E①r ÷ E③r	
		溶融アルミニウム 亜鉛鉄板	m	-	rE	E②r ÷ E③r	
		ステンレス鋼板	m	rE	E	E③r ÷ E③g	
	冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	rF	F	Fr ÷ Fg
機械室・書庫・倉庫・ トレンチ		アルミガラスクロス	m	rG	G	G①r ÷ G①g	
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG	G②r ÷ G①r	
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m	rH	H	Hr ÷ Hg	
床下及び暗渠内 (ピット内を含む)		着色アルミガラスクロス	m	rl	I	Ir ÷ Ig	
屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及び 浴室厨房などの多湿箇 所(厨房の天井内は含 まない)		カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ	J①r ÷ J③r	
		溶融アルミニウム 亜鉛鉄板	m	-	rJ	J②r ÷ J③r	
		ステンレス鋼板	m	rJ	J	J③r ÷ J③g	
蒸気管		屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	K	Kr ÷ Kg
		機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラスクロス	m	rL	L	L①r ÷ L①g
	アルミガラス化粧原紙		m	-	rL	L②r ÷ L①r	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	-	rM	M①r ÷ M②r	
		アルミガラスクロス 化粧保温筒	m	rM	M	M②r ÷ M②g	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	-	N	Nr ÷ Ng	
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及び 浴室厨房などの多湿箇 所(厨房の天井内は含 まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	rO	O①r ÷ O③r	
		溶融アルミニウム 亜鉛鉄板	m	-	rO	O②r ÷ O③r	
		ステンレス鋼板	m	rO	O	O③r ÷ O③g	
	冷媒管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	rF	Vr ÷ Fr
機械室・書庫・倉庫・ト レンチ		アルミガラスクロス	m	-	rG	W①r ÷ G①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG	W②r ÷ G①r	
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m	-	rH	Xr ÷ Hr	
床下及び暗渠内 (ピット内を含む。)		着色アルミガラスクロス	m	-	rl	Yr ÷ Ir	
屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及び 浴室厨房などの多湿箇 所(厨房の天井内は含 まない)		カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ	Z①r ÷ J③r	
		溶融アルミニウム 亜鉛鉄板	m	-	rJ	Z②r ÷ J③r	
		ステンレス鋼板	m	-	rJ	Z③r ÷ J③r	

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

補正市場単価（ポリスチレンフォーム）

項目	摘 要	単位	単価記号	市場単価	算 定 式	
給水管・排水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	A	$A_p \div A_g$
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	B	$B_p \div B①g$
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	pC	$C①p \div C②p$
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	pC	C	$C②p \div C②g$
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	pD	D	$D_p \div D_g$
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	pE	$E①p \div E③p$
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	pE	$E②p \div E③p$
ステンレス鋼板		m	pE	E	$E③p \div E③g$	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	pF	F	$F_p \div F_g$
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	pG	G	$G_p \div G①g$
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	pH	H	$H_p \div H_g$
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	pI	I	$I_p \div I_g$
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ	$J①p \div J③p$
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	pJ	$J②p \div J③p$
ステンレス鋼板		m	pJ	J	$J③p \div J③g$	
冷水管（冷水温度2～4℃）	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	pG	$P_p \div G_p$
ブライン管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	pF	$Q_p \div F_p$
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	pG	$R_p \div G_p$
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	pH	$S_p \div H_p$
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	-	pI	$T_p \div I_p$
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ	$U①p \div J③p$
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	pJ	$U②p \div J③p$
ステンレス鋼板		m	-	pJ	$U③p \div J③p$	

【機械設備工事】

【ダクト設備】

市場単価

細目	摘 要	単 位	単価記号	
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費別途。A+Bシール無し)	m ²	A	
アングルフランジ工法ダクト	排煙ダクト(インサート取付費別途。A+Bシール無し)	m ²	B	
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費別途。A+Bシール無し)	m ²	C	
スパイラルダクト	低圧ダクト(インサート取付費別途)	m	D	
チャンバー	低圧用(インサート取付費別途。シール無し)	m ²	E	
組立チャンバー	低圧用(インサート取付費別途。シール無し)	m ²	F	
ボックス	低圧用(インサート取付費別途。シール無し)	m ²	G	
線状吹出口用ボックス	低圧用(インサート取付費別途。シール無し)	m ²	H	

補正市場単価

細目	摘 要	単 位	単価記号	補正係数
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む。A+Bシール無し)	m ²	A	1.03
アングルフランジ工法ダクト	排煙ダクト(インサート取付費含む。A+Bシール無し)	m ²	B	1.03
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費含む。A+Bシール無し)	m ²	C	1.04
スパイラルダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む。)	m	D	1.03
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む。A+Bシール共)	m ²	A	1.05
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費含む。A+Bシール共)	m ²	C	1.06
チャンバー	低圧用(インサート取付費別途。シール共)	m ²	E	1.03
チャンバー	高圧1ダクト用、高圧2ダクト用及び排煙ダクト用 (インサート取付費別途。シール無し)	m ²	E	1.03
組立チャンバー	低圧用(インサート取付費別途。シール共)	m ²	F	1.03
ボックス	低圧用(インサート取付費別途。シール共)	m ²	G	1.03
線状吹出口用ボックス	低圧用(インサート取付費別途。シール共)	m ²	H	1.03

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

補正市場単価

グラスウールから【沖縄地区等】グラスウールへの補正

細目	摘 要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【沖縄地区等】GW(参考歩掛り単価)÷GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適用労務単価とする
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋内露出(グラスウール)	m	F	$F \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(FG' \div Fg)$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(グラスウール)	m	G	$G \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	天井内・パイプシャフト内(グラスウール)	m	H	$H \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	床下・暗渠内(グラスウール)	m	I	$I \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(グラスウール)	m	J	$J \times \text{補正率}$

補正市場単価

グラスウールから【沖縄地区等】ロックウールへの補正

細目	摘 要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【沖縄地区等】RW(参考歩掛り単価)÷GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適用労務単価とする
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋内露出(ロックウール)	m	F	$F \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(FR' \div Fr)$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ロックウール)	m	G	$G \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	天井内・パイプシャフト内(ロックウール)	m	H	$H \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	床下・暗渠内(ロックウール)	m	I	$I \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ロックウール)	m	J	$J \times \text{補正率}$

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

補正市場単価

グラスウールから【沖縄地区等】ポリスチレンフォームへの補正

細目	摘 要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【沖縄地区等】PH(参考歩掛り単価)÷GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適用労務単価とする
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋内露出(ポリスチレンフォーム)	m	F	$F \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(FP' \div Fp)$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ポリスチレンフォーム)	m	G	$G \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	天井内・パイプシャフト内(ポリスチレンフォーム)	m	H	$H \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	床下・暗渠内(ポリスチレンフォーム)	m	I	$I \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ポリスチレンフォーム)	m	J	$J \times \text{補正率}$

補正市場単価

【0.1MPa未満】グラスウールから

【0.1MPa以上0.6MPa未満】グラスウールへの補正

細目	摘 要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【0.1MPa以上0.6MPa未満】GW(参考歩掛り単価)÷【0.1MPa未満】GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適用労務単価とする
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	屋内露出(ロックウール)	m	K	$K \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(KG' \div Kg)$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ロックウール)	m	L	$L \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	天井内・パイプシャフト内(ロックウール)	m	M	$M \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	床下・暗渠内(ロックウール)	m	N	$N \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ロックウール)	m	O	$O \times \text{補正率}$

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

【0.1MPa未満】グラスウールから

補正市場単価

【0.6MPa以上1.0MPa未満】グラスウールへの補正

細目	摘要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【0.6MPa以上1.0MPa未満】GW(参考歩掛り単価)÷【0.1MPa未満】GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適用労務単価とする
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	屋内露出(グラスウール)	m	K	$K \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(KR' \div KR)$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(グラスウール)	m	L	$L \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	天井内・パイプシャフト内(グラスウール)	m	M	$M \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	床下・暗渠内(グラスウール)	m	N	$N \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(グラスウール)	m	O	$O \times \text{補正率}$

補正市場単価

【0.1MPa未満】グラスウールから

【0.1MPa以上0.6MPa未満】ロックウールへの補正

細目	摘要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【0.1MPa以上0.6MPa未満】RW(参考歩掛り単価)÷【0.1MPa未満】GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適用労務単価とする
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	屋内露出(ロックウール)	m	K	$K \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(KG' \div Kg)$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ロックウール)	m	L	$L \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	天井内・パイプシャフト内(ロックウール)	m	M	$M \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	床下・暗渠内(ロックウール)	m	N	$N \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ロックウール)	m	O	$O \times \text{補正率}$

【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

【0.1MPa未満】グラスウールから

補正市場単価

【0.6MPa以上1.0MPa未満】ロックウールへの補正

細目	摘 要	単 位	基準単価	補 正 方 法
	補正率の算出			補正率＝【0.6MPa以上1.0MPa未満】RW(参考歩掛り単価)÷ 【0.1MPa未満】GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適用労務単価とする
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	屋内露出(ロックウール)	m	K	$K \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(KR' \div Kr)$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ロックウール)	m	L	$L \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	天井内・パイプシャフト内(ロックウール)	m	M	$M \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	床下・暗渠内(ロックウール)	m	N	$N \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ロックウール)	m	O	$O \times \text{補正率}$

【機械設備工事】

【衛生器具設備】

市場単価

細 目	摘 要	単 位	単価記号	
大便器 取付	洗浄弁式、温水洗浄便座	組	A	
普通便座 取付	温水洗浄便座に対する差額分	組	B	

参考歩掛り

細 目	摘 要	単 位	単価記号	表 番 号
大便器	洗浄弁式	組	Aw	表RM-4-1
和風便器	洗浄弁式	組	A①j	
	タンク式(ロータンク)	組	A②j	
和風便器耐火カバー		個	A③j	

補正市場単価

項 目	摘 要	単 位	単価記号	市場単価	算 定 式
和風便器	洗浄弁式	組	—	A - B	$A①j \div Aw$
	タンク式(ロータンク)	組	—	A - B	$A②j \div Aw$
和風便器 耐火カバー		個	—	A - B	$A③j \div Aw$